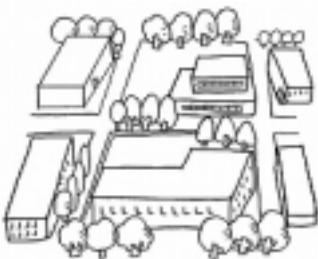


2 - 2 各取組の調査分析結果

県がこれまで行ってきた「宮城の将来ビジョン」で定めた33の取組について、それぞれ【認知度】・【関心度】・【重視度】・【満足度】・【特に優先すべきと思う項目】を調査・分析した結果は次のとおりです。

取組1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業（製造業）の振興



取組概要

高度電子機械産業，自動車関連産業など経済波及効果の高い業種の企業誘致や，市場拡大が期待される分野での新製品開発や取引拡大等の支援に取り組み，県内製造業の振興を目指します。

平成20年度の主な取組

各地方振興事務所が企業のニーズの把握・発掘及び相談への対応を的確かつ迅速に展開する「御用聞き1・2・3プラン」を実施するなど，富県宮城の実現に向けた産業活動を支援しています。

県内企業のものづくり基盤技術の高度化やナノテク等の先端技術の地域定着を図るため，地域の大学，高専等と連携し，県内企業の技術力の向上や先端技術の実用化を支援しています。

自動車関連産業の集積を目指し，市場開拓に向けて専門員の配置や名古屋産業立地センターの設置により，企業ニーズの把握と情報提供に取り組むとともに，経営革新や技術向上を支援しています。

産業集積の拠点を形成するため，積極的な企業誘致を行った結果，昨年度の第二仙台北部中核工業団地及び大和リサーチパークへの2件の大型企業と関連企業の誘致に引き続き，今年度は仙台北部中核工業団地及び大和流通・工業団地においても自動車関連企業の大型立地が決定しました。

設備投資を行う場合の初期負担を軽減し，県内での設備投資を更に促進させるため，県内で工場の新設・増設を行った企業に対する従来の企業立地奨励金を大幅に拡充するとともに，県税の新しい優遇制度を創設しました。

自動車及び高度電子機械関連事業に取り組む中小企業等に対し，信用保証料負担の軽減を行い，資金融通の円滑化を図っています。

高度電子機械産業の集積を目指し，地域企業との連携を推進するとともに，マッチング支援により，県内企業の新分野進出や取引拡大を支援しています。

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は54.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は45.2%である。

性別

男性の『高認知群』は65.4%で、県全体より10.6ポイント高い。

女性の『高認知群』は45.6%で、県全体より9.2ポイント低い。

年齢別

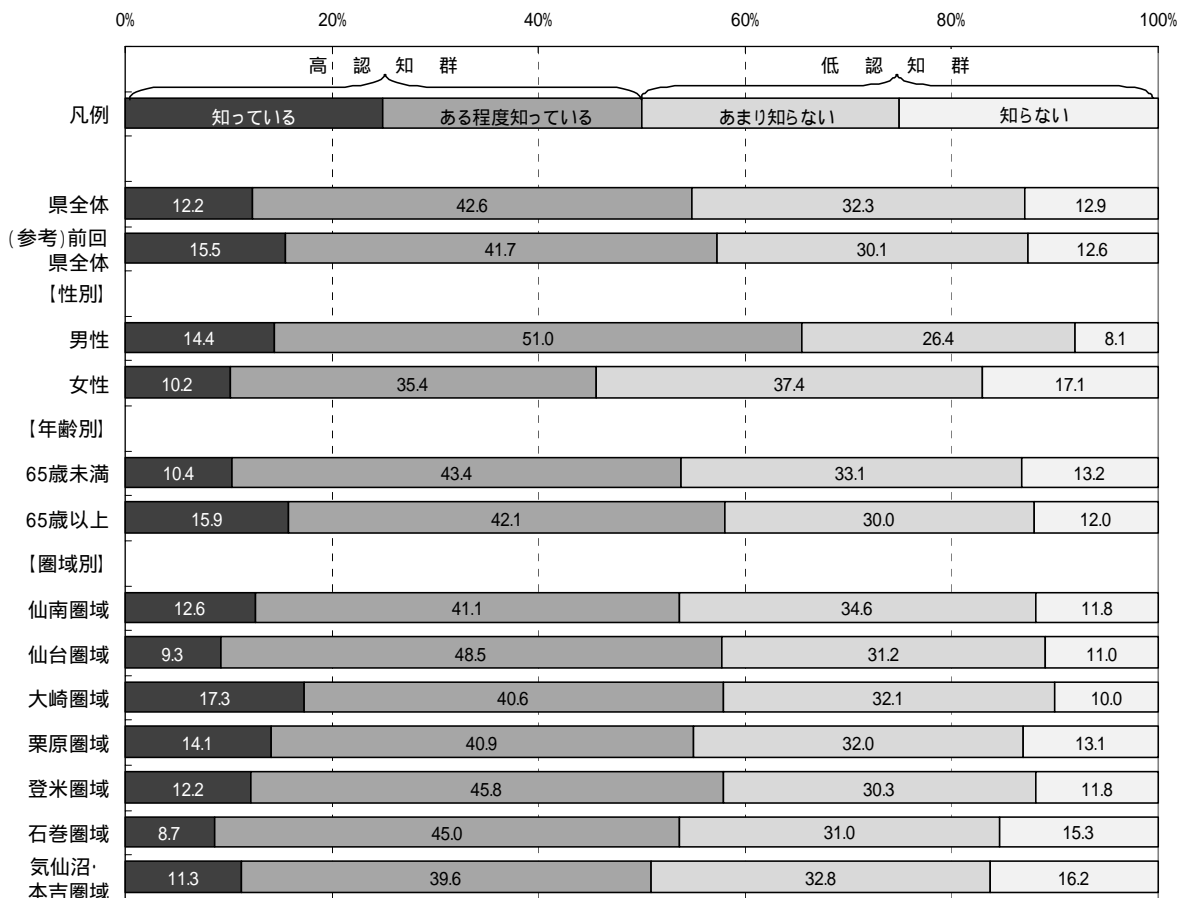
65歳未満の『高認知群』は53.8%で、県全体より1.0ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は58.0%で、県全体より3.2ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-1-1 取組1 認知度割合(属性別)



取組1「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

表2-2-1-1 取組1 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	231	804	610	243	1,888	56	1,944
	パーセント	12.2	42.6	32.3	12.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	278	747	539	226	1,790	52	1,842
	パーセント	15.5	41.7	30.1	12.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	126	446	231	71	874	20	894
	パーセント	14.4	51.0	26.4	8.1	100.0		
女性	度数	98	340	359	164	961	30	991
	パーセント	10.2	35.4	37.4	17.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	125	521	397	158	1,201	13	1,214
	パーセント	10.4	43.4	33.1	13.2	100.0		
65歳以上	度数	99	263	187	75	624	40	664
	パーセント	15.9	42.1	30.0	12.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	31	101	85	29	246	2	248
	パーセント	12.6	41.1	34.6	11.8	100.0		
仙台圏域	度数	22	115	74	26	237	12	249
	パーセント	9.3	48.5	31.2	11.0	100.0		
大崎圏域	度数	43	101	80	25	249	5	254
	パーセント	17.3	40.6	32.1	10.0	100.0		
栗原圏域	度数	41	119	93	38	291	14	305
	パーセント	14.1	40.9	32.0	13.1	100.0		
登米圏域	度数	33	124	82	32	271	8	279
	パーセント	12.2	45.8	30.3	11.8	100.0		
石巻圏域	度数	20	103	71	35	229	0	229
	パーセント	8.7	45.0	31.0	15.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	30	105	87	43	265	9	274
	パーセント	11.3	39.6	32.8	16.2	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は67.1%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は32.9%である。

性別

男性の『高関心群』は74.4%で、県全体より7.3ポイント高い。

女性の『高関心群』は60.6%で、県全体より6.5ポイント低い。

年齢別

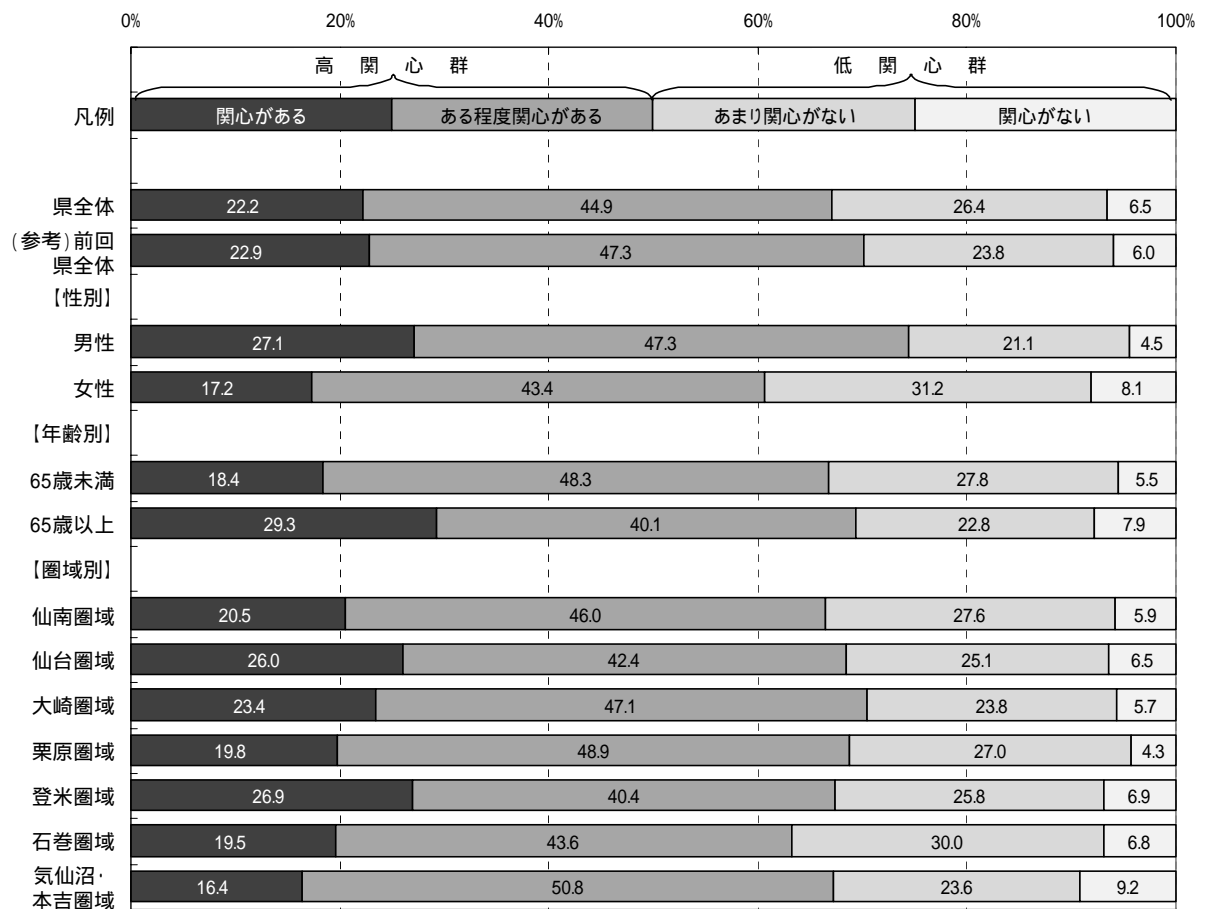
65歳未満の『高関心群』は66.7%で、県全体より0.4ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は69.4%で、県全体より2.3ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-1-2 取組1 関心度割合(属性別)



取組1「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

表2-2-1-2 取組1 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	402	813	477	118	1,810	134	1,944
	パーセント	22.2	44.9	26.4	6.5	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	393	813	409	103	1,718	124	1,842
	パーセント	22.9	47.3	23.8	6.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	230	402	179	38	849	45	894
	パーセント	27.1	47.3	21.1	4.5	100.0		
女性	度数	158	398	286	74	916	75	991
	パーセント	17.2	43.4	31.2	8.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	216	566	325	64	1,171	43	1,214
	パーセント	18.4	48.3	27.8	5.5	100.0		
65歳以上	度数	171	234	133	46	584	80	664
	パーセント	29.3	40.1	22.8	7.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	49	110	66	14	239	9	248
	パーセント	20.5	46.0	27.6	5.9	100.0		
仙台圏域	度数	60	98	58	15	231	18	249
	パーセント	26.0	42.4	25.1	6.5	100.0		
大崎圏域	度数	57	115	58	14	244	10	254
	パーセント	23.4	47.1	23.8	5.7	100.0		
栗原圏域	度数	55	136	75	12	278	27	305
	パーセント	19.8	48.9	27.0	4.3	100.0		
登米圏域	度数	70	105	67	18	260	19	279
	パーセント	26.9	40.4	25.8	6.9	100.0		
石巻圏域	度数	43	96	66	15	220	9	229
	パーセント	19.5	43.6	30.0	6.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	41	127	59	23	250	24	274
	パーセント	16.4	50.8	23.6	9.2	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は66.9%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は16.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が79.9%、『低重視群』は20.1%となる。

性別

男性の『高重視群』は73.6%で、県全体より6.7ポイント高い。

女性の『高重視群』は61.0%で、県全体より5.9ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は67.6%で、県全体より0.7ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は67.0%で、県全体より0.1ポイント高い。

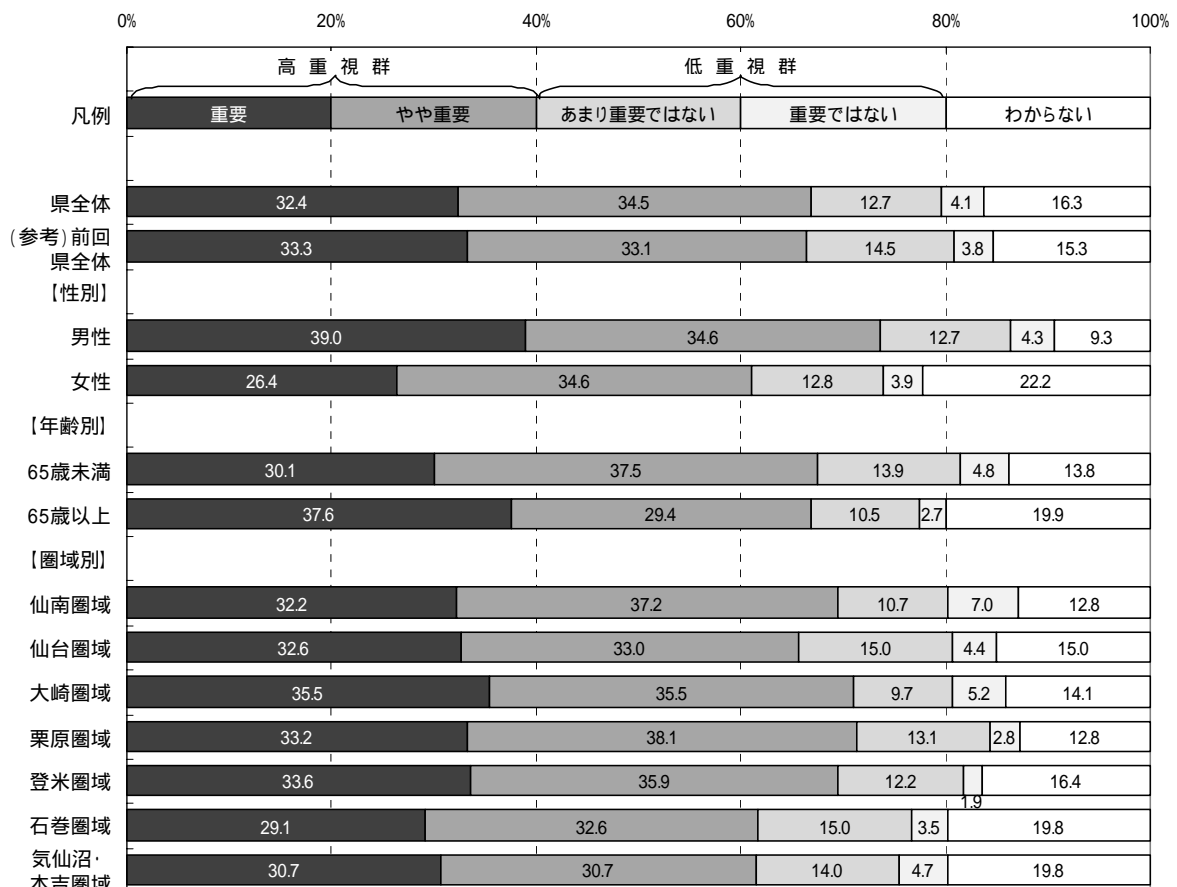
圏域別

石巻圏域の『高重視群』は61.7%で、県全体より5.2ポイント低い。

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は61.4%で、県全体より5.5ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-1-3 取組1 重視度割合(属性別)



取組1「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

表2-2-1-3 取組1 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	599	637	235	76	302	1,849	95	1,944
	パーセント	32.4	34.5	12.7	4.1	16.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	38.7	41.2	15.2	4.9		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	583	580	254	67	268	1,752	90	1,842
	パーセント	33.3	33.1	14.5	3.8	15.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	334	296	109	37	80	856	38	894
	パーセント	39.0	34.6	12.7	4.3	9.3	100.0		
女性	度数	249	326	121	37	209	942	49	991
	パーセント	26.4	34.6	12.8	3.9	22.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	357	445	165	57	164	1,188	26	1,214
	パーセント	30.1	37.5	13.9	4.8	13.8	100.0		
65歳以上	度数	225	176	63	16	119	599	65	664
	パーセント	37.6	29.4	10.5	2.7	19.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	78	90	26	17	31	242	6	248
	パーセント	32.2	37.2	10.7	7.0	12.8	100.0		
仙台圏域	度数	74	75	34	10	34	227	22	249
	パーセント	32.6	33.0	15.0	4.4	15.0	100.0		
大崎圏域	度数	88	88	24	13	35	248	6	254
	パーセント	35.5	35.5	9.7	5.2	14.1	100.0		
栗原圏域	度数	96	110	38	8	37	289	16	305
	パーセント	33.2	38.1	13.1	2.8	12.8	100.0		
登米圏域	度数	88	94	32	5	43	262	17	279
	パーセント	33.6	35.9	12.2	1.9	16.4	100.0		
石巻圏域	度数	66	74	34	8	45	227	2	229
	パーセント	29.1	32.6	15.0	3.5	19.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	79	79	36	12	51	257	17	274
	パーセント	30.7	30.7	14.0	4.7	19.8	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は43.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は27.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が61.6%、『不満群』は38.4%となる。

また、前回の『満足群』は48.5%で、今回は前回より5.1ポイント低い。

性別

男性の『満足群』は51.1%で、県全体より7.7ポイント高い。

女性の『満足群』は36.3%で、県全体より7.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は38.6%で、県全体より4.8ポイント低い。

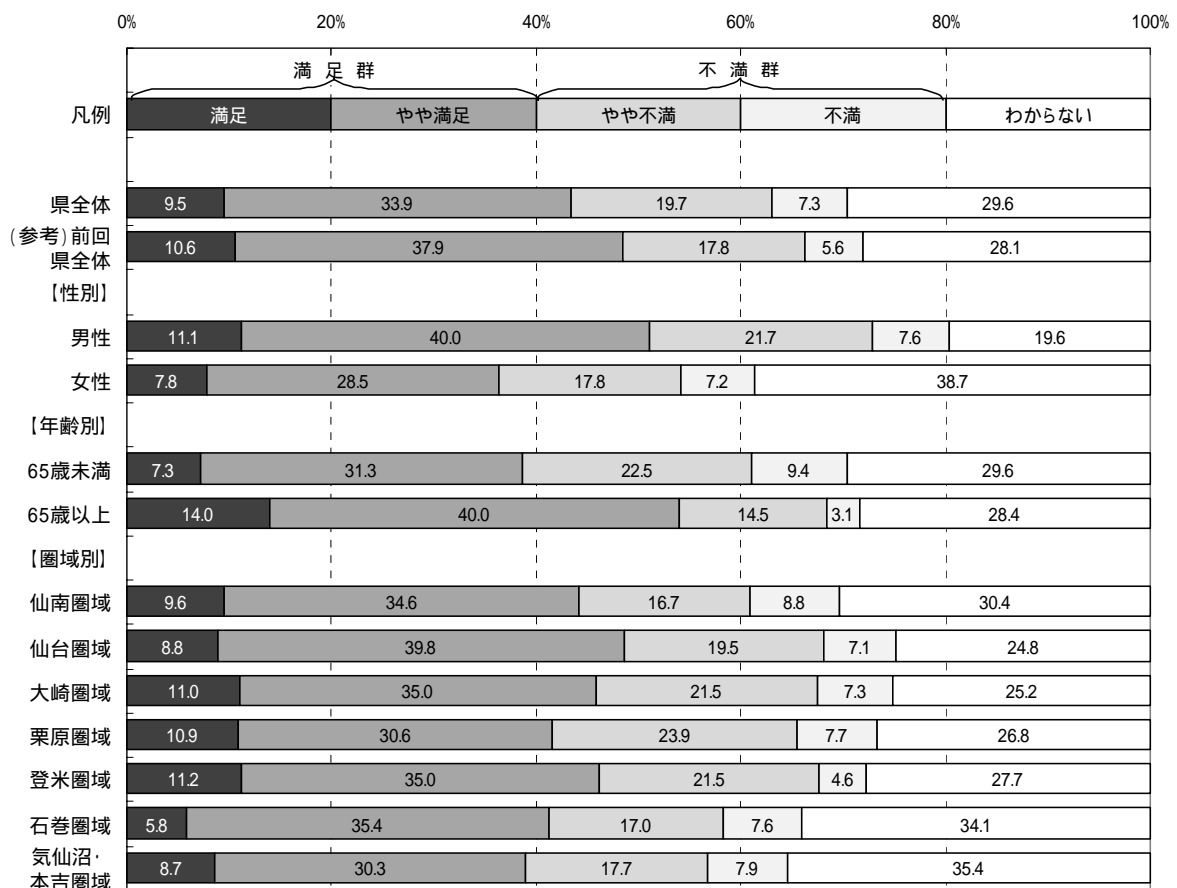
65歳以上の『満足群』は54.0%で、県全体より10.6ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『満足群』は48.6%で、県全体より5.2ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-1-4 取組1 満足度割合(属性別)



取組1「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

表2-2-1-4 取組1 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	172	617	359	133	538	1,819	125	1,944
	パーセント	9.5	33.9	19.7	7.3	29.6	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.4	48.2	28.0	10.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	183	655	308	97	486	1,729	113	1,842
	パーセント	10.6	37.9	17.8	5.6	28.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	95	341	185	65	167	853	41	894
	パーセント	11.1	40.0	21.7	7.6	19.6	100.0		
女性	度数	72	263	164	66	357	922	69	991
	パーセント	7.8	28.5	17.8	7.2	38.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	86	371	266	111	350	1,184	30	1,214
	パーセント	7.3	31.3	22.5	9.4	29.6	100.0		
65歳以上	度数	81	232	84	18	165	580	84	664
	パーセント	14.0	40.0	14.5	3.1	28.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	23	83	40	21	73	240	8	248
	パーセント	9.6	34.6	16.7	8.8	30.4	100.0		
仙台圏域	度数	20	90	44	16	56	226	23	249
	パーセント	8.8	39.8	19.5	7.1	24.8	100.0		
大崎圏域	度数	27	86	53	18	62	246	8	254
	パーセント	11.0	35.0	21.5	7.3	25.2	100.0		
栗原圏域	度数	31	87	68	22	76	284	21	305
	パーセント	10.9	30.6	23.9	7.7	26.8	100.0		
登米圏域	度数	29	91	56	12	72	260	19	279
	パーセント	11.2	35.0	21.5	4.6	27.7	100.0		
石巻圏域	度数	13	79	38	17	76	223	6	229
	パーセント	5.8	35.4	17.0	7.6	34.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	22	77	45	20	90	254	20	274
	パーセント	8.7	30.3	17.7	7.9	35.4	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組1に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。（複数回答可）

- ア みやぎ産業振興機構などの産業支援機関と連携して行う、県内製造業の技術力、営業力、販売力などの強化への支援
- イ 自動車関連産業を活発にするための下地となる県内製造業の技術力の向上や設備投資への支援や隣接県の試験研究機関との連携による技術開発への支援
- ウ 岩手・山形県等と連携して関東・東海圏域で商談会を開催するなど、受注機会の拡大促進
- エ 光関連産業や生活福祉関連産業など市場拡大が期待される分野での、技術開発や製品開発への取組支援
- オ 半導体関連産業など経済波及効果の高い業種や、雇用増加につながる業種などを中心とした、地域経済の核となる企業の誘致促進

（参考：目標とする宮城の姿）

高度電子機械、自動車関連産業において、技術力の向上や集積が進み、生産性が上がり多くの雇用と税収をもたらしています。

高度電子機械、自動車関連産業のほか、多くの雇用と税収をもたらす競争力を有する企業や次代の日本経済をけん引する企業の集積が進んでいます。

< 概要 >

県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位：	ア(ア)	ア	ア	ア	ア
第2位：	オ(オ)	オ	オ	オ	オ
第3位：	イ(イ)	イ	エ	エ	イ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位：	ア	オ	ア,オ	ア	ア	ア	ア
第2位：	オ	ア	■	オ	オ	オ	オ
第3位：	エ	イ	イ	イ	イ	エ	イ

ア,オ同率

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

()内は、前回の優先順位

取組1「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

図2-2-1-5 取組1 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

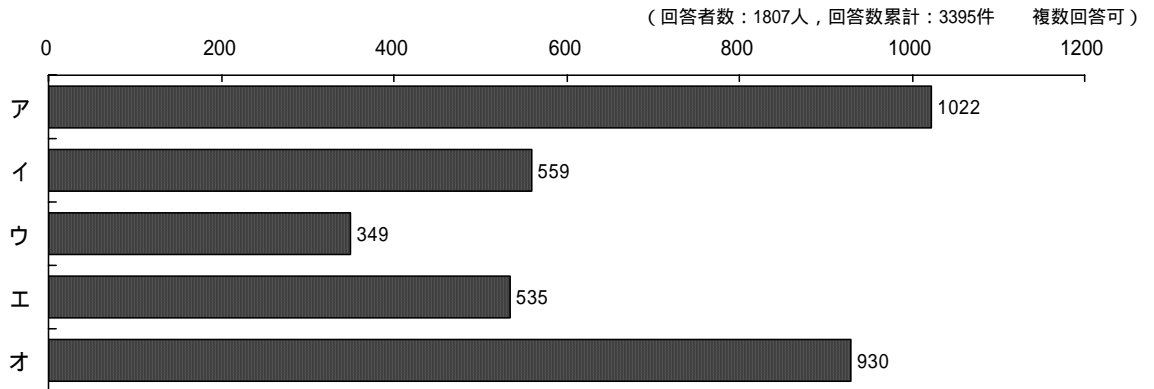
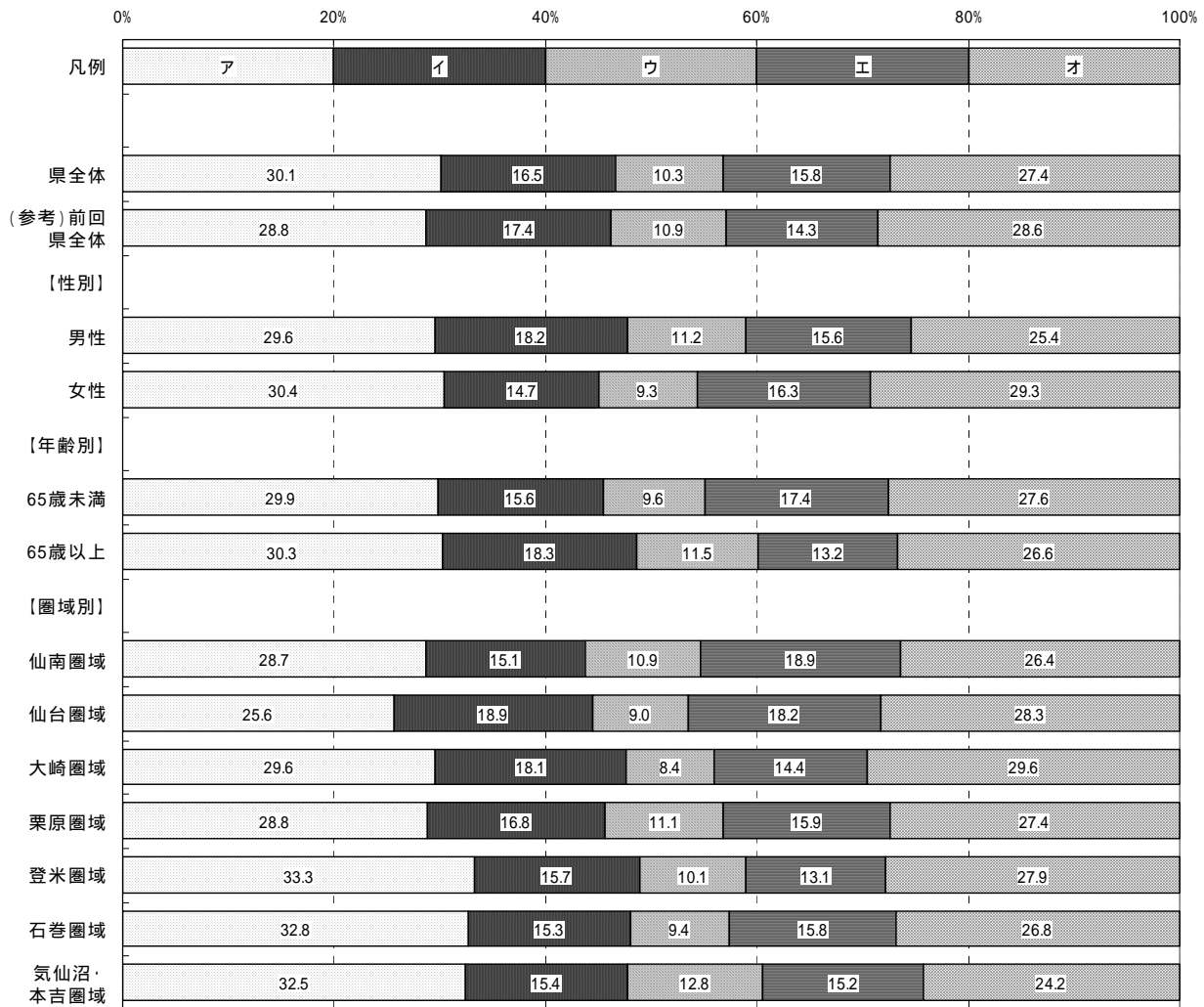


図2-2-1-6 取組1 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組1「地域経済を力強くけん引する
ものづくり産業（製造業）の振興」

取組 2 「産学官の連携による高度技術産業の集積促進」



取組概要

高度技術産業の創出を目指した企業と大学等との連携による技術開発を活発化するとともに、特許等の活用促進・新製品の開発支援を行うことによって、競争力の高い製品を持つ企業や独自技術を持つ企業の集積促進を目指します。

平成 20 年度の主な取組

高度電子機械産業の集積を目指し、半導体関連産業などへの参入支援を行っており、今年度は、「みやぎ高度電子機械産業振興協議会」を設立し、取引拡大等の支援に取り組んでいます。

県内の中小企業や生産者が、知的財産の重要性を認識し、競争力の強化と経営の持続的発展を進めていけるよう、セミナーの開催やアドバイザーによる支援活動等を行っています。

産学官の共同研究体制により、市場性が有望視されるエネルギー分野などの競争力のある新事業創出を促進するとともに、企業等と連携し、研究開発や技術移転を行い、地域企業の高付加価値製品の開発や実用化を支援しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は30.3%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は69.7%である。

性別

男性の『高認知群』は36.9%で、県全体より6.6ポイント高い。

女性の『高認知群』は24.5%で、県全体より5.8ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は26.5%で、県全体より3.8ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は38.3%で、県全体より8.0ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-2-1 取組2 認知度割合(属性別)

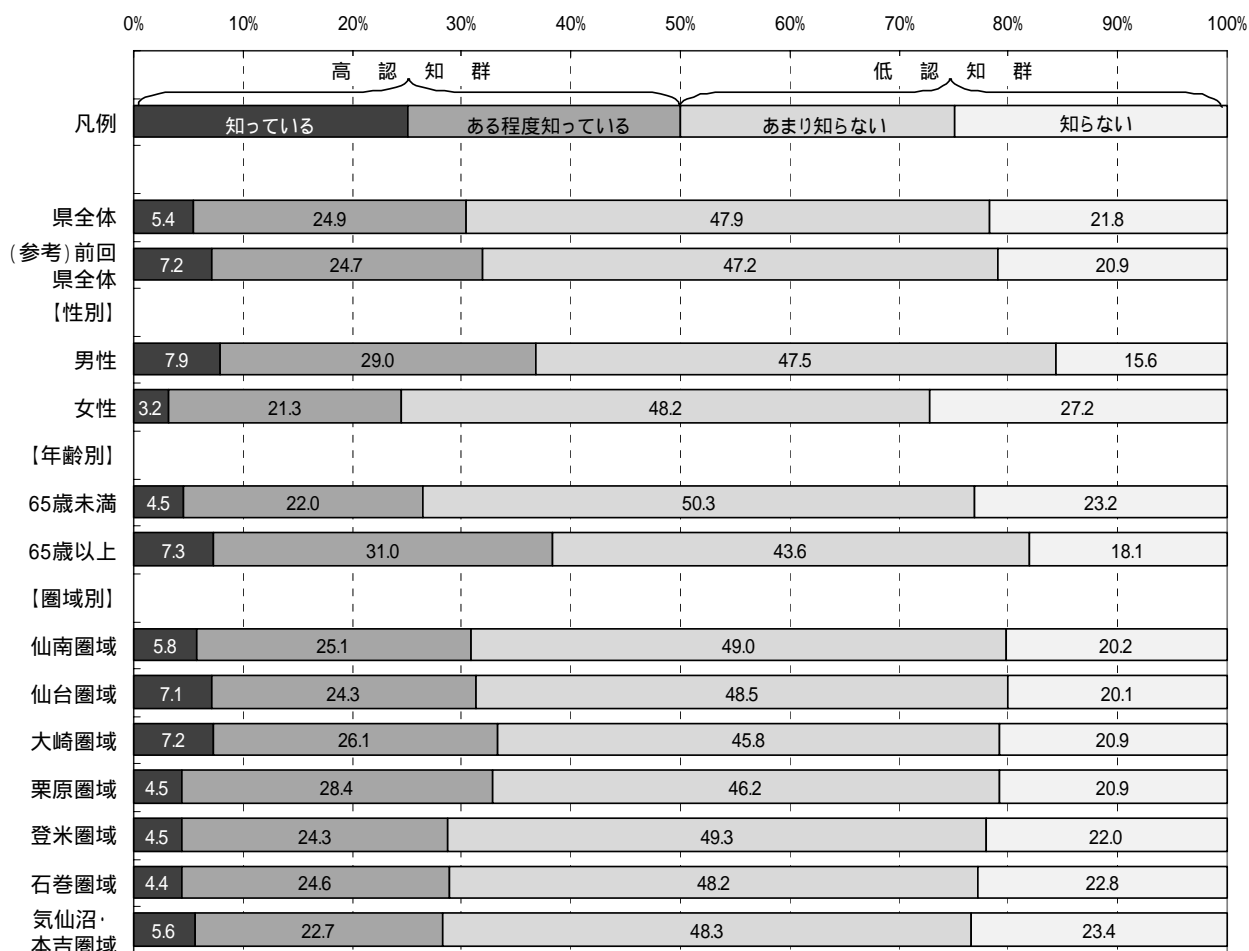


表2-2-2-1 取組2 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	102	470	903	410	1,885	59	1,944
	パーセント	5.4	24.9	47.9	21.8	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	129	443	846	375	1,793	49	1,842
	パーセント	7.2	24.7	47.2	20.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	69	254	417	137	877	17	894
	パーセント	7.9	29.0	47.5	15.6	100.0		
女性	度数	31	204	462	261	958	33	991
	パーセント	3.2	21.3	48.2	27.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	54	264	604	278	1,200	14	1,214
	パーセント	4.5	22.0	50.3	23.2	100.0		
65歳以上	度数	46	194	273	113	626	38	664
	パーセント	7.3	31.0	43.6	18.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	14	61	119	49	243	5	248
	パーセント	5.8	25.1	49.0	20.2	100.0		
仙台圏域	度数	17	58	116	48	239	10	249
	パーセント	7.1	24.3	48.5	20.1	100.0		
大崎圏域	度数	18	65	114	52	249	5	254
	パーセント	7.2	26.1	45.8	20.9	100.0		
栗原圏域	度数	13	83	135	61	292	13	305
	パーセント	4.5	28.4	46.2	20.9	100.0		
登米圏域	度数	12	65	132	59	268	11	279
	パーセント	4.5	24.3	49.3	22.0	100.0		
石巻圏域	度数	10	56	110	52	228	1	229
	パーセント	4.4	24.6	48.2	22.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	15	61	130	63	269	5	274
	パーセント	5.6	22.7	48.3	23.4	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は53.2%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は46.8%である。

性別

男性の『高関心群』は61.7%で、県全体より8.5ポイント高い。

女性の『高関心群』は45.4%で、県全体より7.8ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は50.0%で、県全体より3.2ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は60.1%で、県全体より6.9ポイント高い。

圏域別

石巻圏域の『高関心群』は48.0%で、県全体より5.2ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-2-2 取組2 関心度割合(属性別)

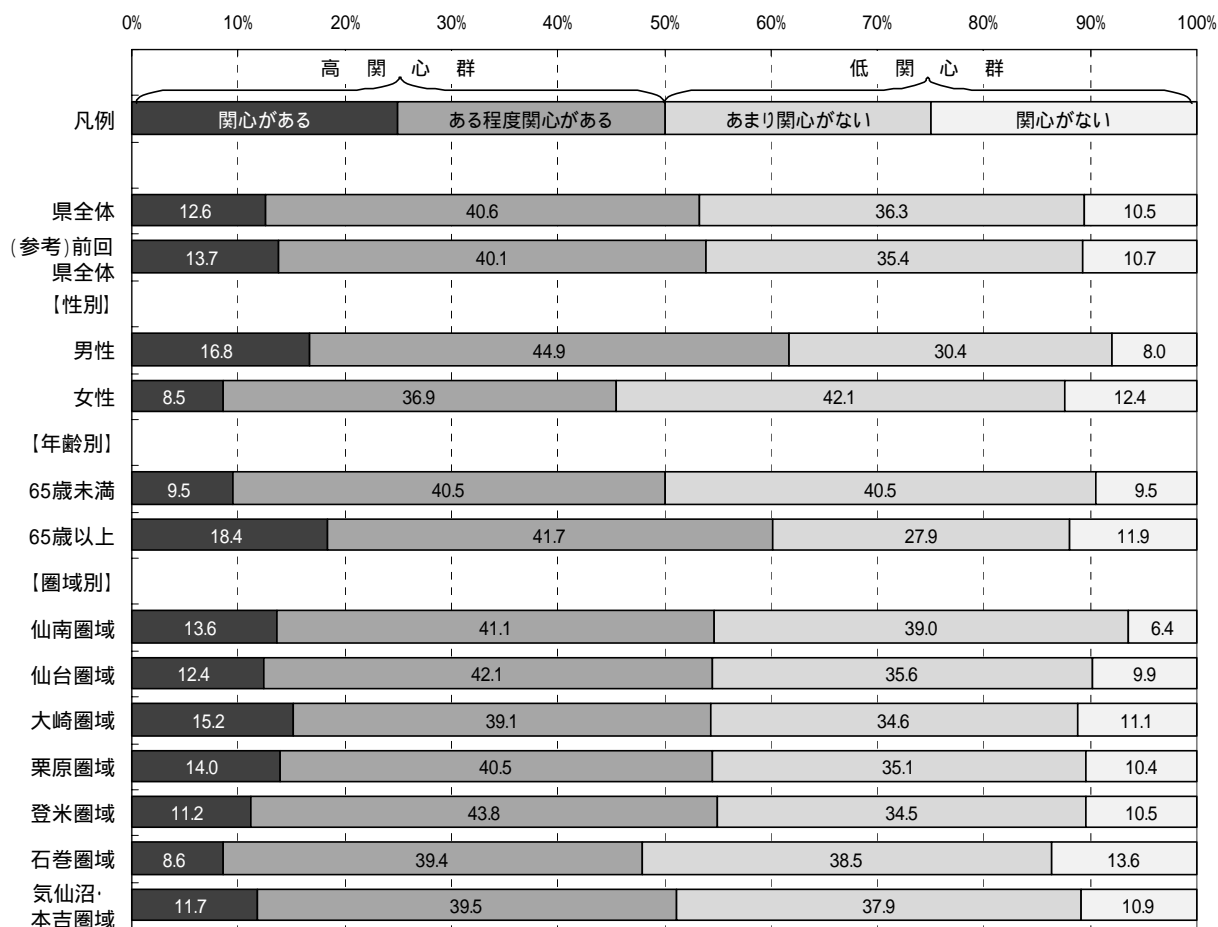


表2-2-2-2 取組2 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	229	737	658	191	1,815	129	1,944
	パーセント	12.6	40.6	36.3	10.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	236	689	609	184	1,718	124	1,842
	パーセント	13.7	40.1	35.4	10.7	100.0		
【性別】								
男性	度数	143	383	259	68	853	41	894
	パーセント	16.8	44.9	30.4	8.0	100.0		
女性	度数	78	338	386	114	916	75	991
	パーセント	8.5	36.9	42.1	12.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	112	475	475	111	1,173	41	1,214
	パーセント	9.5	40.5	40.5	9.5	100.0		
65歳以上	度数	108	245	164	70	587	77	664
	パーセント	18.4	41.7	27.9	11.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	32	97	92	15	236	12	248
	パーセント	13.6	41.1	39.0	6.4	100.0		
仙台圏域	度数	29	98	83	23	233	16	249
	パーセント	12.4	42.1	35.6	9.9	100.0		
大崎圏域	度数	37	95	84	27	243	11	254
	パーセント	15.2	39.1	34.6	11.1	100.0		
栗原圏域	度数	39	113	98	29	279	26	305
	パーセント	14.0	40.5	35.1	10.4	100.0		
登米圏域	度数	29	113	89	27	258	21	279
	パーセント	11.2	43.8	34.5	10.5	100.0		
石巻圏域	度数	19	87	85	30	221	8	229
	パーセント	8.6	39.4	38.5	13.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	30	101	97	28	256	18	274
	パーセント	11.7	39.5	37.9	10.9	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は55.3%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は20.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が73.1%、『低重視群』は26.8%となる。

性別

男性の『高重視群』は62.9%で、県全体より7.6ポイント高い。

女性の『高重視群』は48.8%で、県全体より6.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は53.2%で、県全体より2.1ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は60.6%で、県全体より5.3ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-2-3 取組2 重視度割合(属性別)

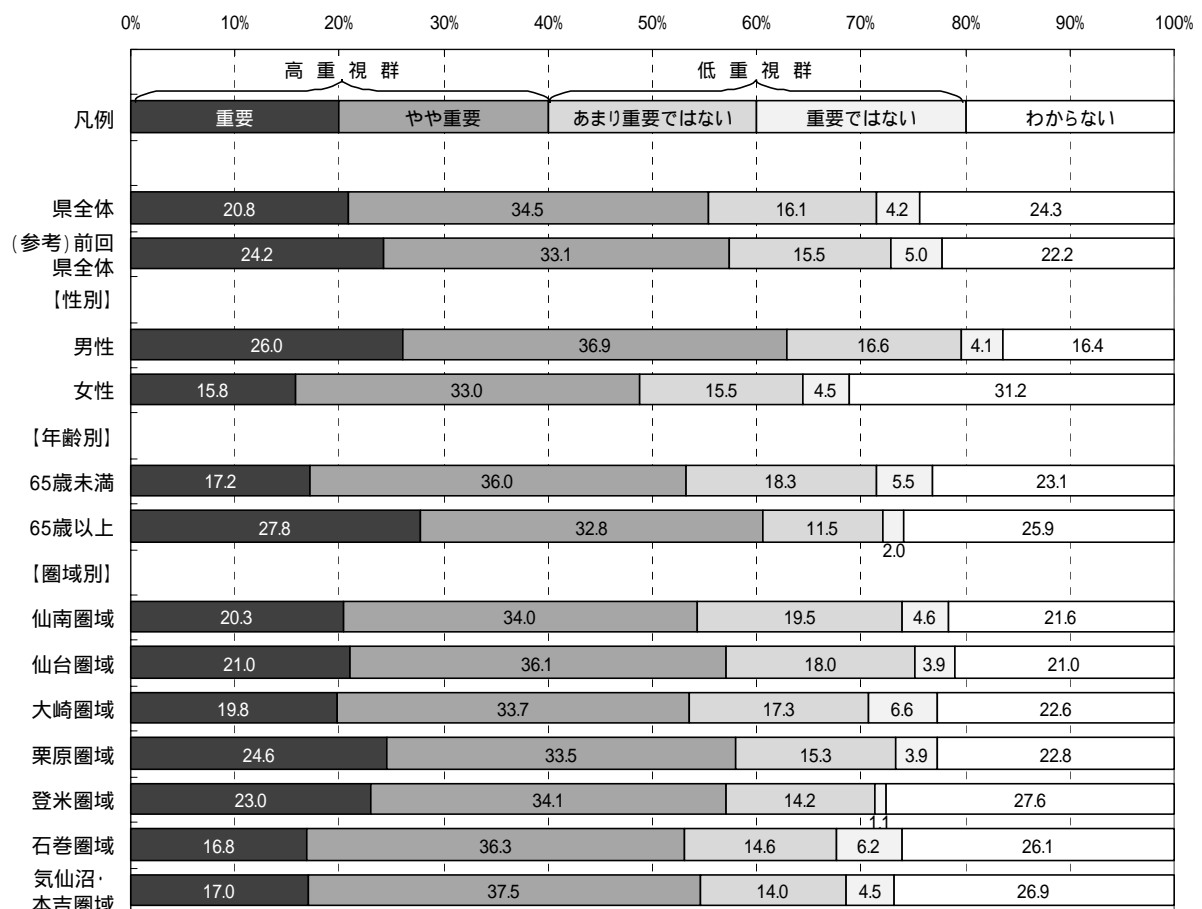


表2-2-2-3 取組2 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	384	636	297	77	448	1,842	102	1,944
	パーセント	20.8	34.5	16.1	4.2	24.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	27.5	45.6	21.3	5.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	424	579	271	88	388	1,750	92	1,842
	パーセント	24.2	33.1	15.5	5.0	22.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	224	317	143	35	141	860	34	894
	パーセント	26.0	36.9	16.6	4.1	16.4	100.0		
女性	度数	148	308	145	42	291	934	57	991
	パーセント	15.8	33.0	15.5	4.5	31.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	204	427	217	65	274	1,187	27	1,214
	パーセント	17.2	36.0	18.3	5.5	23.1	100.0		
65歳以上	度数	166	196	69	12	155	598	66	664
	パーセント	27.8	32.8	11.5	2.0	25.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	49	82	47	11	52	241	7	248
	パーセント	20.3	34.0	19.5	4.6	21.6	100.0		
仙台圏域	度数	49	84	42	9	49	233	16	249
	パーセント	21.0	36.1	18.0	3.9	21.0	100.0		
大崎圏域	度数	48	82	42	16	55	243	11	254
	パーセント	19.8	33.7	17.3	6.6	22.6	100.0		
栗原圏域	度数	69	94	43	11	64	281	24	305
	パーセント	24.6	33.5	15.3	3.9	22.8	100.0		
登米圏域	度数	60	89	37	3	72	261	18	279
	パーセント	23.0	34.1	14.2	1.1	27.6	100.0		
石巻圏域	度数	38	82	33	14	59	226	3	229
	パーセント	16.8	36.3	14.6	6.2	26.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	45	99	37	12	71	264	10	274
	パーセント	17.0	37.5	14.0	4.5	26.9	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は35.0%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は24.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が58.4%、『不満群』は41.6%となる。

性別

男性の『満足群』は39.8%で、県全体より4.8ポイント高い。

女性の『満足群』は30.6%で、県全体より4.4ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は29.5%で、県全体より5.5ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は46.3%で、県全体より11.3ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-2-4 取組2 満足度割合(属性別)

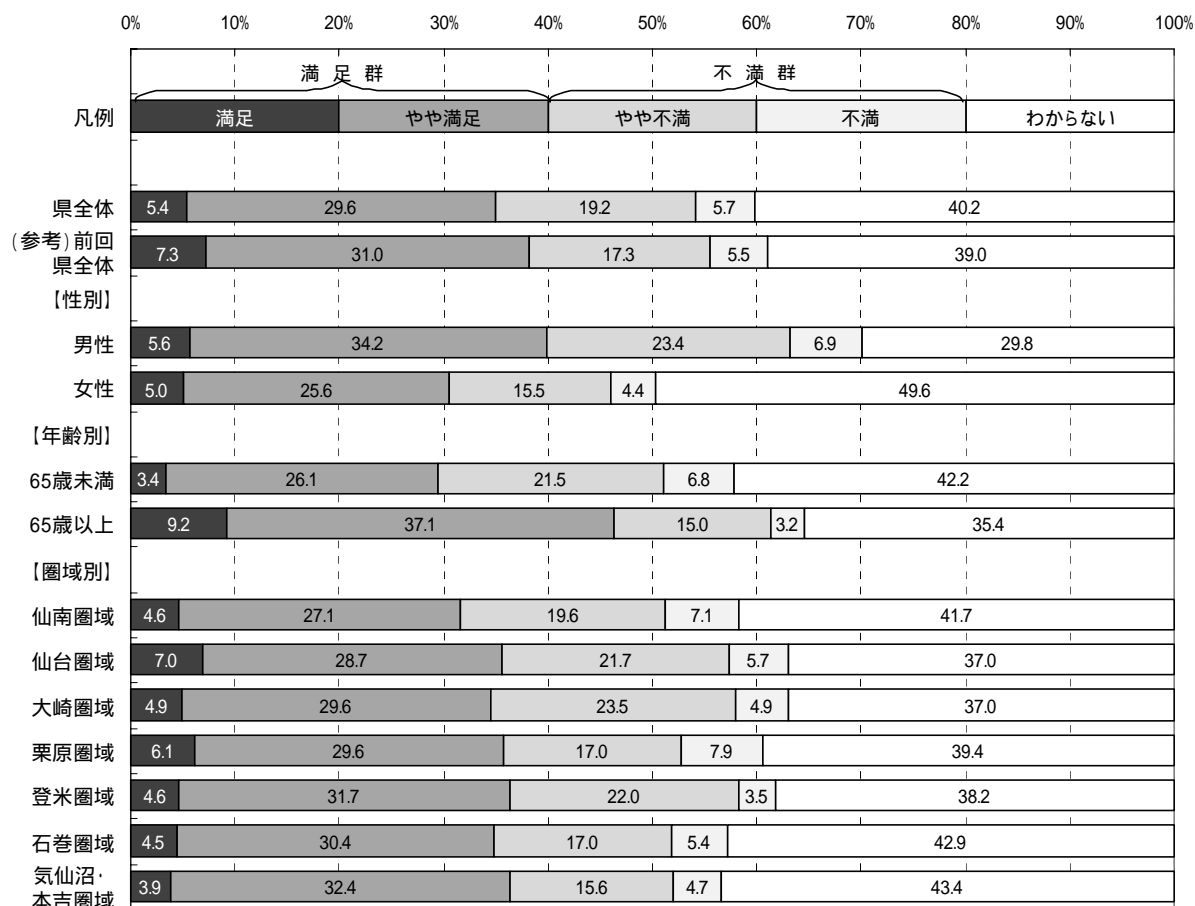


表2-2-2-4 取組2 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	98	538	349	103	731	1,819	125	1,944
	パーセント	5.4	29.6	19.2	5.7	40.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	9.0	49.4	32.1	9.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	125	534	299	94	672	1,724	118	1,842
	パーセント	7.3	31.0	17.3	5.5	39.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	48	291	199	59	254	851	43	894
	パーセント	5.6	34.2	23.4	6.9	29.8	100.0		
女性	度数	46	235	142	40	456	919	72	991
	パーセント	5.0	25.6	15.5	4.4	49.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	40	307	253	80	496	1,176	38	1,214
	パーセント	3.4	26.1	21.5	6.8	42.2	100.0		
65歳以上	度数	54	217	88	19	207	585	79	664
	パーセント	9.2	37.1	15.0	3.2	35.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	11	65	47	17	100	240	8	248
	パーセント	4.6	27.1	19.6	7.1	41.7	100.0		
仙台圏域	度数	16	66	50	13	85	230	19	249
	パーセント	7.0	28.7	21.7	5.7	37.0	100.0		
大崎圏域	度数	12	72	57	12	90	243	11	254
	パーセント	4.9	29.6	23.5	4.9	37.0	100.0		
栗原圏域	度数	17	82	47	22	109	277	28	305
	パーセント	6.1	29.6	17.0	7.9	39.4	100.0		
登米圏域	度数	12	82	57	9	99	259	20	279
	パーセント	4.6	31.7	22.0	3.5	38.2	100.0		
石巻圏域	度数	10	68	38	12	96	224	5	229
	パーセント	4.5	30.4	17.0	5.4	42.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	10	83	40	12	111	256	18	274
	パーセント	3.9	32.4	15.6	4.7	43.4	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組2に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 高度技術を活用した産業を作り出したいと考える企業と大学などの人材や技術の相互交流，共同研究，ネットワークづくり
- イ 大学や県内企業などによるプロジェクトに，国からの大規模な資金を使えるようにするための支援
- ウ 知的財産・未利用特許を持つ県内企業や大学などと，それを使った開発を行える企業の仲介や，そのような技術を利用して行う新製品の開発支援
- エ これから整備される東北大学サイエンスパークなどでの産業界と大学が連携した研究成果を活用した新製品の開発支援
- オ 独自技術を持つ企業の共同研究や，医学と工学が分野を超えて行う研究などによる新製品開発への支援

(参考:目標とする宮城の姿)

県内の大学や高専などの学術研究機関と企業の連携による，高度技術の事業化が進んでいます。
ベンチャー企業と既存企業が連携して，活発な事業活動が行われています。
また，そのような活動を通じて，県内に有望な企業が多く集まっています。
特許などを活用した競争力のある製品を持つ企業や世界に通用する独自技術を持つ企業など，存在感ある企業の数が増えています。

< 概要 >

県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア
第2位:	オ(オ)	オ	オ	オ	オ
第3位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	オ
第2位:	オ	オ	イ	オ	イ	オ	ア
第3位:	イ,ウ	イ	オ	イ	オ	ウ	イ

イ,ウ同率

属性別の優先順位が県全体と異なる場合，項目記号を網掛けしている。

()内は，前回の優先順位

図2 - 2 - 2 - 5 取組2 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

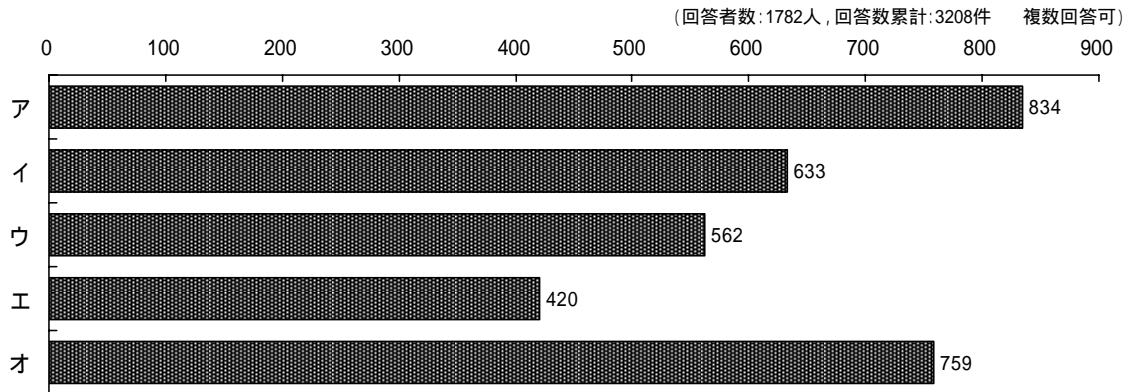
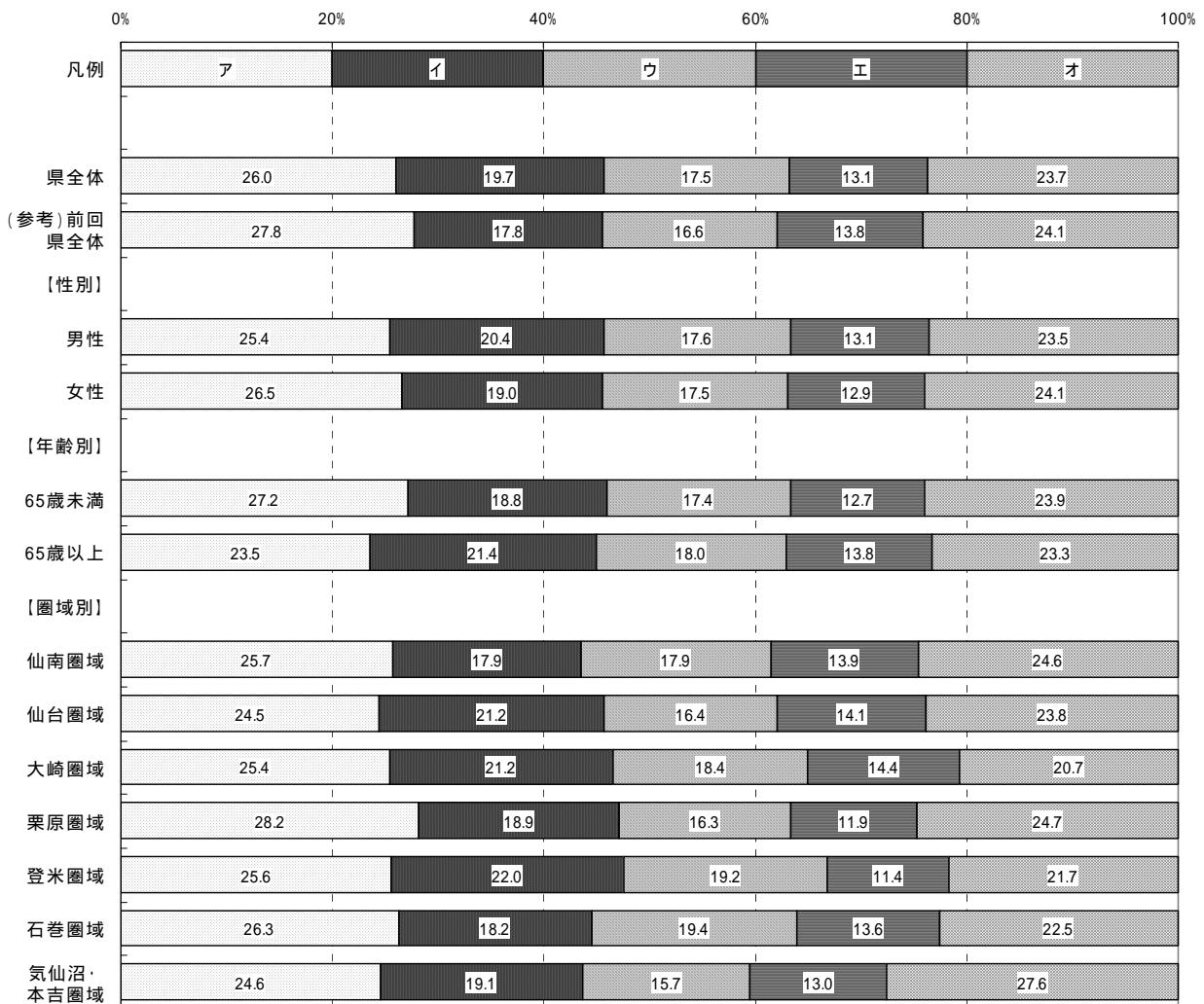


図2 - 2 - 2 - 6 取組2 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2 「産学官の連携による
高度技術産業の集積促進」

取組3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興



取組概要

県内で生産される豊富な農林水産物や水産加工業を中心とした産業の集積を生かし、付加価値の高い製品の開発を支援するとともに、食品製造業を成長軌道に乗せ、出荷額の増加を目指します。

平成20年度の主な取組

宮城の情報発信と売れる商品づくりを支援するため、東京都豊島区東池袋にアンテナショップを開設し、県産品販売を通して首都圏の消費者ニーズを県内企業等に提供しています。

食産業の振興のために推進方針を定め、「食材王国みやぎ」の取組を更に統一的に展開することで、多彩で豊富な県産食材等のブランドイメージを高めています。

農林水産物の付加価値を高めた加工品の開発を目指す農産加工者を支援するため、専門アドバイザーの派遣や研修会を開催し、経営能力や加工技術の向上を図っています。

安全で安心な水産物・水産加工品を提供するため、産地魚市場や水産加工場における衛生対策をより一層推進するための取組を支援しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は59.7%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は40.4%である。

性別

男性の『高認知群』は62.5%で、県全体より2.8ポイント高い。

女性の『高認知群』は57.7%で、県全体より2.0ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は60.4%で、県全体より0.7ポイント高い。

65歳以上の『高認知群』は59.5%で、県全体より0.2ポイント低い。

圏域別

仙台圏域の『高認知群』は54.4%で、県全体より5.3ポイント低い。

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は65.8%で、県全体より6.1ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-3-1 取組3 認知度割合(属性別)

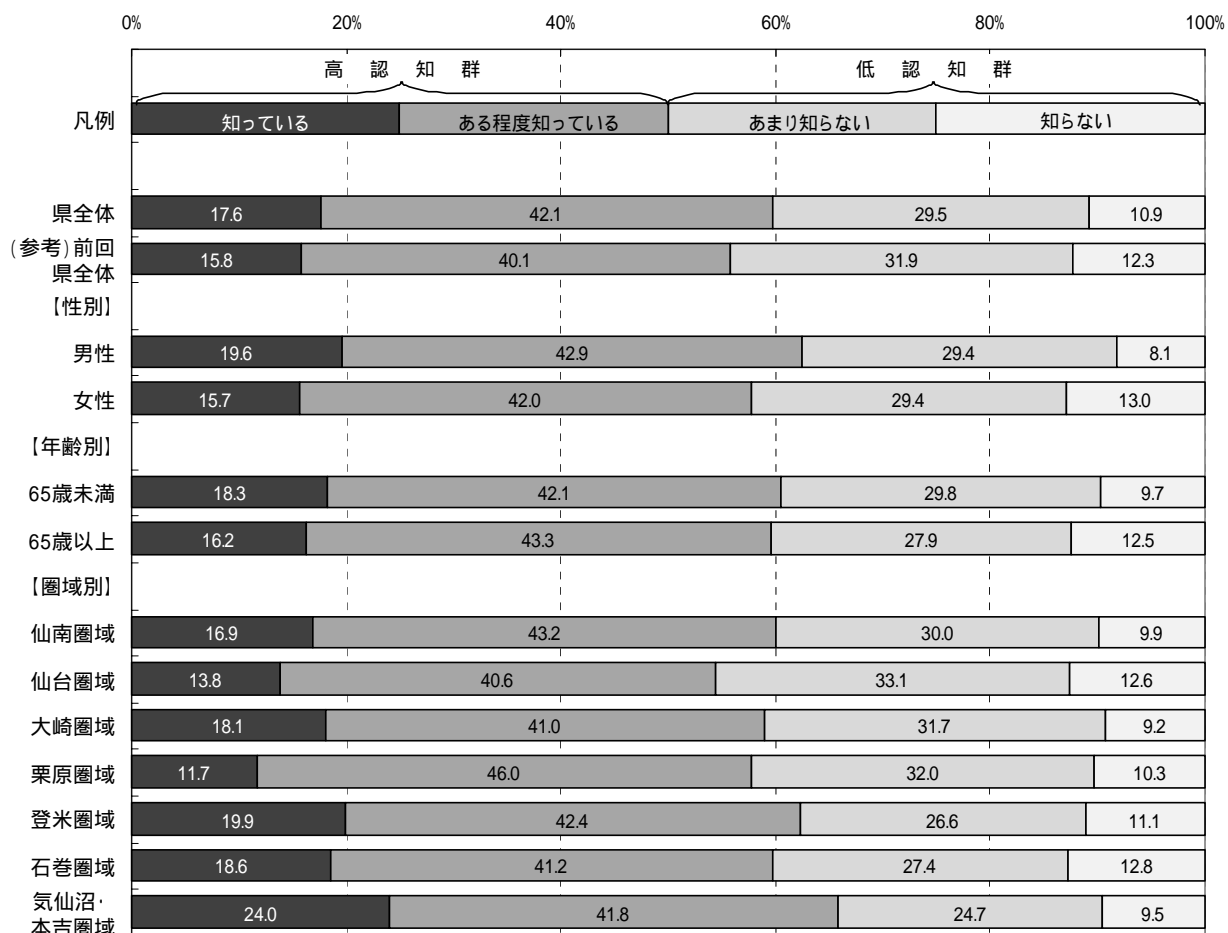


表2-2-3-1 取組3 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	330	791	554	204	1,879	65	1,944
	パーセント	17.6	42.1	29.5	10.9	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	282	716	570	219	1,787	55	1,842
	パーセント	15.8	40.1	31.9	12.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	171	374	256	71	872	22	894
	パーセント	19.6	42.9	29.4	8.1	100.0		
女性	度数	150	402	281	124	957	34	991
	パーセント	15.7	42.0	29.4	13.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	219	504	357	116	1,196	18	1,214
	パーセント	18.3	42.1	29.8	9.7	100.0		
65歳以上	度数	101	270	174	78	623	41	664
	パーセント	16.2	43.3	27.9	12.5	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	41	105	73	24	243	5	248
	パーセント	16.9	43.2	30.0	9.9	100.0		
仙台圏域	度数	33	97	79	30	239	10	249
	パーセント	13.8	40.6	33.1	12.6	100.0		
大崎圏域	度数	45	102	79	23	249	5	254
	パーセント	18.1	41.0	31.7	9.2	100.0		
栗原圏域	度数	34	134	93	30	291	14	305
	パーセント	11.7	46.0	32.0	10.3	100.0		
登米圏域	度数	54	115	72	30	271	8	279
	パーセント	19.9	42.4	26.6	11.1	100.0		
石巻圏域	度数	42	93	62	29	226	3	229
	パーセント	18.6	41.2	27.4	12.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	63	110	65	25	263	11	274
	パーセント	24.0	41.8	24.7	9.5	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は79.9%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は20.1%である。

性別

男性の『高関心群』は81.7%で、県全体より1.8ポイント高い。

女性の『高関心群』は78.5%で、県全体より1.4ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は81.6%で、県全体より1.7ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は77.1%で、県全体より2.8ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-3-2 取組3 関心度割合(属性別)

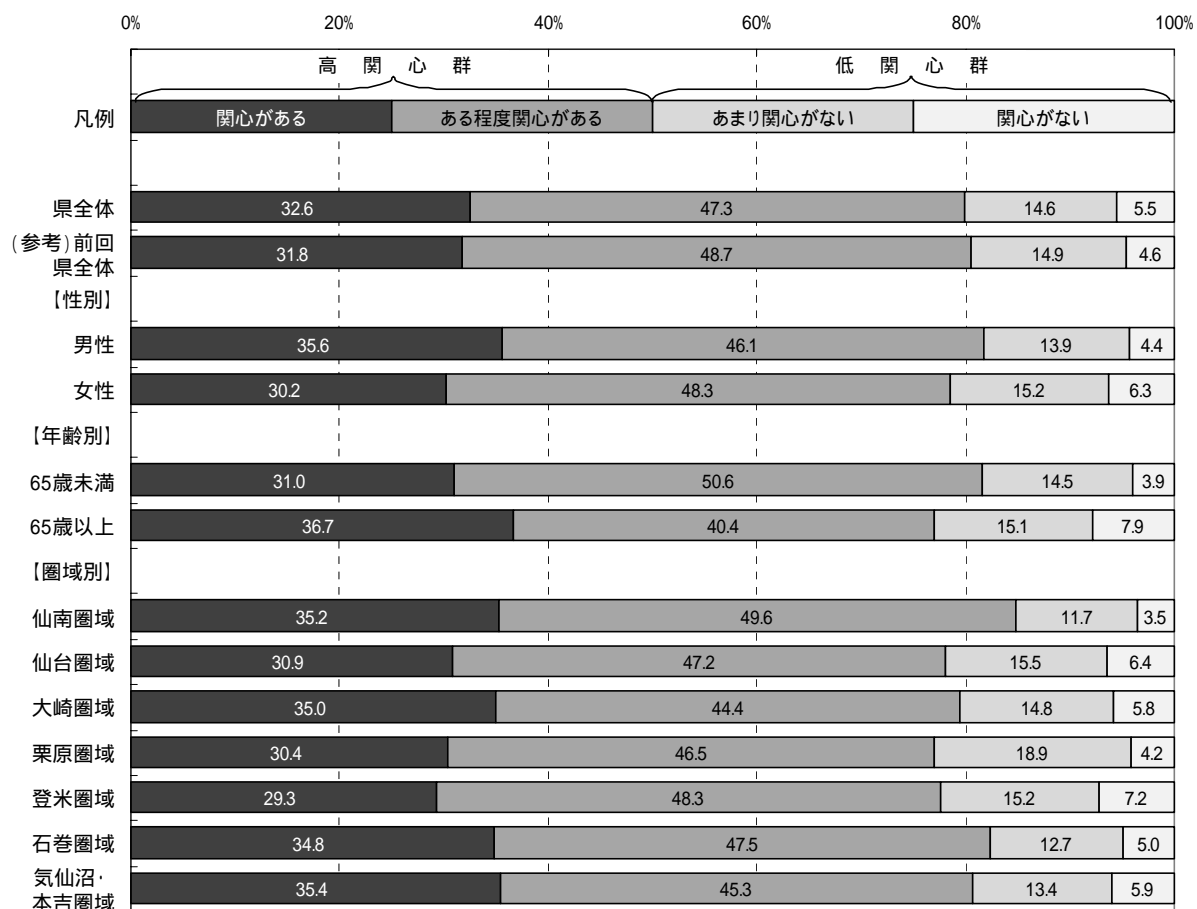


表2-2-3-2 取組3 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	593	861	266	101	1,821	123	1,944
	パーセント	32.6	47.3	14.6	5.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	542	832	255	78	1,707	135	1,842
	パーセント	31.8	48.7	14.9	4.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	302	391	118	37	848	46	894
	パーセント	35.6	46.1	13.9	4.4	100.0		
女性	度数	279	447	141	58	925	66	991
	パーセント	30.2	48.3	15.2	6.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	361	590	169	46	1,166	48	1,214
	パーセント	31.0	50.6	14.5	3.9	100.0		
65歳以上	度数	219	241	90	47	597	67	664
	パーセント	36.7	40.4	15.1	7.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	81	114	27	8	230	18	248
	パーセント	35.2	49.6	11.7	3.5	100.0		
仙台圏域	度数	72	110	36	15	233	16	249
	パーセント	30.9	47.2	15.5	6.4	100.0		
大崎圏域	度数	85	108	36	14	243	11	254
	パーセント	35.0	44.4	14.8	5.8	100.0		
栗原圏域	度数	87	133	54	12	286	19	305
	パーセント	30.4	46.5	18.9	4.2	100.0		
登米圏域	度数	77	127	40	19	263	16	279
	パーセント	29.3	48.3	15.2	7.2	100.0		
石巻圏域	度数	77	105	28	11	221	8	229
	パーセント	34.8	47.5	12.7	5.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	90	115	34	15	254	20	274
	パーセント	35.4	45.3	13.4	5.9	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は79.8%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は9.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が89.7%、『低重視群』は10.3%となる。

性別

男性の『高重視群』は82.6%で、県全体より2.8ポイント高い。

女性の『高重視群』は78.0%で、県全体より1.8ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は81.7%で、県全体より1.9ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は77.2%で、県全体より2.6ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-3-3 取組3 重視度割合(属性別)

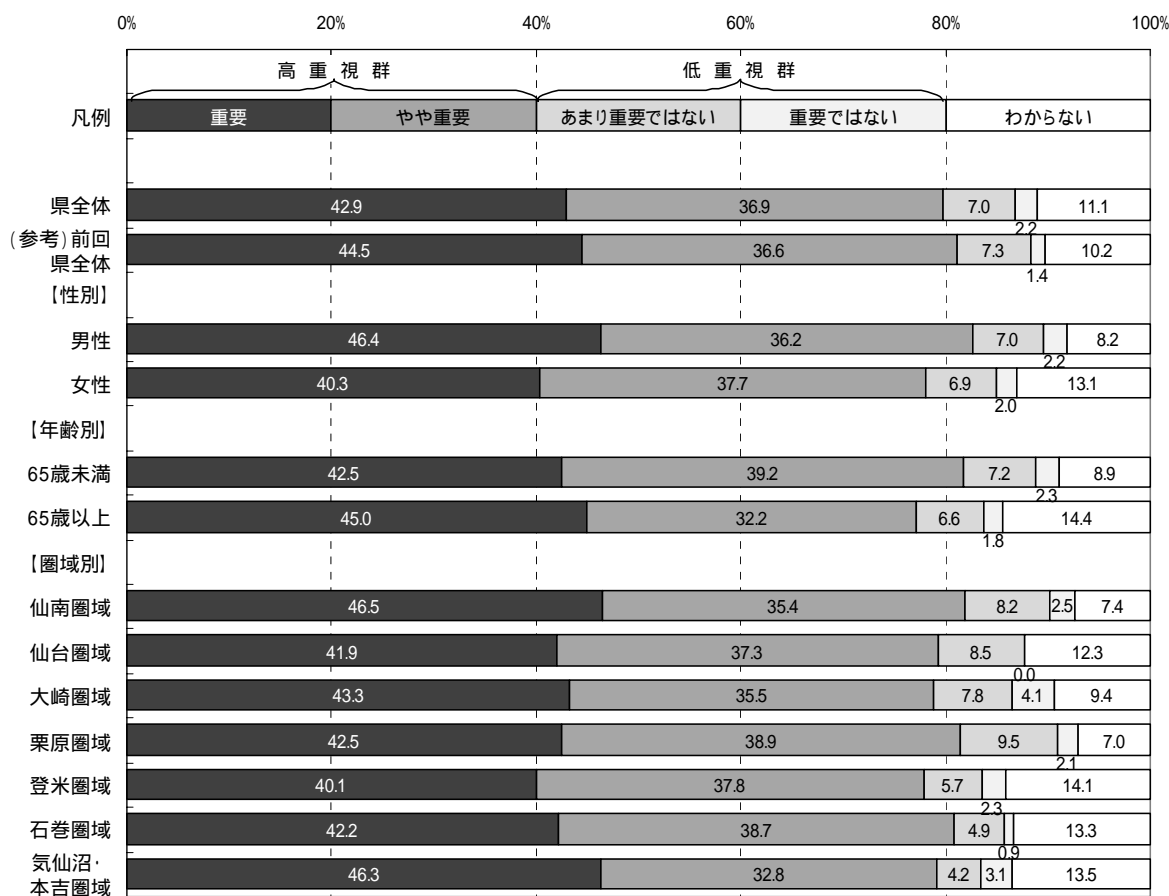


表2-2-3-3 取組3 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	793	681	129	40	205	1,848	96	1,944
	パーセント	42.9	36.9	7.0	2.2	11.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	48.3	41.4	7.9	2.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	779	641	127	25	179	1,751	91	1,842
	パーセント	44.5	36.6	7.3	1.4	10.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	397	310	60	19	70	856	38	894
	パーセント	46.4	36.2	7.0	2.2	8.2	100.0		
女性	度数	380	355	65	19	123	942	49	991
	パーセント	40.3	37.7	6.9	2.0	13.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	503	464	85	27	105	1,184	30	1,214
	パーセント	42.5	39.2	7.2	2.3	8.9	100.0		
65歳以上	度数	272	195	40	11	87	605	59	664
	パーセント	45.0	32.2	6.6	1.8	14.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	113	86	20	6	18	243	5	248
	パーセント	46.5	35.4	8.2	2.5	7.4	100.0		
仙台圏域	度数	99	88	20	0	29	236	13	249
	パーセント	41.9	37.3	8.5	0.0	12.3	100.0		
大崎圏域	度数	106	87	19	10	23	245	9	254
	パーセント	43.3	35.5	7.8	4.1	9.4	100.0		
栗原圏域	度数	121	111	27	6	20	285	20	305
	パーセント	42.5	38.9	9.5	2.1	7.0	100.0		
登米圏域	度数	105	99	15	6	37	262	17	279
	パーセント	40.1	37.8	5.7	2.3	14.1	100.0		
石巻圏域	度数	95	87	11	2	30	225	4	229
	パーセント	42.2	38.7	4.9	0.9	13.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	120	85	11	8	35	259	15	274
	パーセント	46.3	32.8	4.2	3.1	13.5	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は50.0%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は27.6%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が64.4%、『不満群』は35.6%となる。

性別

男性の『満足群』は50.5%で、県全体より0.5ポイント高い。

女性の『満足群』は49.9%で、県全体より0.1ポイント低い。

年齢別

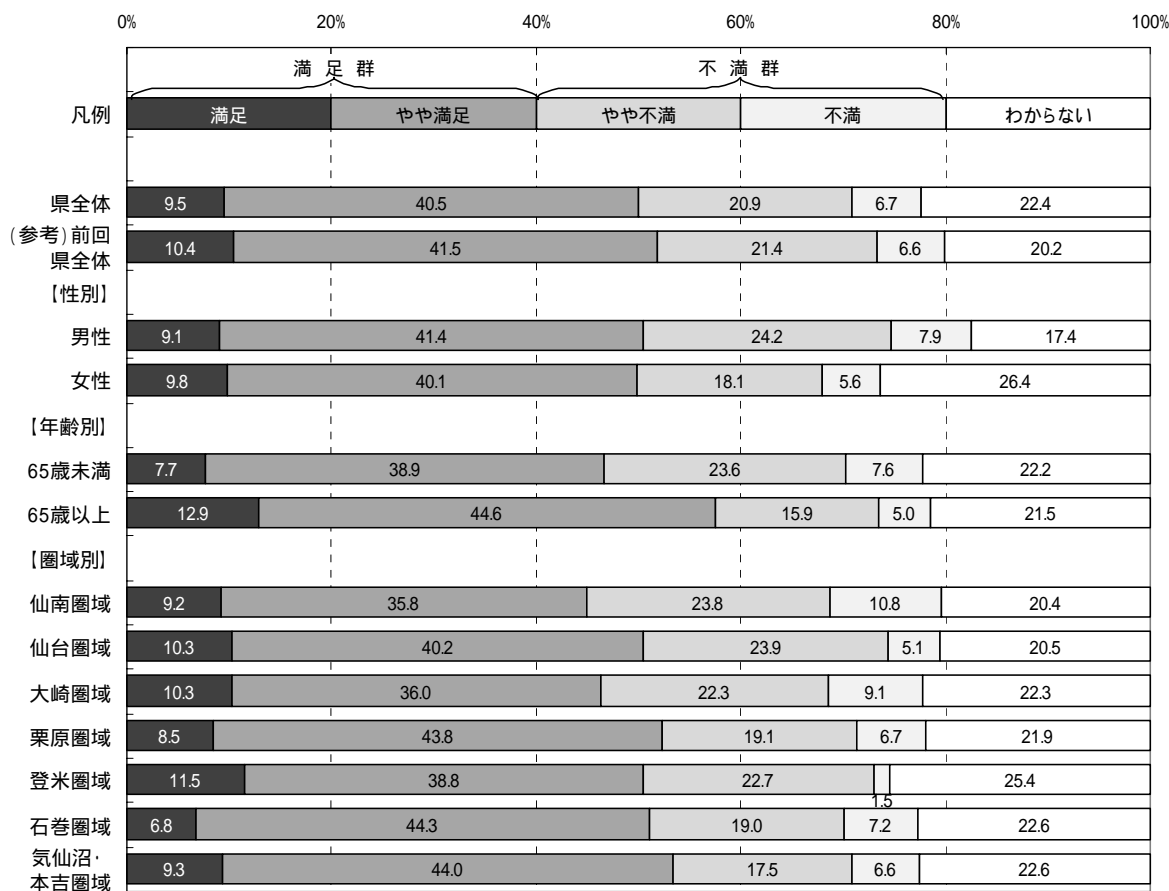
65歳未満の『満足群』は46.6%で、県全体より3.4ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は57.5%で、県全体より7.5ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-3-4 取組3 満足度割合(属性別)



取組3 「豊かな農林水産資源と結びついた
食品製造業の振興」

表2-2-3-4 取組3 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	174	740	382	123	409	1,828	116	1,944
	パーセント	9.5	40.5	20.9	6.7	22.4	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	12.3	52.1	26.9	8.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	180	720	372	114	350	1,736	106	1,842
	パーセント	10.4	41.5	21.4	6.6	20.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	77	352	206	67	148	850	44	894
	パーセント	9.1	41.4	24.2	7.9	17.4	100.0		
女性	度数	91	372	168	52	245	928	63	991
	パーセント	9.8	40.1	18.1	5.6	26.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	90	457	277	89	261	1,174	40	1,214
	パーセント	7.7	38.9	23.6	7.6	22.2	100.0		
65歳以上	度数	77	266	95	30	128	596	68	664
	パーセント	12.9	44.6	15.9	5.0	21.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	22	86	57	26	49	240	8	248
	パーセント	9.2	35.8	23.8	10.8	20.4	100.0		
仙台圏域	度数	24	94	56	12	48	234	15	249
	パーセント	10.3	40.2	23.9	5.1	20.5	100.0		
大崎圏域	度数	25	87	54	22	54	242	12	254
	パーセント	10.3	36.0	22.3	9.1	22.3	100.0		
栗原圏域	度数	24	124	54	19	62	283	22	305
	パーセント	8.5	43.8	19.1	6.7	21.9	100.0		
登米圏域	度数	30	101	59	4	66	260	19	279
	パーセント	11.5	38.8	22.7	1.5	25.4	100.0		
石巻圏域	度数	15	98	42	16	50	221	8	229
	パーセント	6.8	44.3	19.0	7.2	22.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	24	113	45	17	58	257	17	274
	パーセント	9.3	44.0	17.5	6.6	22.6	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組3に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 高齢化社会や健康志向などを踏まえて行う、消費者が求める商品づくり
- イ 新たな加工食品などの開発を、農林水産業、食品製造業者等が協力しながら行う体制づくりへの支援
- ウ 県内での取引を活発にするための、企業間の取引などの仲介
- エ 商品開発力や販売力を強化するための食品製造業の経営革新
- オ 産学官の連携や地域の食文化を生かした新商品開発
- カ 販売競争を有利に進めるための県産食品のイメージアップ
- キ 県や関係機関が協力して行う大規模商談会や、首都圏などで開催される国際規模の商談会での、県産食品の取引拡大に向けた支援
- ク 首都圏などでの市場調査や、企業間の販売や取引の仲介の支援

(参考:目標とする宮城の姿)

食品製造業と農林水産業が連携し、地元の素材を生かした商品がたくさん生まれています。「食材王国みやぎ」のイメージが広まり、県産食材の評判が高まって、宮城の農林水産物を使った加工食品の需要が伸びています。宮城の加工食品がさまざまな場所・方法で販売されるようになり、東アジアなど海外でも販売されています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア
第2位:	カ(カ)	カ	カ	カ	イ
第3位:	イ(イ)	イ	イ	イ	カ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	カ	カ	カ	カ	カ	イ	イ
第3位:	イ	イ	イ	イ	イ	カ	カ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
()内は、前回の優先順位

図2-2-3-5 取組3 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

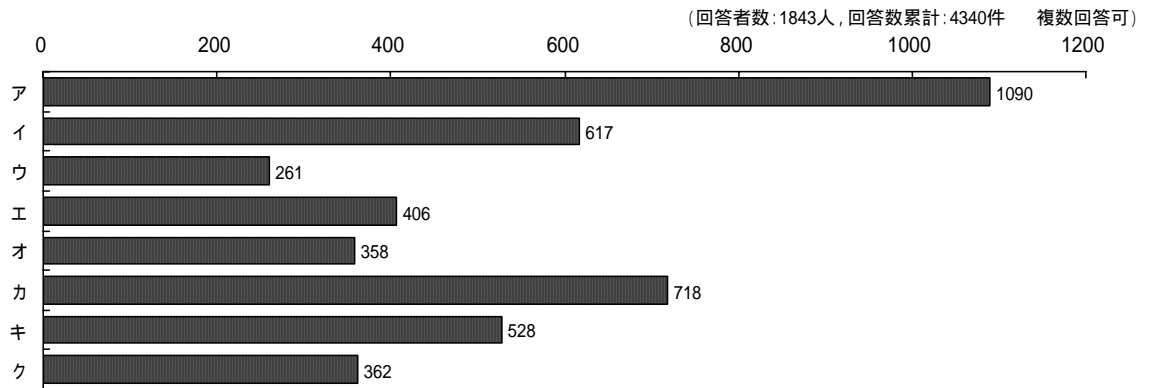
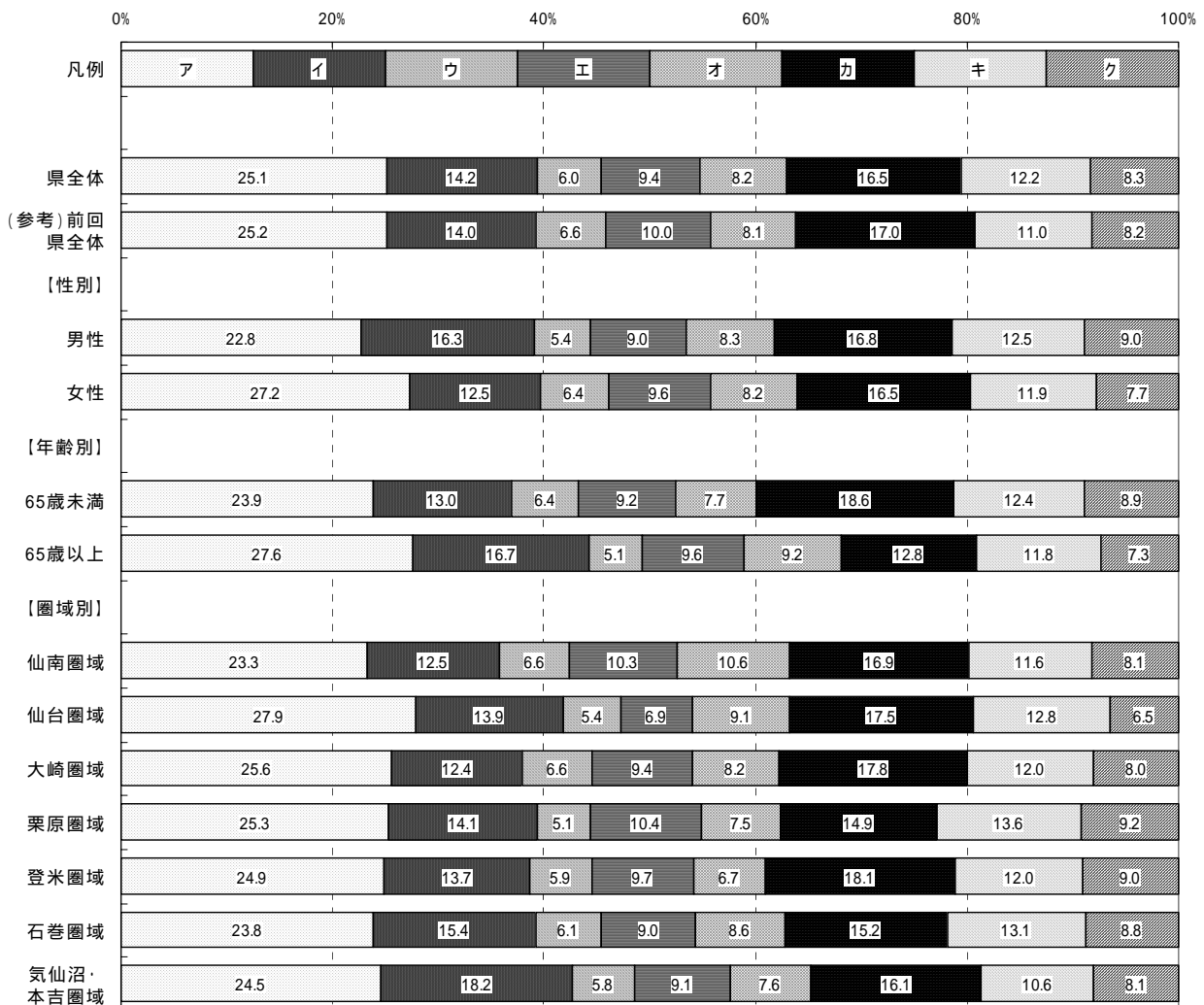


図2-2-3-6 取組3 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組3 「豊かな農林水産資源と結びつけた
食品製造業の振興」

取組 4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興



取組概要

高付加価値型サービスの創出，まちづくりと連携した地域商業の活性化，
情報関連産業の集積に向けた商品開発や人材の育成を目指します。

平成 20 年度の主な取組

県内IT(情報技術)企業の持つ優れたビジネスプランの実現に向け、商品開発に要する経費の一部を助成したり、優れた商品の表彰など販促活動を支援しています。

県内IT企業の市場獲得に向け、企業による組織化を支援したり、新分野への参入を促進するためのセミナーを開催し、企業の競争力強化に取り組んだほか、先進企業・大学院への技術者派遣による人材育成を支援しています。

東北テクノロジーセンターや産業技術総合センターが実施する高度IT技術研修によって、県内IT技術者の技術力向上に取り組んだほか、コールセンターの安定的な人材確保を支援するため、オペレータ養成セミナーを開催しています。

コールセンターや情報通信関連企業の県内への立地促進を図るため、事業所設置に要する経費の負担軽減を目的に、一定の要件を満たした立地企業に対し奨励金を交付しています。

県内サービス業の新たな創出と高付加価値化に向け、事業者連携による新たなサービスの開発環境を整備し、事業化に向けたビジネスプランの作成を支援しています。

商店街の活性化を図るため、商店街団体等が行う事業計画の作成から各種ソフト事業、ハード事業まで総合的な商店街活性化事業に対して支援しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は22.7%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は77.3%である。

性別

男性の『高認知群』は26.2%で、県全体より3.5ポイント高い。

女性の『高認知群』は19.0%で、県全体より3.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は20.1%で、県全体より2.6ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は27.4%で、県全体より4.7ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-4-1 取組4 認知度割合(属性別)

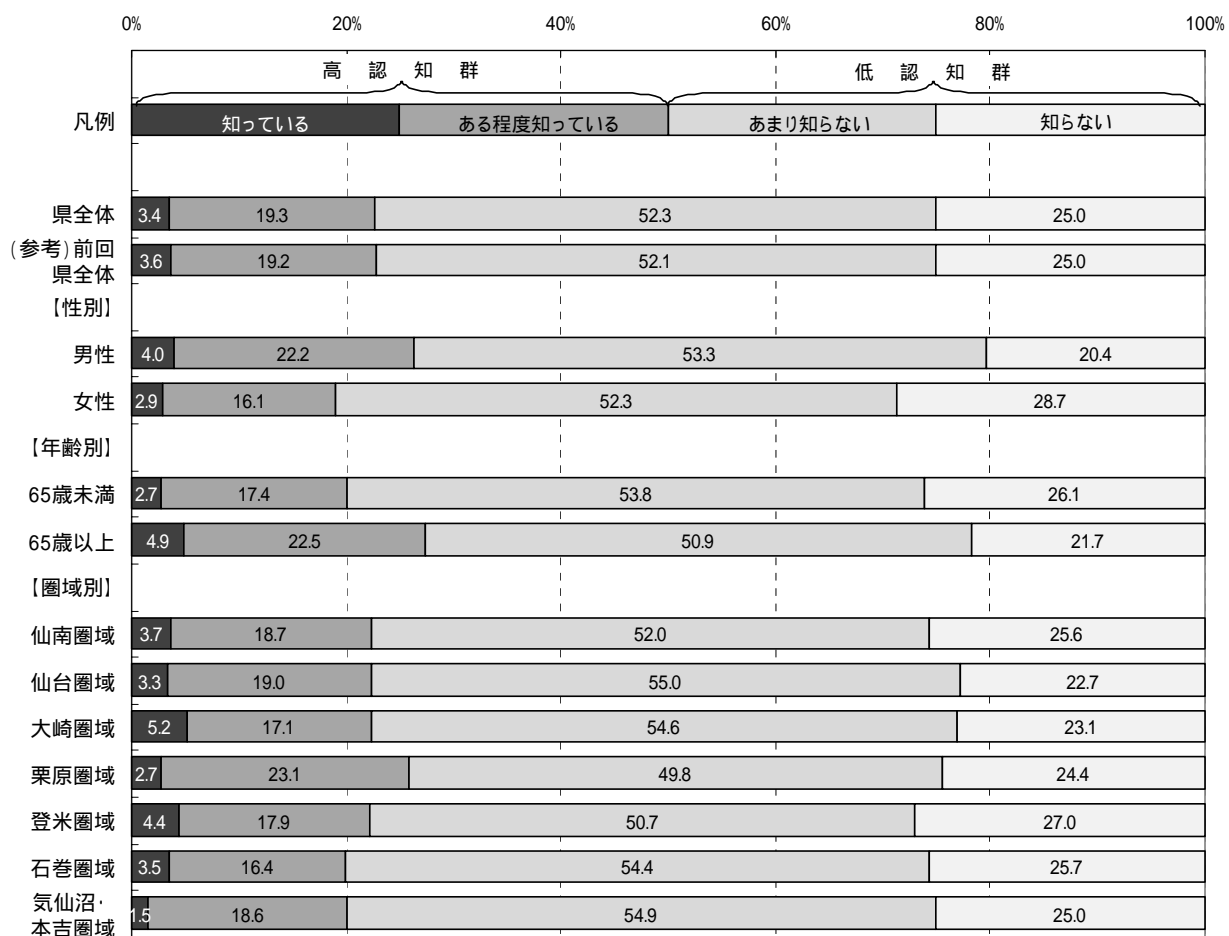


表2-2-4-1 取組4 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	65	366	992	475	1,898	46	1,944
	パーセント	3.4	19.3	52.3	25.0	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	64	343	929	446	1,782	60	1,842
	パーセント	3.6	19.2	52.1	25.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	35	196	470	180	881	13	894
	パーセント	4.0	22.2	53.3	20.4	100.0		
女性	度数	28	156	505	277	966	25	991
	パーセント	2.9	16.1	52.3	28.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	32	209	647	314	1,202	12	1,214
	パーセント	2.7	17.4	53.8	26.1	100.0		
65歳以上	度数	31	143	323	138	635	29	664
	パーセント	4.9	22.5	50.9	21.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	9	46	128	63	246	2	248
	パーセント	3.7	18.7	52.0	25.6	100.0		
仙台圏域	度数	8	46	133	55	242	7	249
	パーセント	3.3	19.0	55.0	22.7	100.0		
大崎圏域	度数	13	43	137	58	251	3	254
	パーセント	5.2	17.1	54.6	23.1	100.0		
栗原圏域	度数	8	68	147	72	295	10	305
	パーセント	2.7	23.1	49.8	24.4	100.0		
登米圏域	度数	12	49	139	74	274	5	279
	パーセント	4.4	17.9	50.7	27.0	100.0		
石巻圏域	度数	8	37	123	58	226	3	229
	パーセント	3.5	16.4	54.4	25.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	4	49	145	66	264	10	274
	パーセント	1.5	18.6	54.9	25.0	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は47.2%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は52.8%である。

性別

男性の『高関心群』は53.3%で、県全体より6.1ポイント高い。

女性の『高関心群』は41.9%で、県全体より5.3ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は44.1%で、県全体より3.1ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は54.4%で、県全体より7.2ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高関心群』は52.5%で、県全体より5.3ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-4-2 取組4 関心度割合(属性別)

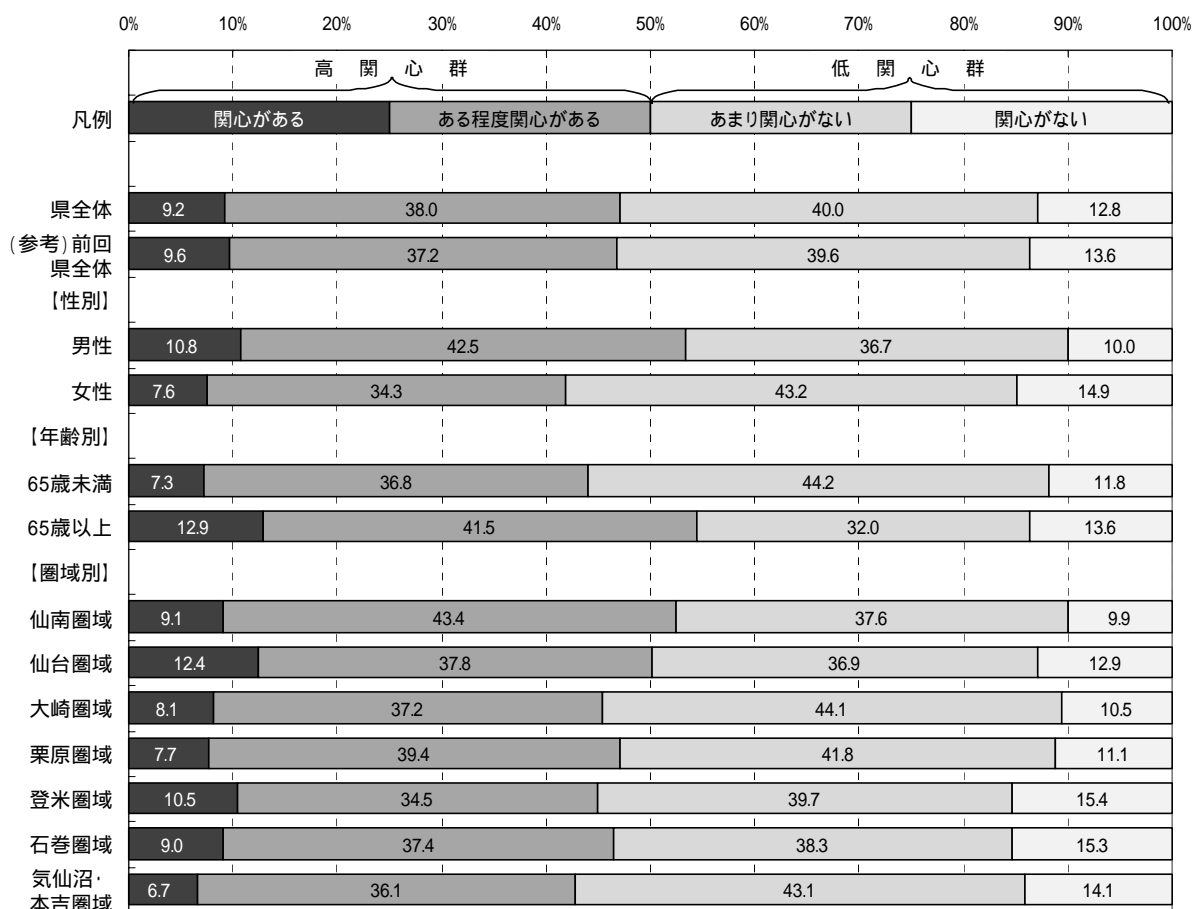


表2-2-4-2 取組4 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	170	701	739	237	1,847	97	1,944
	パーセント	9.2	38.0	40.0	12.8	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	165	639	680	234	1,718	124	1,842
	パーセント	9.6	37.2	39.6	13.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	93	367	317	86	863	31	894
	パーセント	10.8	42.5	36.7	10.0	100.0		
女性	度数	71	321	405	140	937	54	991
	パーセント	7.6	34.3	43.2	14.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	86	436	524	140	1,186	28	1,214
	パーセント	7.3	36.8	44.2	11.8	100.0		
65歳以上	度数	78	250	193	82	603	61	664
	パーセント	12.9	41.5	32.0	13.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	22	105	91	24	242	6	248
	パーセント	9.1	43.4	37.6	9.9	100.0		
仙台圏域	度数	29	88	86	30	233	16	249
	パーセント	12.4	37.8	36.9	12.9	100.0		
大崎圏域	度数	20	92	109	26	247	7	254
	パーセント	8.1	37.2	44.1	10.5	100.0		
栗原圏域	度数	22	113	120	32	287	18	305
	パーセント	7.7	39.4	41.8	11.1	100.0		
登米圏域	度数	28	92	106	41	267	12	279
	パーセント	10.5	34.5	39.7	15.4	100.0		
石巻圏域	度数	20	83	85	34	222	7	229
	パーセント	9.0	37.4	38.3	15.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	17	92	110	36	255	19	274
	パーセント	6.7	36.1	43.1	14.1	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は50.7%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は21.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が70.2%、『低重視群』は29.8%となる。

性別

男性の『高重視群』は57.3%で、県全体より6.6ポイント高い。

女性の『高重視群』は44.6%で、県全体より6.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は48.6%で、県全体より2.1ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は55.2%で、県全体より4.5ポイント高い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は42.4%で、県全体より8.3ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-4-3 取組4 重視度割合(属性別)

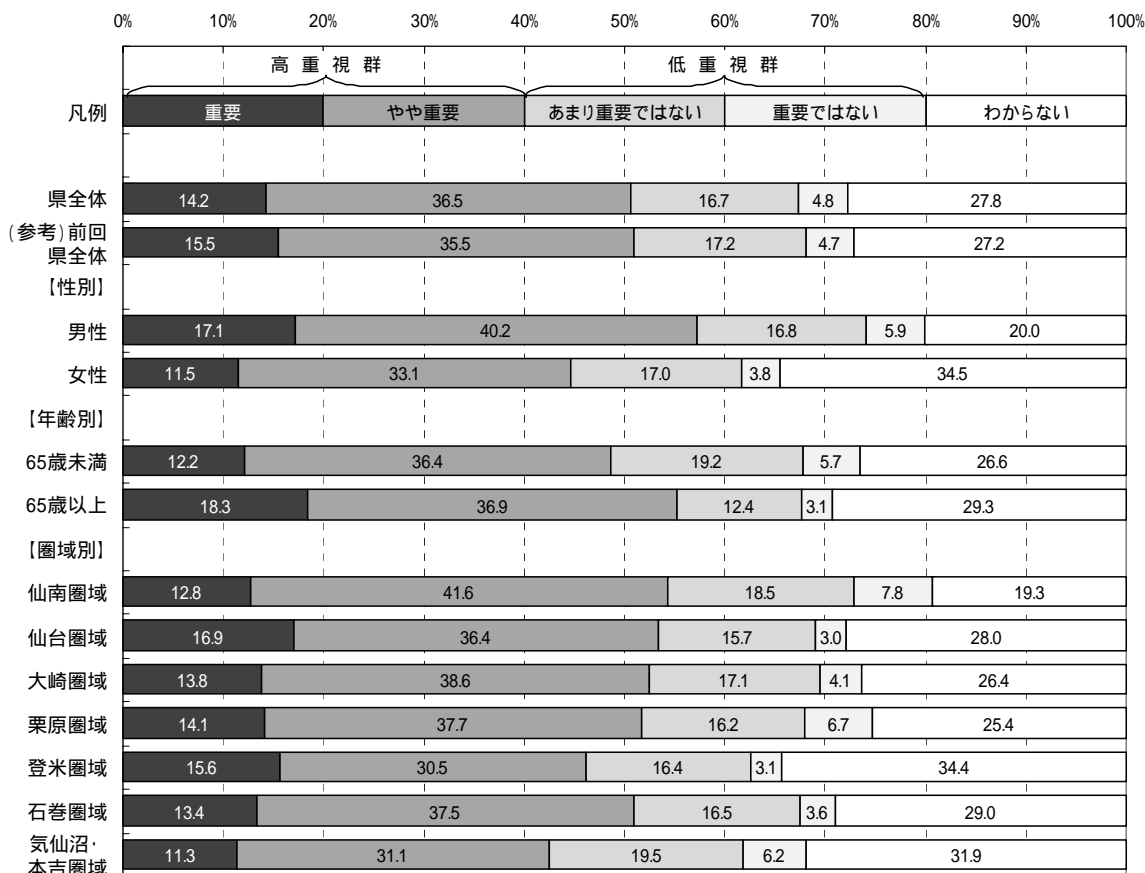


表2-2-4-3 取組4 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	262	672	308	89	512	1,843	101	1,944
	パーセント	14.2	36.5	16.7	4.8	27.8	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	19.7	50.5	23.1	6.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	266	608	294	80	466	1,714	128	1,842
	パーセント	15.5	35.5	17.2	4.7	27.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	147	345	144	51	172	859	35	894
	パーセント	17.1	40.2	16.8	5.9	20.0	100.0		
女性	度数	108	310	159	36	323	936	55	991
	パーセント	11.5	33.1	17.0	3.8	34.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	144	430	227	67	314	1,182	32	1,214
	パーセント	12.2	36.4	19.2	5.7	26.6	100.0		
65歳以上	度数	111	223	75	19	177	605	59	664
	パーセント	18.3	36.9	12.4	3.1	29.3	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	31	101	45	19	47	243	5	248
	パーセント	12.8	41.6	18.5	7.8	19.3	100.0		
仙台圏域	度数	40	86	37	7	66	236	13	249
	パーセント	16.9	36.4	15.7	3.0	28.0	100.0		
大崎圏域	度数	34	95	42	10	65	246	8	254
	パーセント	13.8	38.6	17.1	4.1	26.4	100.0		
栗原圏域	度数	40	107	46	19	72	284	21	305
	パーセント	14.1	37.7	16.2	6.7	25.4	100.0		
登米圏域	度数	41	80	43	8	90	262	17	279
	パーセント	15.6	30.5	16.4	3.1	34.4	100.0		
石巻圏域	度数	30	84	37	8	65	224	5	229
	パーセント	13.4	37.5	16.5	3.6	29.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	29	80	50	16	82	257	17	274
	パーセント	11.3	31.1	19.5	6.2	31.9	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は28.8%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は26.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が52.4%、『不満群』は47.5%となる。

性別

男性の『満足群』は31.2%で、県全体より2.4ポイント高い。

女性の『満足群』は26.6%で、県全体より2.2ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は24.5%で、県全体より4.3ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は37.6%で、県全体より8.8ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-4-4 取組4 満足度割合(属性別)

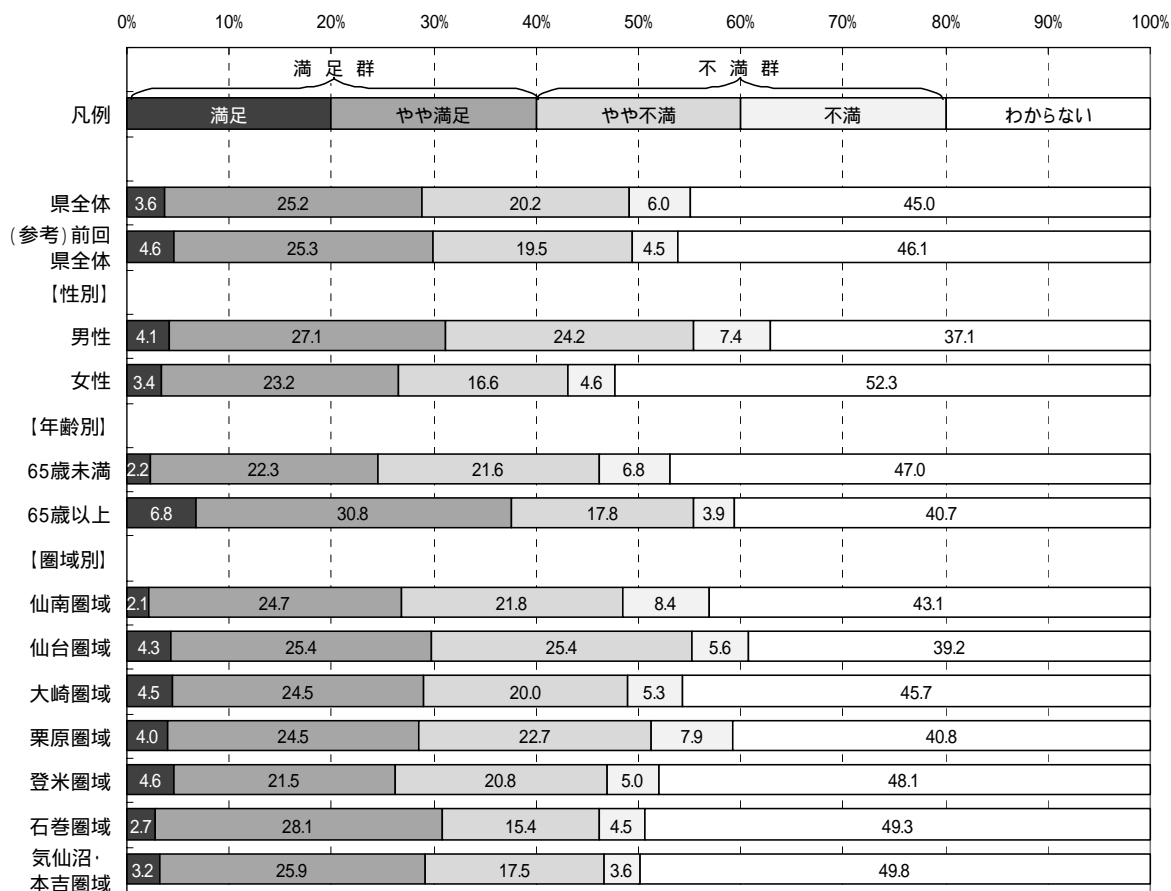


表2-2-4-4 取組4 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	66	458	367	108	816	1,815	129	1,944
	パーセント	3.6	25.2	20.2	6.0	45.0	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	6.6	45.8	36.7	10.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	78	429	330	77	782	1,696	146	1,842
	パーセント	4.6	25.3	19.5	4.5	46.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	35	229	205	63	314	846	48	894
	パーセント	4.1	27.1	24.2	7.4	37.1	100.0		
女性	度数	31	214	153	42	482	922	69	991
	パーセント	3.4	23.2	16.6	4.6	52.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	26	261	253	80	549	1,169	45	1,214
	パーセント	2.2	22.3	21.6	6.8	47.0	100.0		
65歳以上	度数	40	182	105	23	240	590	74	664
	パーセント	6.8	30.8	17.8	3.9	40.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	5	59	52	20	103	239	9	248
	パーセント	2.1	24.7	21.8	8.4	43.1	100.0		
仙台圏域	度数	10	59	59	13	91	232	17	249
	パーセント	4.3	25.4	25.4	5.6	39.2	100.0		
大崎圏域	度数	11	60	49	13	112	245	9	254
	パーセント	4.5	24.5	20.0	5.3	45.7	100.0		
栗原圏域	度数	11	68	63	22	113	277	28	305
	パーセント	4.0	24.5	22.7	7.9	40.8	100.0		
登米圏域	度数	12	56	54	13	125	260	19	279
	パーセント	4.6	21.5	20.8	5.0	48.1	100.0		
石巻圏域	度数	6	62	34	10	109	221	8	229
	パーセント	2.7	28.1	15.4	4.5	49.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	65	44	9	125	251	23	274
	パーセント	3.2	25.9	17.5	3.6	49.8	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組4に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 地域経済を活性化させる新たな事業モデルづくりや、世界規模での商取引や流通の合理化など、経済構造の変化に対応した新たな事業展開に対するアドバイス機能の充実
- イ 地域の住民が主体となって地域の課題解決に取り組み、それにより地域を活性化するコミュニティビジネスのような、地域や生活に密着したサービス業を行う場合の支援
- ウ 地域住民や公共サービスと連携した地域商業の活性化支援
- エ コールセンターなどの企業(サービス業)の誘致促進
- オ 情報関連技術者の養成と、企業が経営革新する場合の情報関連技術の積極的活用
- カ 情報関連産業で活躍できる高度な技術を持つ人材の育成支援
- キ 健康福祉分野や家電製品の組み込みソフトなど、成長が期待される分野での市場占有率獲得を目指した技術習得、人材交流、商品開発などへの支援

(参考:目標とする宮城の姿)

福祉サービスや育児サービスなど、社会構造の変化に合わせた魅力的なサービスを行う企業などが県内に増えています。

中心市街地の再生が進み、消費者にとって魅力ある商店街づくりが進んでいます。

全国・世界に通用する、専門的知識や技術力のある情報関連企業の数が増えています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第2位:	ウ(ウ)	ウ	ウ	ウ	ウ
第3位:	キ(キ)	キ	キ	キ	キ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第2位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第3位:	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

()内は、前回の優先順位

図2-2-4-5 取組4 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

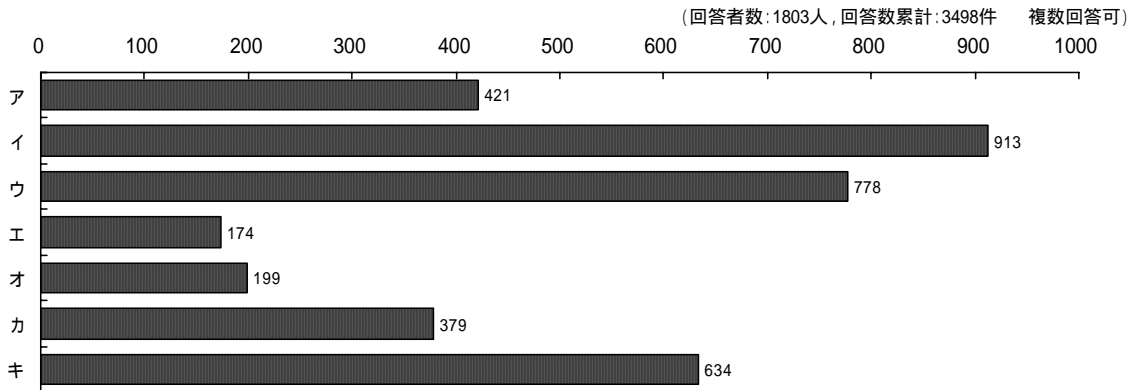
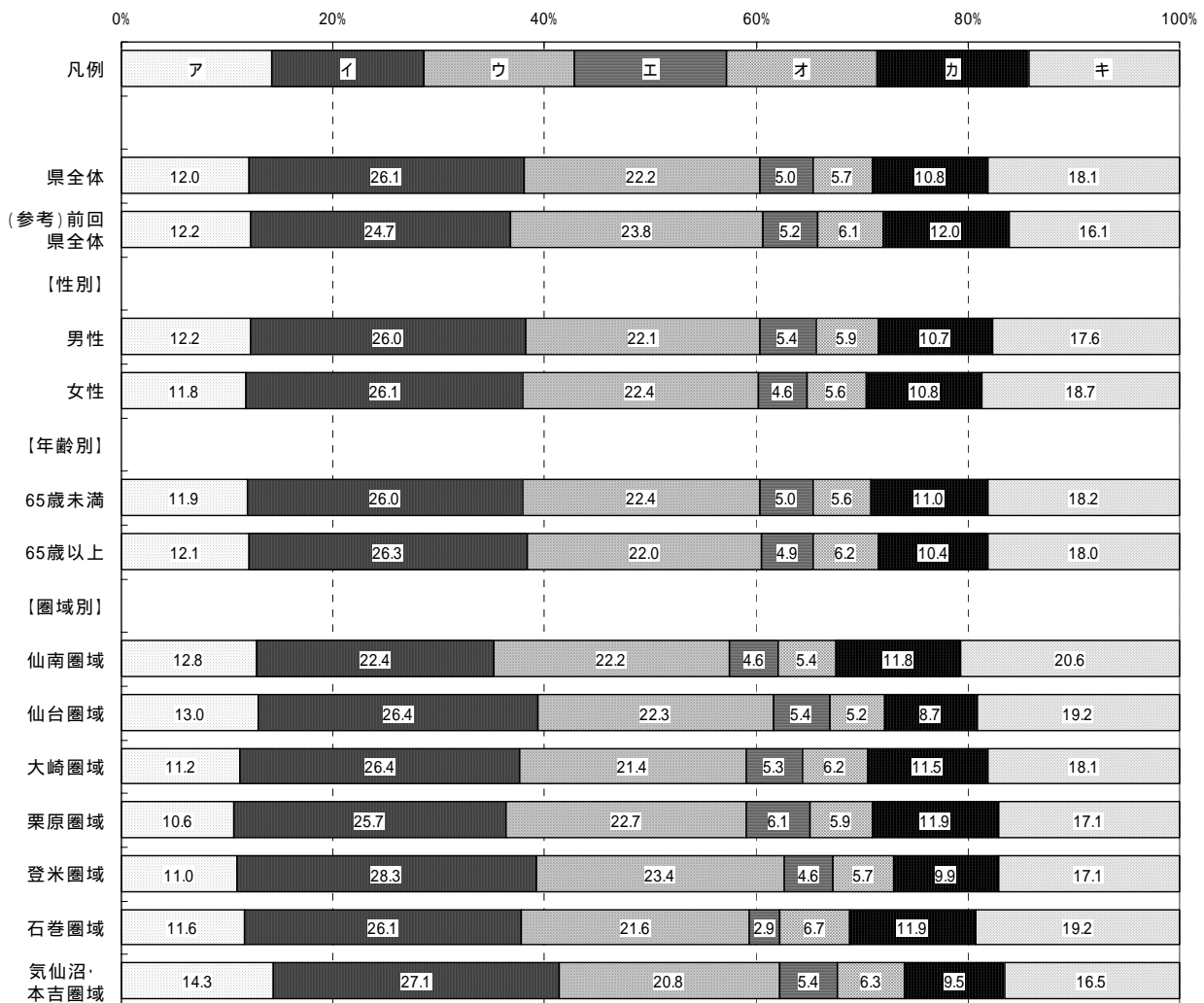


図2-2-4-6 取組4 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 4 「高付加価値型サービス産業・
情報産業及び地域商業の振興」

取組5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現



取組概要

全国大型観光キャンペーン（仙台・宮城デスティネーションキャンペーンなど）の実施や観光資源の磨き上げ，人材の育成，外国人観光客の誘致など，観光客の増加に向けた諸施策に積極的に取り組み，観光王国みやぎの実現を目指します。

平成20年度の主な取組

自治体，観光関係者，農業・水産業・商工業など幅広い関係機関が連携し，全国各地から観光客を誘致する大型観光キャンペーン（仙台・宮城デスティネーションキャンペーン）を実施しています。

蔵王国定公園，栗駒国定公園及び松島県立公園の3地域において，高齢者や子ども等の安全な利用にも配慮した自然公園施設（遊歩道・登山道等）の整備を行っています。

主要な観光地，道の駅，鉄道駅などに多言語表記の広域観光案内板を設置するとともに，老朽化したミニ観光案内誘導看板の多言語による再整備を行っています。

外国人観光客誘致のため，東アジアを中心とした国々の旅行エージェントを招き，観光施設視察を通じた本県への理解促進や海外のマスコミへの本県観光施設紹介，国際旅行博等での本県のPRに努めています。

農山漁村が持つ優れた景観や文化，食材などを活用したグリーン・ツーリズムなど，県内各地の特徴を生かしながら都市との交流活動ができるよう支援しています。今年度は仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに合わせて，農家レストラン等で地域性豊かな料理等の提供や，生産者や地域の歴史，食文化と触れあうバスツアーなどを実施しました。

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて，どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は67.8%，
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は32.1%である。
また前回の『高認知群』は52.1%で，今回は前回より15.7ポイント高い

性別

男性の『高認知群』は67.9%で，県全体より0.1ポイント高い。

女性の『高認知群』は68.5%で，県全体より0.7ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は69.7%で，県全体より1.9ポイント高い。

65歳以上の『高認知群』は65.8%で，県全体より2.0ポイント低い。

圏域別

登米圏域の『高認知群』は61.2%で，県全体より6.6ポイント低い。

石巻圏域の『高認知群』は73.2%で，県全体より5.4ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は，県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-5-1 取組5 認知度割合(属性別)

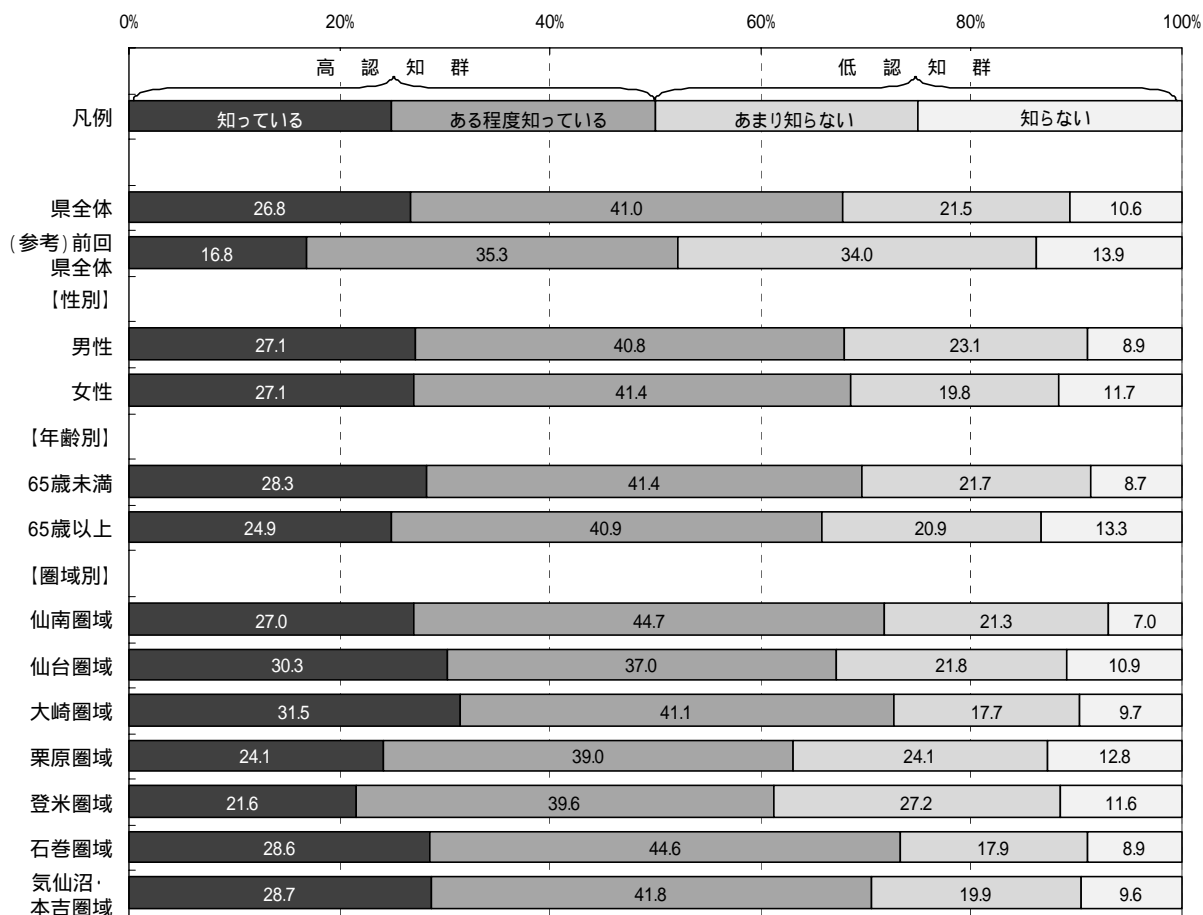


表2 - 2 - 5 - 1 取組5 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	502	768	403	199	1,872	72	1,944
	パーセント	26.8	41.0	21.5	10.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	297	624	601	245	1,767	75	1,842
	パーセント	16.8	35.3	34.0	13.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	238	358	203	78	877	17	894
	パーセント	27.1	40.8	23.1	8.9	100.0		
女性	度数	256	391	187	111	945	46	991
	パーセント	27.1	41.4	19.8	11.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	336	492	258	103	1,189	25	1,214
	パーセント	28.3	41.4	21.7	8.7	100.0		
65歳以上	度数	155	255	130	83	623	41	664
	パーセント	24.9	40.9	20.9	13.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	66	109	52	17	244	4	248
	パーセント	27.0	44.7	21.3	7.0	100.0		
仙台圏域	度数	72	88	52	26	238	11	249
	パーセント	30.3	37.0	21.8	10.9	100.0		
大崎圏域	度数	78	102	44	24	248	6	254
	パーセント	31.5	41.1	17.7	9.7	100.0		
栗原圏域	度数	70	113	70	37	290	15	305
	パーセント	24.1	39.0	24.1	12.8	100.0		
登米圏域	度数	58	106	73	31	268	11	279
	パーセント	21.6	39.6	27.2	11.6	100.0		
石巻圏域	度数	64	100	40	20	224	5	229
	パーセント	28.6	44.6	17.9	8.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	75	109	52	25	261	13	274
	パーセント	28.7	41.8	19.9	9.6	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は77.5%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は22.4%である。
また前回の『高関心群』は71.8%で、今回は前回より5.7ポイント高い。

性別

男性の『高関心群』は77.6%で、県全体より0.1ポイント高い。

女性の『高関心群』は78.3%で、県全体より0.8ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は80.2%で、県全体より2.7ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は73.9%で、県全体より3.6ポイント低い。

圏域別

仙南圏域の『高関心群』は84.1%で、県全体より6.6ポイント高い。

登米圏域の『高関心群』は72.4%で、県全体より5.1ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-5-2 取組5 関心度割合(属性別)

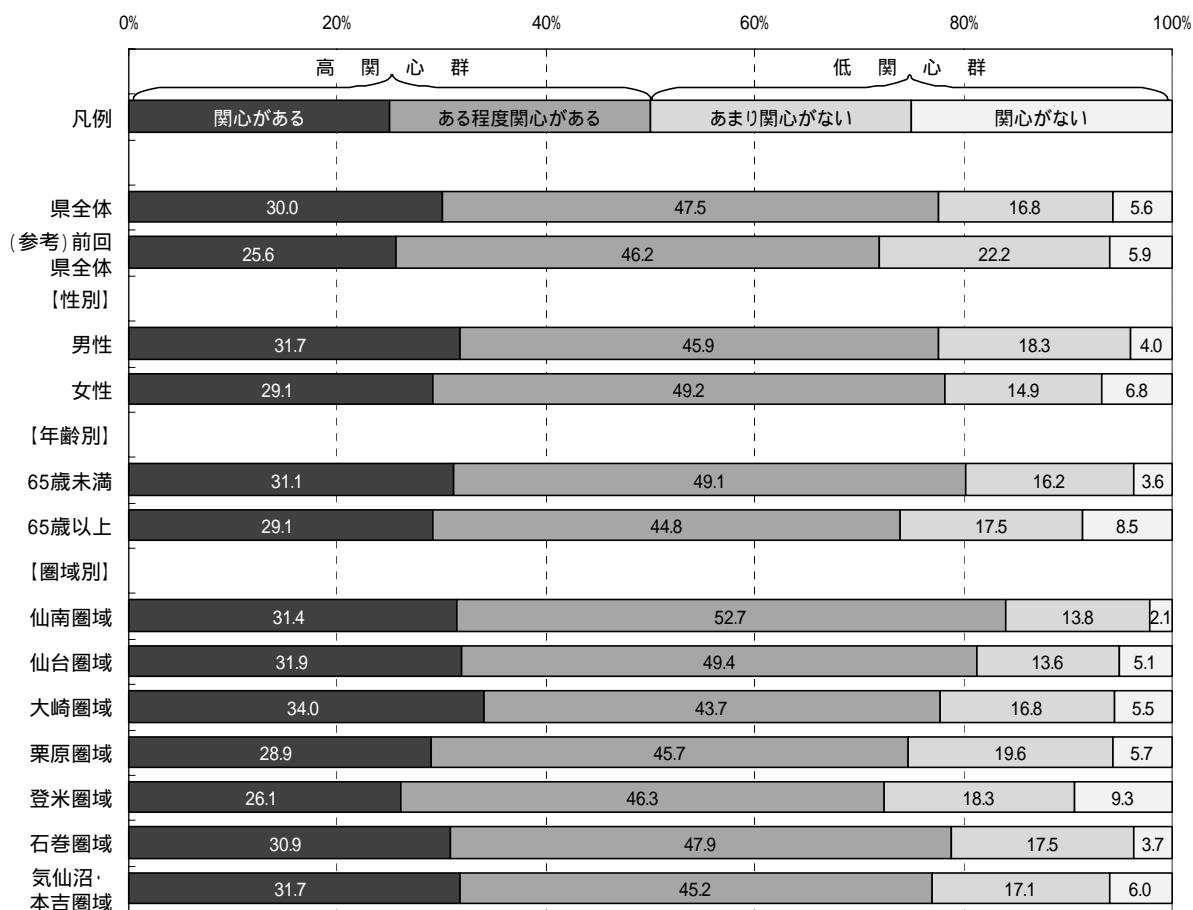


表2-2-5-2 取組5 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	543	859	304	102	1,808	136	1,944
	パーセント	30.0	47.5	16.8	5.6	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	440	794	381	102	1,717	125	1,842
	パーセント	25.6	46.2	22.2	5.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	270	391	156	34	851	43	894
	パーセント	31.7	45.9	18.3	4.0	100.0		
女性	度数	265	448	136	62	911	80	991
	パーセント	29.1	49.2	14.9	6.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	362	572	189	42	1,165	49	1,214
	パーセント	31.1	49.1	16.2	3.6	100.0		
65歳以上	度数	171	263	103	50	587	77	664
	パーセント	29.1	44.8	17.5	8.5	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	75	126	33	5	239	9	248
	パーセント	31.4	52.7	13.8	2.1	100.0		
仙台圏域	度数	75	116	32	12	235	14	249
	パーセント	31.9	49.4	13.6	5.1	100.0		
大崎圏域	度数	81	104	40	13	238	16	254
	パーセント	34.0	43.7	16.8	5.5	100.0		
栗原圏域	度数	81	128	55	16	280	25	305
	パーセント	28.9	45.7	19.6	5.7	100.0		
登米圏域	度数	67	119	47	24	257	22	279
	パーセント	26.1	46.3	18.3	9.3	100.0		
石巻圏域	度数	67	104	38	8	217	12	229
	パーセント	30.9	47.9	17.5	3.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	80	114	43	15	252	22	274
	パーセント	31.7	45.2	17.1	6.0	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は73.3%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は14.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が83.7%、『低重視群』は16.3%となる。

性別

男性の『高重視群』は74.4%で、県全体より1.1ポイント高い。

女性の『高重視群』は72.6%で、県全体より0.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は74.5%で、県全体より1.2ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は72.1%で、県全体より1.2ポイント低い。

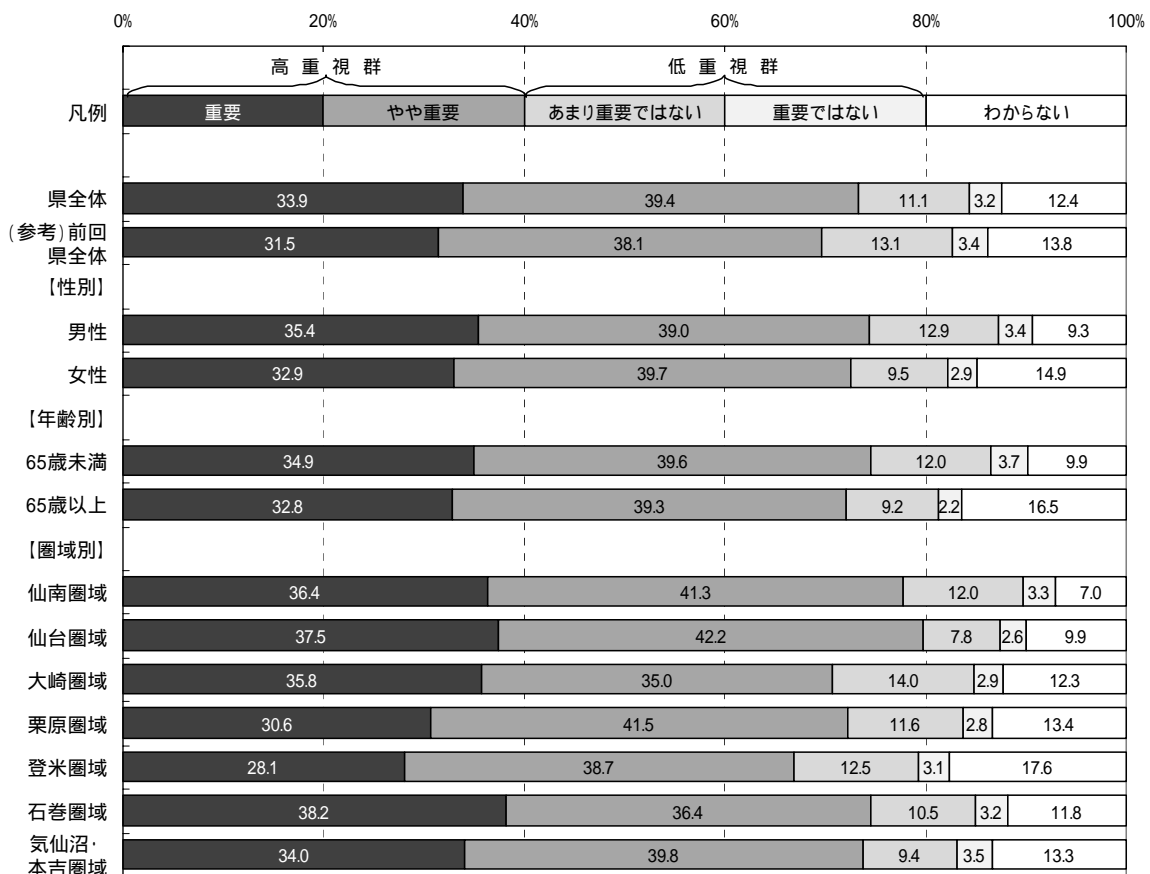
圏域別

仙台圏域の『高重視群』は79.7%で、県全体より6.4ポイント高い。

登米圏域の『高重視群』は66.8%で、県全体より6.5ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-5-3 取組5 重視度割合(属性別)



取組5 「地域が潤う、訪れてよしの
観光王国みやぎの実現」

表2 - 2 - 5 - 3 取組5 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	619	721	202	59	227	1,828	116	1,944
	パーセント	33.9	39.4	11.1	3.2	12.4	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	38.7	45.0	12.6	3.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	541	655	226	59	238	1,719	123	1,842
	パーセント	31.5	38.1	13.1	3.4	13.8	100.0		
【性別】									
男性	度数	303	334	110	29	80	856	38	894
	パーセント	35.4	39.0	12.9	3.4	9.3	100.0		
女性	度数	304	367	88	27	138	924	67	991
	パーセント	32.9	39.7	9.5	2.9	14.9	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	410	465	141	43	116	1,175	39	1,214
	パーセント	34.9	39.6	12.0	3.7	9.9	100.0		
65歳以上	度数	195	234	55	13	98	595	69	664
	パーセント	32.8	39.3	9.2	2.2	16.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	88	100	29	8	17	242	6	248
	パーセント	36.4	41.3	12.0	3.3	7.0	100.0		
仙台圏域	度数	87	98	18	6	23	232	17	249
	パーセント	37.5	42.2	7.8	2.6	9.9	100.0		
大崎圏域	度数	87	85	34	7	30	243	11	254
	パーセント	35.8	35.0	14.0	2.9	12.3	100.0		
栗原圏域	度数	87	118	33	8	38	284	21	305
	パーセント	30.6	41.5	11.6	2.8	13.4	100.0		
登米圏域	度数	72	99	32	8	45	256	23	279
	パーセント	28.1	38.7	12.5	3.1	17.6	100.0		
石巻圏域	度数	84	80	23	7	26	220	9	229
	パーセント	38.2	36.4	10.5	3.2	11.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	87	102	24	9	34	256	18	274
	パーセント	34.0	39.8	9.4	3.5	13.3	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は52.6%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は25.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が67.4%、『不満群』は32.5%となる。

また、前回の『満足群』は45.5%で、今回は前回より7.1ポイント高い。

性別

男性の『満足群』は50.2%で、県全体より2.4ポイント低い。

女性の『満足群』は55.0%で、県全体より2.4ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は51.9%で、県全体より0.7ポイント低い。

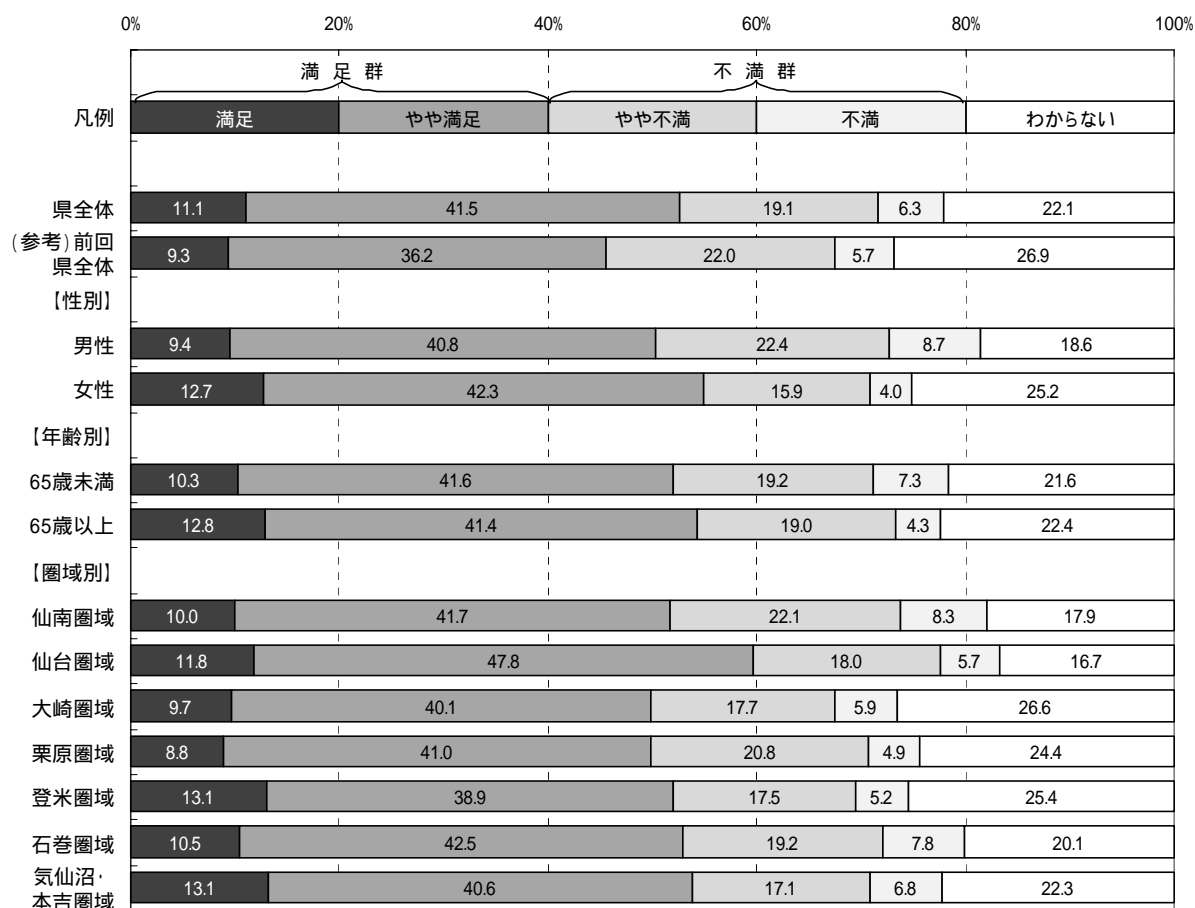
65歳以上の『満足群』は54.2%で、県全体より1.6ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『満足群』は59.6%で、県全体より7.0ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-5-4 取組5 満足度割合(属性別)



取組5 「地域が潤う、訪れてよしの
観光王国みやぎの実現」

表2 - 2 - 5 - 4 取組5 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	200	747	344	113	398	1,802	142	1,944
	パーセント	11.1	41.5	19.1	6.3	22.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	14.2	53.2	24.5	8.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	159	618	375	97	459	1,708	134	1,842
	パーセント	9.3	36.2	22.0	5.7	26.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	80	346	190	74	158	848	46	894
	パーセント	9.4	40.8	22.4	8.7	18.6	100.0		
女性	度数	115	384	144	36	229	908	83	991
	パーセント	12.7	42.3	15.9	4.0	25.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	120	484	223	85	251	1,163	51	1,214
	パーセント	10.3	41.6	19.2	7.3	21.6	100.0		
65歳以上	度数	75	242	111	25	131	584	80	664
	パーセント	12.8	41.4	19.0	4.3	22.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	24	100	53	20	43	240	8	248
	パーセント	10.0	41.7	22.1	8.3	17.9	100.0		
仙台圏域	度数	27	109	41	13	38	228	21	249
	パーセント	11.8	47.8	18.0	5.7	16.7	100.0		
大崎圏域	度数	23	95	42	14	63	237	17	254
	パーセント	9.7	40.1	17.7	5.9	26.6	100.0		
栗原圏域	度数	25	116	59	14	69	283	22	305
	パーセント	8.8	41.0	20.8	4.9	24.4	100.0		
登米圏域	度数	33	98	44	13	64	252	27	279
	パーセント	13.1	38.9	17.5	5.2	25.4	100.0		
石巻圏域	度数	23	93	42	17	44	219	10	229
	パーセント	10.5	42.5	19.2	7.8	20.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	33	102	43	17	56	251	23	274
	パーセント	13.1	40.6	17.1	6.8	22.3	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組5に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。（複数回答可）

- ア 「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン（全国に向けて集中的に行う大型観光キャンペーン）」など催物や行事を活用した積極的な観光客誘致
- イ インターネットや広報媒体などを活用した効果的な情報発信や団塊の世代などの絞った集客活動
- ウ 地域一体となった「もてなしの心」向上のための取組強化や、だれもが安全安心に観光できる環境づくり
- エ 観光施設及び案内板・標識の整備，バリアフリー・ユニバーサルデザインの普及
- オ 温泉や食材，プロスポーツなど宮城独自の資源を生かした体験・滞在型観光の発掘・整備
- カ 自然環境や伝統文化などを活用したグリーン・ツーリズム及びエコ・ツーリズム推進体制づくり
- キ 東北各県や関係機関との連携による観光ルートの設定など観光推進組織の強化

（参考：目標とする宮城の姿）

宮城の魅力が国内外に発信され、「観光王国みやぎ」のイメージが定着しています。県民が観光のもたらす効果を理解するとともに、自然環境や食文化など地域の観光資源が磨き上げられ、観光客の受入体制が整っています。外国人や高齢者、障害者、子ども連れなど、だれもが訪れやすい観光地づくりが進んでいます。県単独ではなく、東北各県と一体となった観光地づくりが進んでいます。

< 概要 >

県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位：	ア(ウ)	ア	ア	ア	ウ
第2位：	ウ(ア)	オ	ウ	オ	ア
第3位：	オ(オ)	ウ	オ	ウ	オ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位：	ア	ア	ア	ア	ウ	ア	ア
第2位：	オ	ウ	ウ	オ	ア	ウ	ウ
第3位：	ウ	オ	オ	ウ	キ	オ	オ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
()内は、前回の優先順位

取組5 「地域が潤う、訪れてよしの
観光王国みやぎの実現」

図2 - 2 - 5 - 5 取組5 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

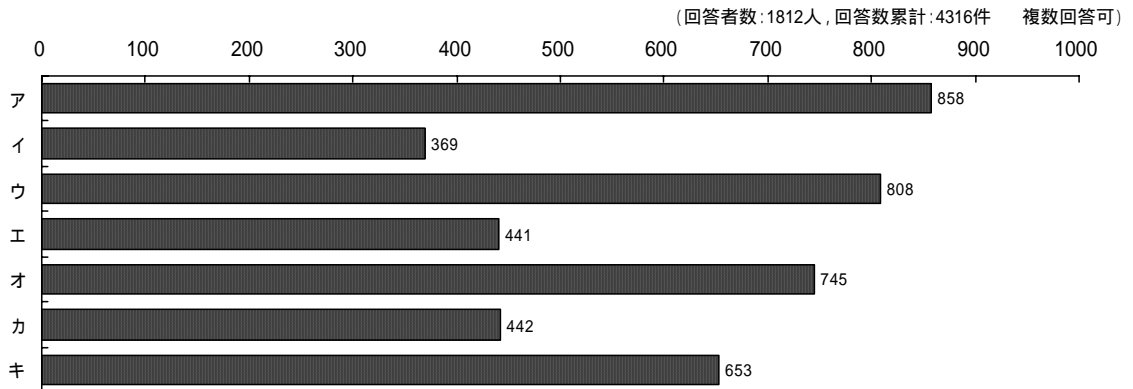
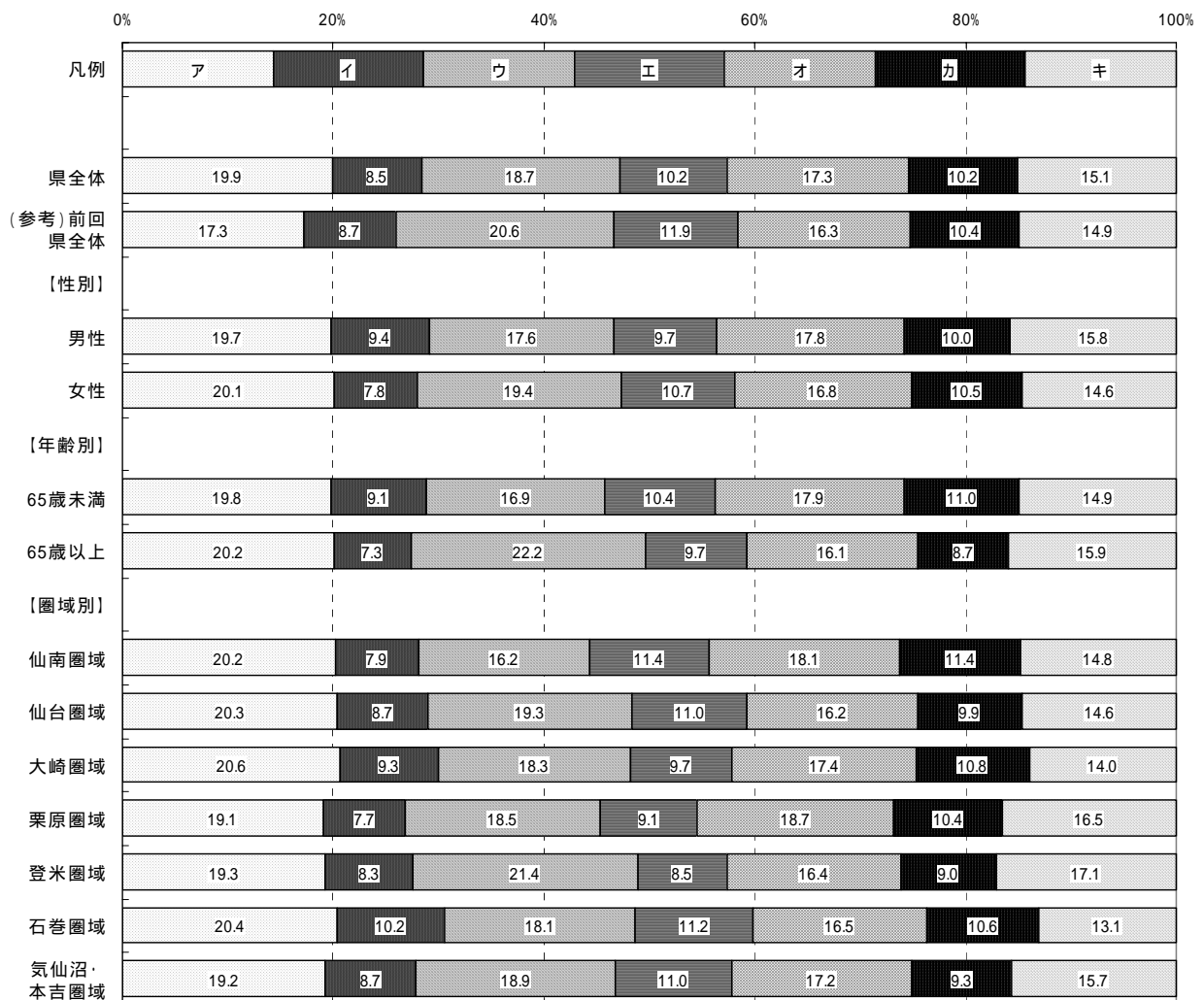


図2 - 2 - 5 - 6 取組5 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組5 「地域が潤う，訪れてよしの
観光王国みやぎの実現」

取組6 競争力ある農林水産業への転換



取組概要

消費者の声を重視した生産・流通構造への転換や経営力の向上等を進め、農林水産物のブランド化や他産業との連携を進めていくとともに、意欲的に事業展開に取り組む経営体を支援し、競争力ある農林水産業への転換を目指します。

平成20年度の主な取組

地域経済を担う企業的なアグリビジネス経営者を育成するため、その発展段階に応じた起業、経営展開、マーケティング、ビジネスマッチング等のさまざまな支援を行っています。

良質な木材生産や森林の公益的機能の維持に必要な間伐を進めるため、より一層の低コスト化と間伐材の利用拡大に取り組んでいます。

「三陸塩竈ひがしもの」、「金華かつお」に続く気仙沼地区からのブランド製品の創出と全国第1位の生産量を誇る県産ギンザケのブランド化の取組を支援しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は41.0%，
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は58.9%である。
また、前回の『高認知群』は36.9%で、今回は前回より4.1ポイント高い。

性別

男性の『高認知群』は47.3%で、県全体より6.3ポイント高い。

女性の『高認知群』は35.8%で、県全体より5.2ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は38.6%で、県全体より2.4ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は46.7%で、県全体より5.7ポイント高い。

圏域別

大崎圏域の『高認知群』は34.4%で、県全体より6.6ポイント低い。

栗原圏域の『高認知群』は32.6%で、県全体より8.4ポイント低い。

石巻圏域の『高認知群』は57.1%で、県全体より16.1ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は58.2%で、県全体より17.2ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-6-1 取組6 認知度割合(属性別)

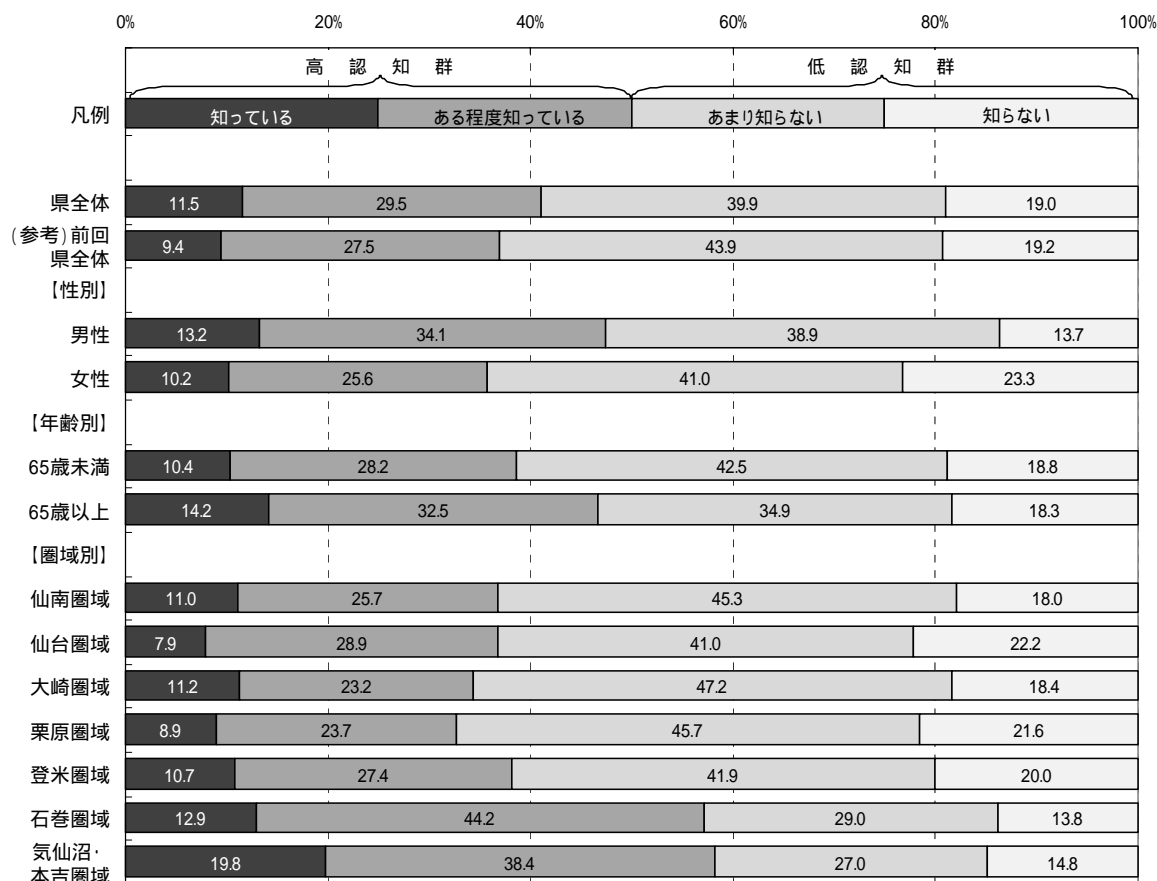


表2-2-6-1 取組6 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	217	555	750	357	1,879	65	1,944
	パーセント	11.5	29.5	39.9	19.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	168	490	782	343	1,783	59	1,842
	パーセント	9.4	27.5	43.9	19.2	100.0		
【性別】								
男性	度数	116	299	341	120	876	18	894
	パーセント	13.2	34.1	38.9	13.7	100.0		
女性	度数	97	244	391	222	954	37	991
	パーセント	10.2	25.6	41.0	23.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	124	337	508	225	1,194	20	1,214
	パーセント	10.4	28.2	42.5	18.8	100.0		
65歳以上	度数	89	204	219	115	627	37	664
	パーセント	14.2	32.5	34.9	18.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	27	63	111	44	245	3	248
	パーセント	11.0	25.7	45.3	18.0	100.0		
仙台圏域	度数	19	69	98	53	239	10	249
	パーセント	7.9	28.9	41.0	22.2	100.0		
大崎圏域	度数	28	58	118	46	250	4	254
	パーセント	11.2	23.2	47.2	18.4	100.0		
栗原圏域	度数	26	69	133	63	291	14	305
	パーセント	8.9	23.7	45.7	21.6	100.0		
登米圏域	度数	29	74	113	54	270	9	279
	パーセント	10.7	27.4	41.9	20.0	100.0		
石巻圏域	度数	29	99	65	31	224	5	229
	パーセント	12.9	44.2	29.0	13.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	52	101	71	39	263	11	274
	パーセント	19.8	38.4	27.0	14.8	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は65.3%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は34.8%である。

性別

男性の『高関心群』は70.6%で、県全体より5.3ポイント高い。

女性の『高関心群』は60.8%で、県全体より4.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は64.4%で、県全体より0.9ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は68.2%で、県全体より2.9ポイント高い。

圏域別

栗原圏域の『高関心群』は56.6%で、県全体より8.7ポイント低い。

石巻圏域の『高関心群』は74.3%で、県全体より9.0ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は75.4%で、県全体より10.1ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-6-2 取組6 関心度割合(属性別)

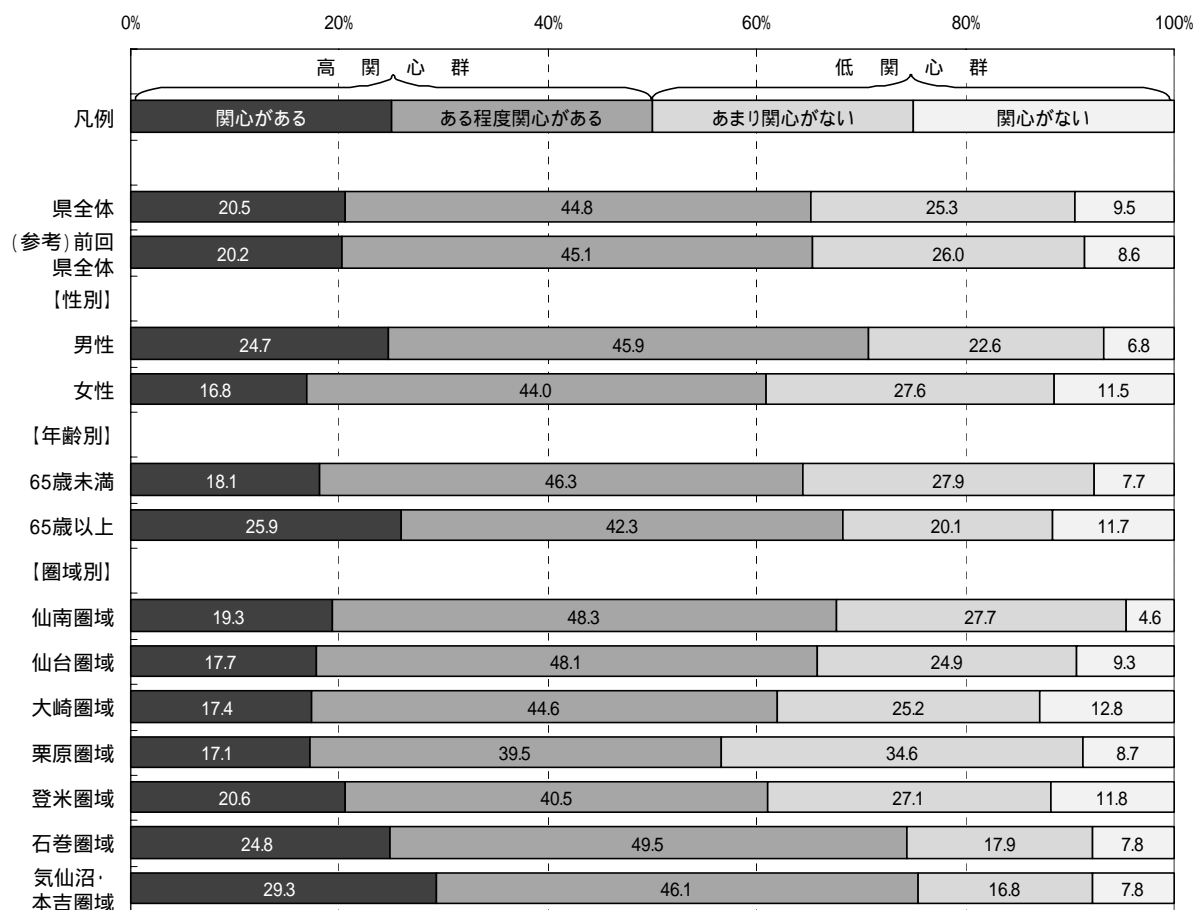


表2-2-6-2 取組6 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	375	819	463	173	1,830	114	1,944
	パーセント	20.5	44.8	25.3	9.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	349	778	449	148	1,724	118	1,842
	パーセント	20.2	45.1	26.0	8.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	212	394	194	58	858	36	894
	パーセント	24.7	45.9	22.6	6.8	100.0		
女性	度数	156	408	256	107	927	64	991
	パーセント	16.8	44.0	27.6	11.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	213	545	328	91	1,177	37	1,214
	パーセント	18.1	46.3	27.9	7.7	100.0		
65歳以上	度数	155	253	120	70	598	66	664
	パーセント	25.9	42.3	20.1	11.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	46	115	66	11	238	10	248
	パーセント	19.3	48.3	27.7	4.6	100.0		
仙台圏域	度数	42	114	59	22	237	12	249
	パーセント	17.7	48.1	24.9	9.3	100.0		
大崎圏域	度数	42	108	61	31	242	12	254
	パーセント	17.4	44.6	25.2	12.8	100.0		
栗原圏域	度数	49	113	99	25	286	19	305
	パーセント	17.1	39.5	34.6	8.7	100.0		
登米圏域	度数	54	106	71	31	262	17	279
	パーセント	20.6	40.5	27.1	11.8	100.0		
石巻圏域	度数	54	108	39	17	218	11	229
	パーセント	24.8	49.5	17.9	7.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	75	118	43	20	256	18	274
	パーセント	29.3	46.1	16.8	7.8	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は65.0%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は16.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が80.3%、『低重視群』は19.7%となる。

性別

男性の『高重視群』は71.4%で、県全体より6.4ポイント高い。

女性の『高重視群』は59.9%で、県全体より5.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は64.7%で、県全体より0.3ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は67.4%で、県全体より2.4ポイント高い。

圏域別

石巻圏域の『高重視群』は70.9%で、県全体より5.9ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は70.6%で、県全体より5.6ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-6-3 取組6 重視度割合(属性別)

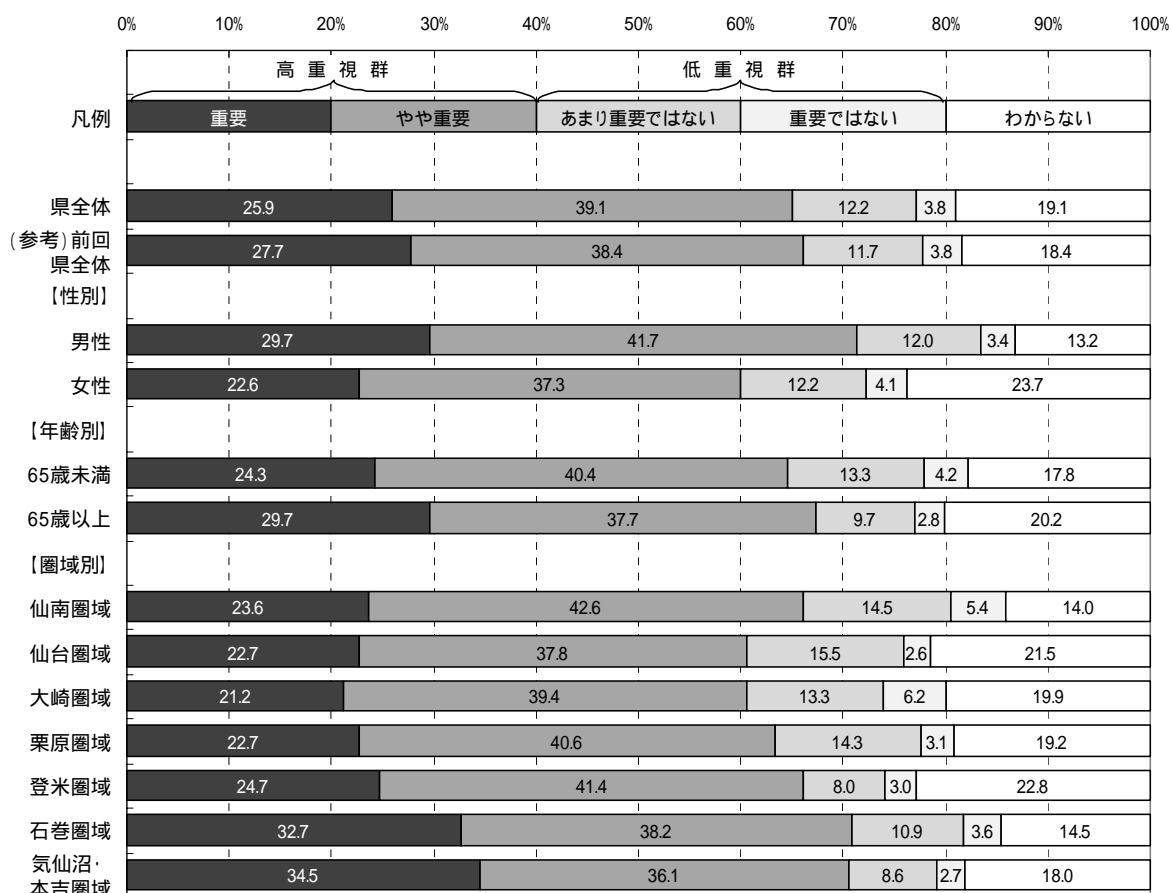


表2-2-6-3 取組6 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	475	716	223	69	350	1,833	111	1,944
	パーセント	25.9	39.1	12.2	3.8	19.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	32.0	48.3	15.0	4.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	478	663	202	65	318	1,726	116	1,842
	パーセント	27.7	38.4	11.7	3.8	18.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	254	357	103	29	113	856	38	894
	パーセント	29.7	41.7	12.0	3.4	13.2	100.0		
女性	度数	211	348	114	38	221	932	59	991
	パーセント	22.6	37.3	12.2	4.1	23.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	286	476	157	50	210	1,179	35	1,214
	パーセント	24.3	40.4	13.3	4.2	17.8	100.0		
65歳以上	度数	178	226	58	17	121	600	64	664
	パーセント	29.7	37.7	9.7	2.8	20.2	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	57	103	35	13	34	242	6	248
	パーセント	23.6	42.6	14.5	5.4	14.0	100.0		
仙台圏域	度数	53	88	36	6	50	233	16	249
	パーセント	22.7	37.8	15.5	2.6	21.5	100.0		
大崎圏域	度数	51	95	32	15	48	241	13	254
	パーセント	21.2	39.4	13.3	6.2	19.9	100.0		
栗原圏域	度数	65	116	41	9	55	286	19	305
	パーセント	22.7	40.6	14.3	3.1	19.2	100.0		
登米圏域	度数	65	109	21	8	60	263	16	279
	パーセント	24.7	41.4	8.0	3.0	22.8	100.0		
石巻圏域	度数	72	84	24	8	32	220	9	229
	パーセント	32.7	38.2	10.9	3.6	14.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	88	92	22	7	46	255	19	274
	パーセント	34.5	36.1	8.6	2.7	18.0	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は39.8%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は27.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が59.5%、『不満群』は40.5%となる。

性別

男性の『満足群』は42.2%で、県全体より2.4ポイント高い。

女性の『満足群』は37.8%で、県全体より2.0ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は36.6%で、県全体より3.2ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は47.1%で、県全体より7.3ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『満足群』は33.9%で、県全体より5.9ポイント低い。

栗原圏域の『満足群』は34.5%で、県全体より5.3ポイント低い。

気仙沼・本吉圏域の『満足群』は49.4%で、県全体より9.6ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-6-4 取組6 満足度割合(属性別)

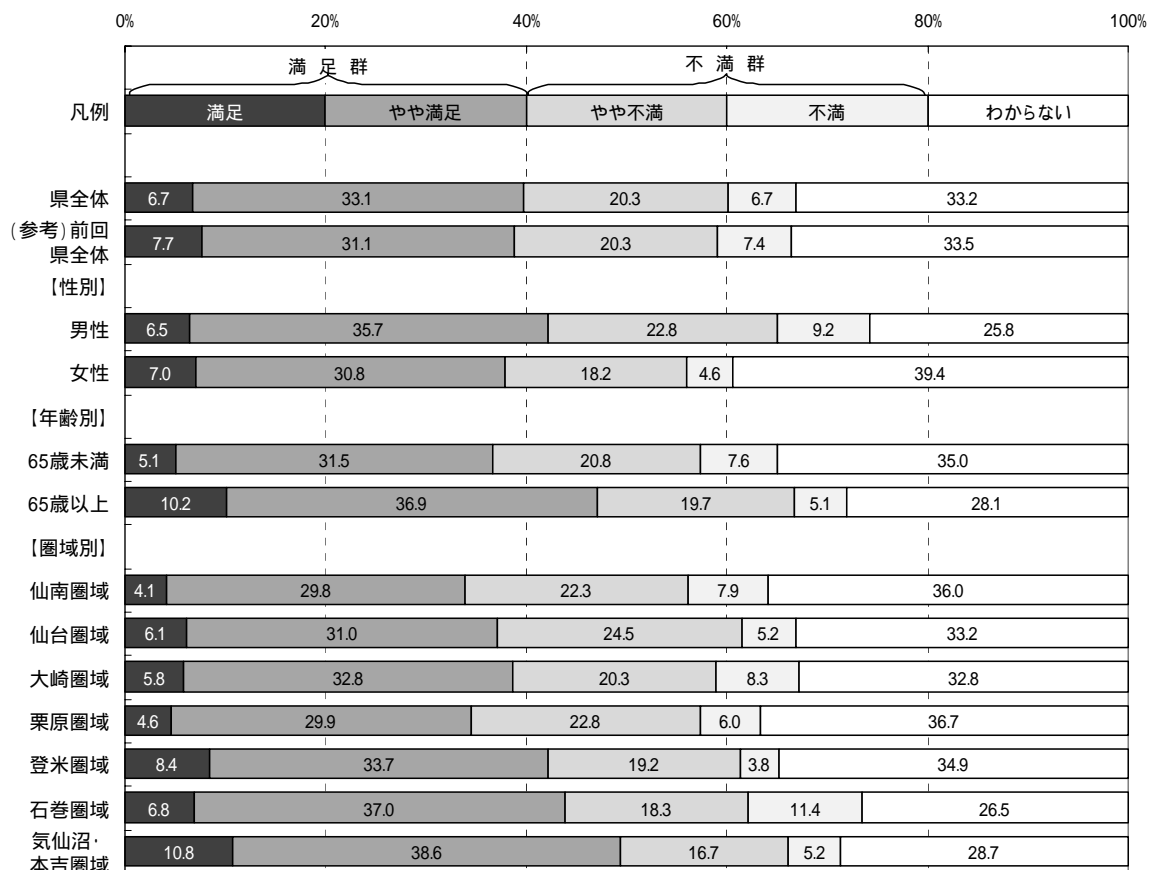


表2-2-6-4 取組6 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	121	600	368	122	602	1,813	131	1,944
	パーセント	6.7	33.1	20.3	6.7	33.2	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	10.0	49.5	30.4	10.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	132	536	349	128	578	1,723	119	1,842
	パーセント	7.7	31.1	20.3	7.4	33.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	55	303	193	78	219	848	46	894
	パーセント	6.5	35.7	22.8	9.2	25.8	100.0		
女性	度数	65	284	168	42	364	923	68	991
	パーセント	7.0	30.8	18.2	4.6	39.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	60	368	243	89	410	1,170	44	1,214
	パーセント	5.1	31.5	20.8	7.6	35.0	100.0		
65歳以上	度数	60	218	116	30	166	590	74	664
	パーセント	10.2	36.9	19.7	5.1	28.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	10	72	54	19	87	242	6	248
	パーセント	4.1	29.8	22.3	7.9	36.0	100.0		
仙台圏域	度数	14	71	56	12	76	229	20	249
	パーセント	6.1	31.0	24.5	5.2	33.2	100.0		
大崎圏域	度数	14	79	49	20	79	241	13	254
	パーセント	5.8	32.8	20.3	8.3	32.8	100.0		
栗原圏域	度数	13	84	64	17	103	281	24	305
	パーセント	4.6	29.9	22.8	6.0	36.7	100.0		
登米圏域	度数	22	88	50	10	91	261	18	279
	パーセント	8.4	33.7	19.2	3.8	34.9	100.0		
石巻圏域	度数	15	81	40	25	58	219	10	229
	パーセント	6.8	37.0	18.3	11.4	26.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	27	97	42	13	72	251	23	274
	パーセント	10.8	38.6	16.7	5.2	28.7	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組6に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 消費者の視点に立って商品を生産していく農林水産業への転換支援
- イ 「食材王国みやぎ」を支える県産農林水産物のブランド化
- ウ 安全安心な農林水産物の生産と安定供給体制の確立支援
- エ 農業者が生産から流通・加工・販売などを一体で行うアグリビジネスなど企業の経営の促進
- オ 水産資源の適切な保全と管理，養殖や増殖の推進及び生育環境の保全と改善
- カ 計画的な森林づくりから木材流通までの生産経費の低減，良質な製材品の生産の促進
- キ 農林水産業と流通加工業等との取引の仲介支援
- ク 東アジア市場など海外にも目を向けた，県産食品の輸出促進
- ケ 農林水産業の経営力や技術力の向上と，効率的な生産を支える基盤づくり

(参考:目標とする宮城の姿)

消費者からも支持され、「食材王国みやぎ」を代表するブランドとして、全国的にも有名な農林水産物が増えています。
 効率的な生産体制や経営感覚に優れた生産者や法人が増えています。
 東アジアへの輸出など、国外市場にも目を向けた農林水産業の新たな動きが始まっています。
 食品製造業や卸小売業、外食産業などとの連携が進んでいます。

< 概要 >

県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ(ウ)	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	イ(イ)	イ	イ	イ	ア
第3位:	ア(ア)	ア	ア	ケ	イ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	イ	イ	ア	イ	イ	イ	イ
第3位:	ケ	ア	イ	ア	ア	ケ	カ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
 ()内は、前回の優先順位

図2-2-6-5 取組6 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

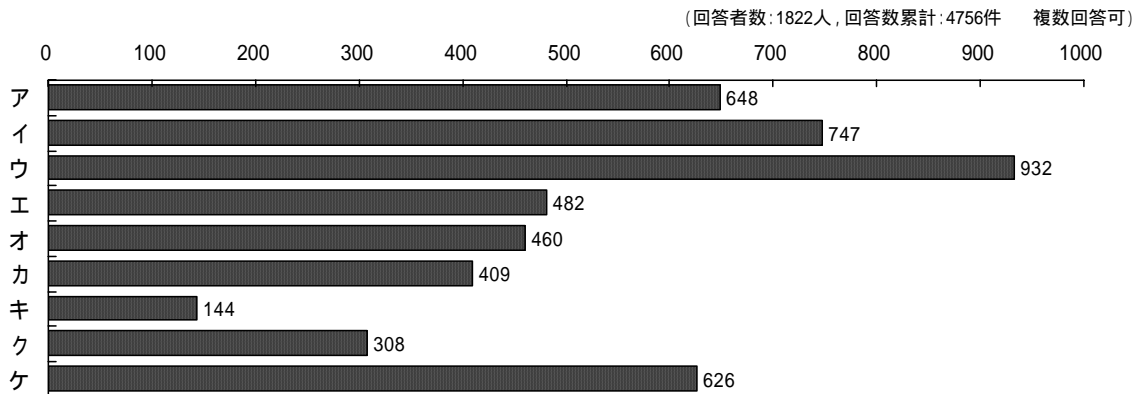
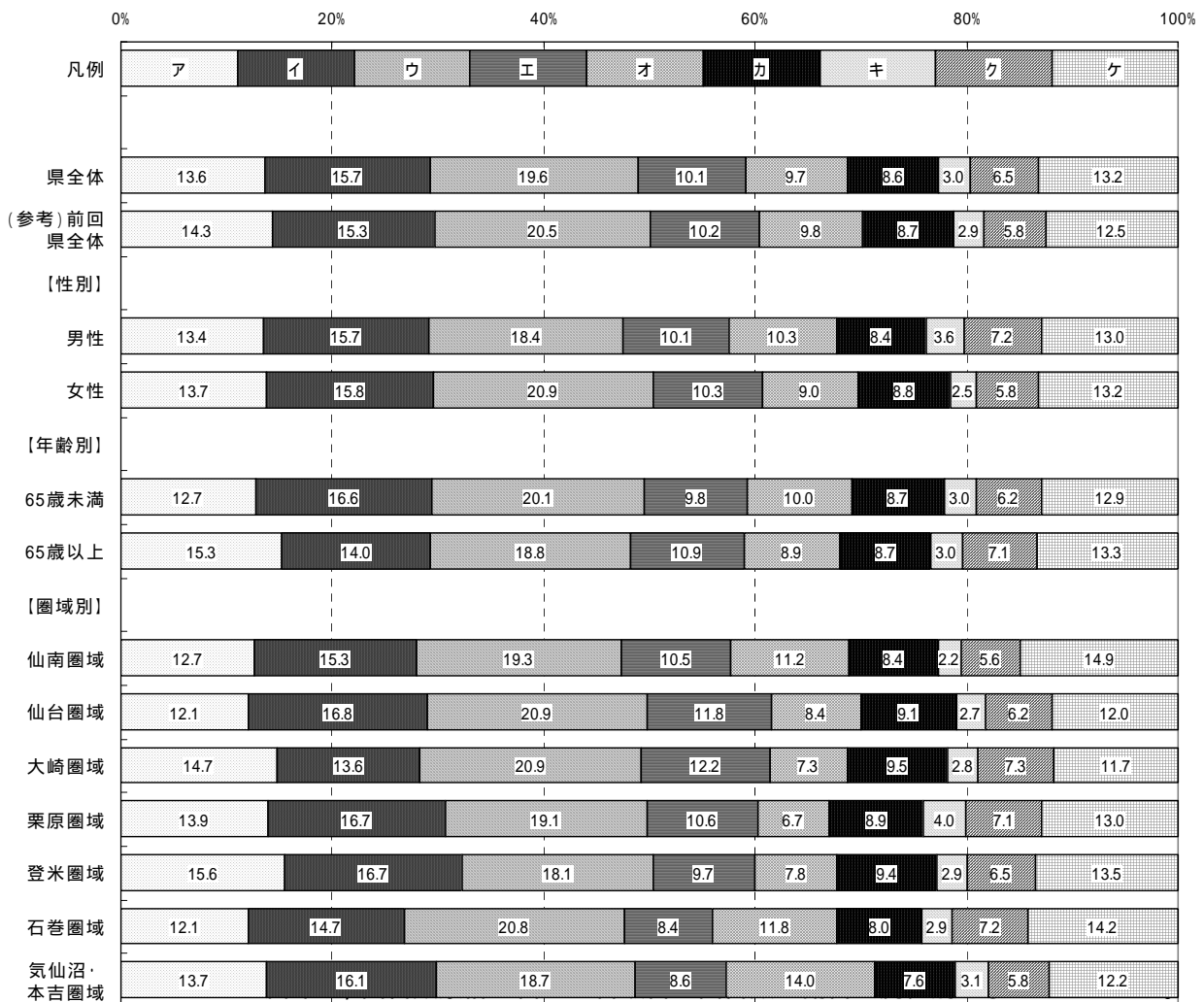


図2-2-6-6 取組6 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組6 「競争力ある農林水産業への転換」

取組7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保



取組概要

県内産農林水産物や食品の県内での消費・供給力を向上させるため、生産・供給・流通体制の整備を進めるとともに、食に関する情報の提供に努め、食品の安全性に対する消費者の信頼にこたえられる生産体制の確立を目指します。

平成20年度の主な取組

「安全で安心できる食」の実現に向け、安全安心確保対策が持続的かつ着実に進められるよう、食の安全安心取組宣言、食の安全安心消費者モニター制度等を中心とした県民総参加運動の推進に努めています。

持続農業法に基づき、環境負荷低減技術の導入計画を作成した農業者を県がエコファーマーとして認定し、環境保全型農業を進める農業者を育成しています。

県産食材やその加工品への理解を深め、利活用の促進と消費拡大を図るため、「食材王国みやぎ地産地消の日」を設定し、地産地消を県民全体の運動として推進しています。また、学校給食での地場野菜利用を増やすため、「すくすくみやぎっ子 みやぎのふるさと食材月間」を設けたり、供給体制の構築を支援しています。

県の主要な森林資源であるスギ材の用途を拡大するため、関連する県内民間企業等への技術移転を行っています。また、県民だれもが参加・実践できる県産木材の利用促進運動を展開しています。

県内産のカキを安全な食品として生産・販売するため、短時間で安全性を確認できる検査方法の開発を進めています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は51.0%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は49.0%である。
また前回の『高認知群』は55.6%で、今回は前回より4.6ポイント低い。

性別

男性の『高認知群』は52.2%で、県全体より1.2ポイント高い。

女性の『高認知群』は50.3%で、県全体より0.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は49.2%で、県全体より1.8ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は55.1%で、県全体より4.1ポイント高い。

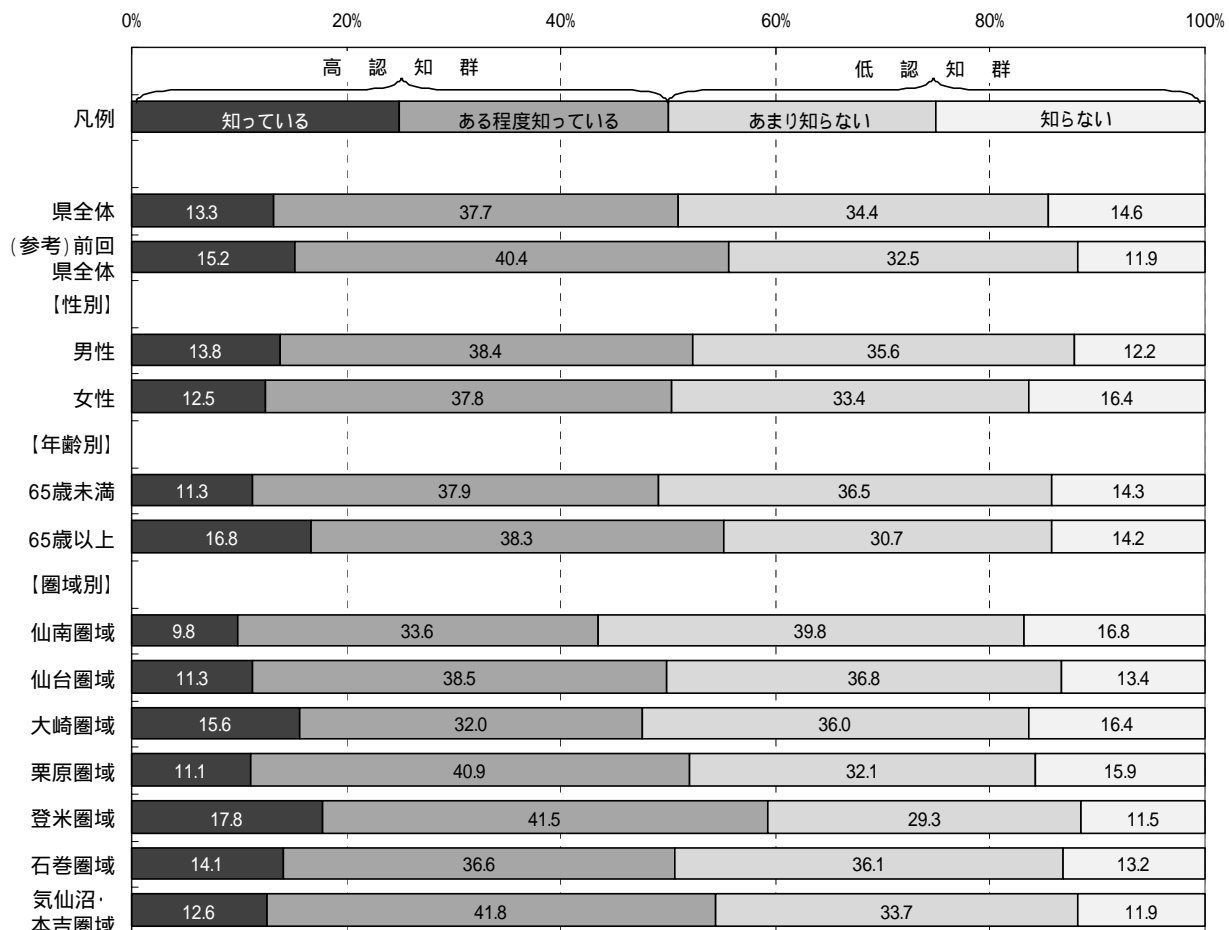
圏域別

仙南圏域の『高認知群』は43.4%で、県全体より7.6ポイント低い。

登米圏域の『高認知群』は59.3%で、県全体より8.3ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-7-1 取組7 認知度割合(属性別)



取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

表2-2-7-1 取組7 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	249	709	647	274	1,879	65	1,944
	パーセント	13.3	37.7	34.4	14.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	271	721	581	212	1,785	57	1,842
	パーセント	15.2	40.4	32.5	11.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	121	337	312	107	877	17	894
	パーセント	13.8	38.4	35.6	12.2	100.0		
女性	度数	119	360	318	156	953	38	991
	パーセント	12.5	37.8	33.4	16.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	135	453	437	171	1,196	18	1,214
	パーセント	11.3	37.9	36.5	14.3	100.0		
65歳以上	度数	105	240	192	89	626	38	664
	パーセント	16.8	38.3	30.7	14.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	24	82	97	41	244	4	248
	パーセント	9.8	33.6	39.8	16.8	100.0		
仙台圏域	度数	27	92	88	32	239	10	249
	パーセント	11.3	38.5	36.8	13.4	100.0		
大崎圏域	度数	39	80	90	41	250	4	254
	パーセント	15.6	32.0	36.0	16.4	100.0		
栗原圏域	度数	33	121	95	47	296	9	305
	パーセント	11.1	40.9	32.1	15.9	100.0		
登米圏域	度数	48	112	79	31	270	9	279
	パーセント	17.8	41.5	29.3	11.5	100.0		
石巻圏域	度数	32	83	82	30	227	2	229
	パーセント	14.1	36.6	36.1	13.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	33	109	88	31	261	13	274
	パーセント	12.6	41.8	33.7	11.9	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は74.8%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は25.2%である。
また前回の『高関心群』は82.9%で、今回は前回より8.1ポイント低い。

性別

男性の『高関心群』は76.6%で、県全体より1.8ポイント高い。

女性の『高関心群』は73.8%で、県全体より1.0ポイント低い。

年齢別

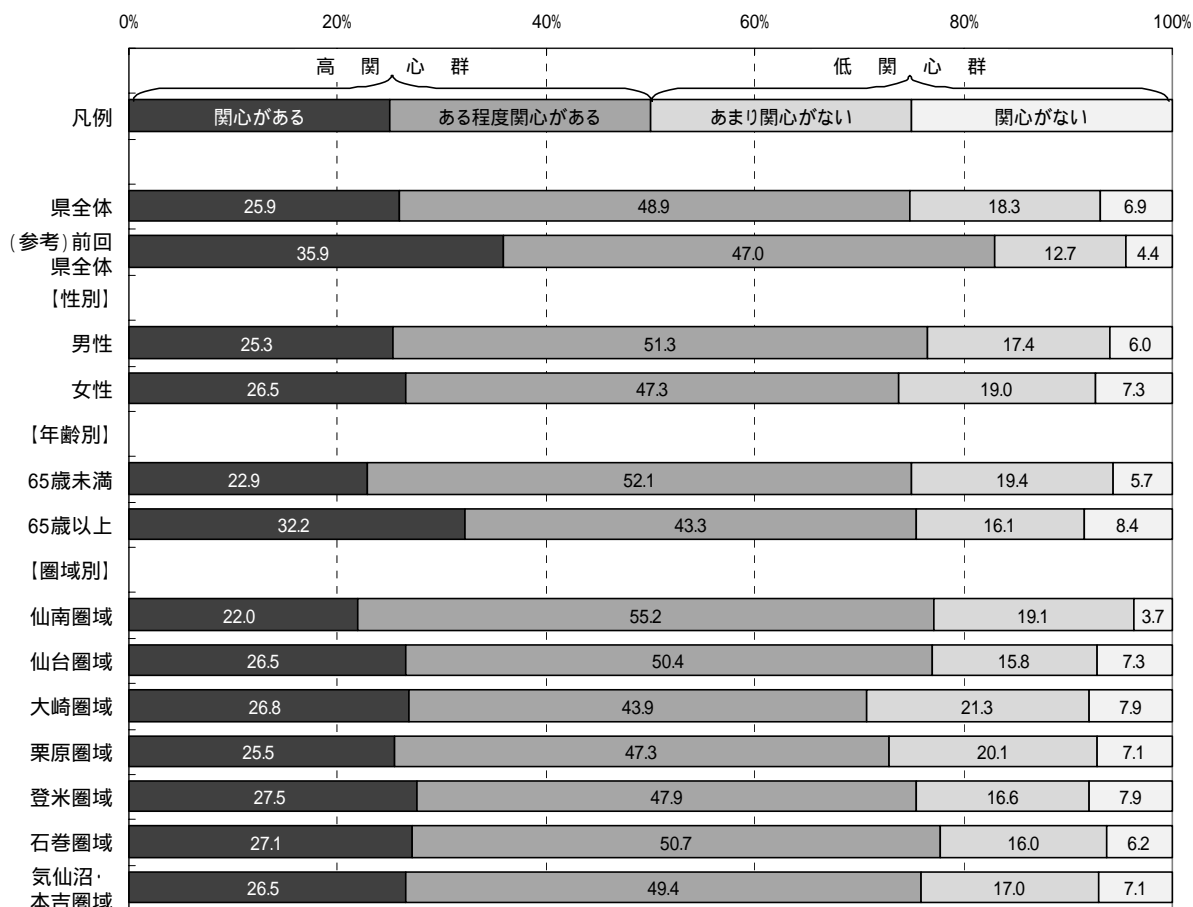
65歳未満の『高関心群』は75.0%で、県全体より0.2ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は75.5%で、県全体より0.7ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-7-2 取組7 関心度割合(属性別)



取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

表2-2-7-2 取組7 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	476	900	337	126	1,839	105	1,944
	パーセント	25.9	48.9	18.3	6.9	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	620	812	219	76	1,727	115	1,842
	パーセント	35.9	47.0	12.7	4.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	218	443	150	52	863	31	894
	パーセント	25.3	51.3	17.4	6.0	100.0		
女性	度数	247	441	177	68	933	58	991
	パーセント	26.5	47.3	19.0	7.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	269	613	228	67	1,177	37	1,214
	パーセント	22.9	52.1	19.4	5.7	100.0		
65歳以上	度数	196	263	98	51	608	56	664
	パーセント	32.2	43.3	16.1	8.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	53	133	46	9	241	7	248
	パーセント	22.0	55.2	19.1	3.7	100.0		
仙台圏域	度数	62	118	37	17	234	15	249
	パーセント	26.5	50.4	15.8	7.3	100.0		
大崎圏域	度数	64	105	51	19	239	15	254
	パーセント	26.8	43.9	21.3	7.9	100.0		
栗原圏域	度数	75	139	59	21	294	11	305
	パーセント	25.5	47.3	20.1	7.1	100.0		
登米圏域	度数	73	127	44	21	265	14	279
	パーセント	27.5	47.9	16.6	7.9	100.0		
石巻圏域	度数	61	114	36	14	225	4	229
	パーセント	27.1	50.7	16.0	6.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	67	125	43	18	253	21	274
	パーセント	26.5	49.4	17.0	7.1	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は75.7%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は10.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が88.2%、『低重視群』は11.8%となる。

また前回の『高重視群』は82.4%で、今回は前回より6.7ポイント低い。

性別

男性の『高重視群』は77.4%で、県全体より1.7ポイント高い。

女性の『高重視群』は74.8%で、県全体より0.9ポイント低い。

年齢別

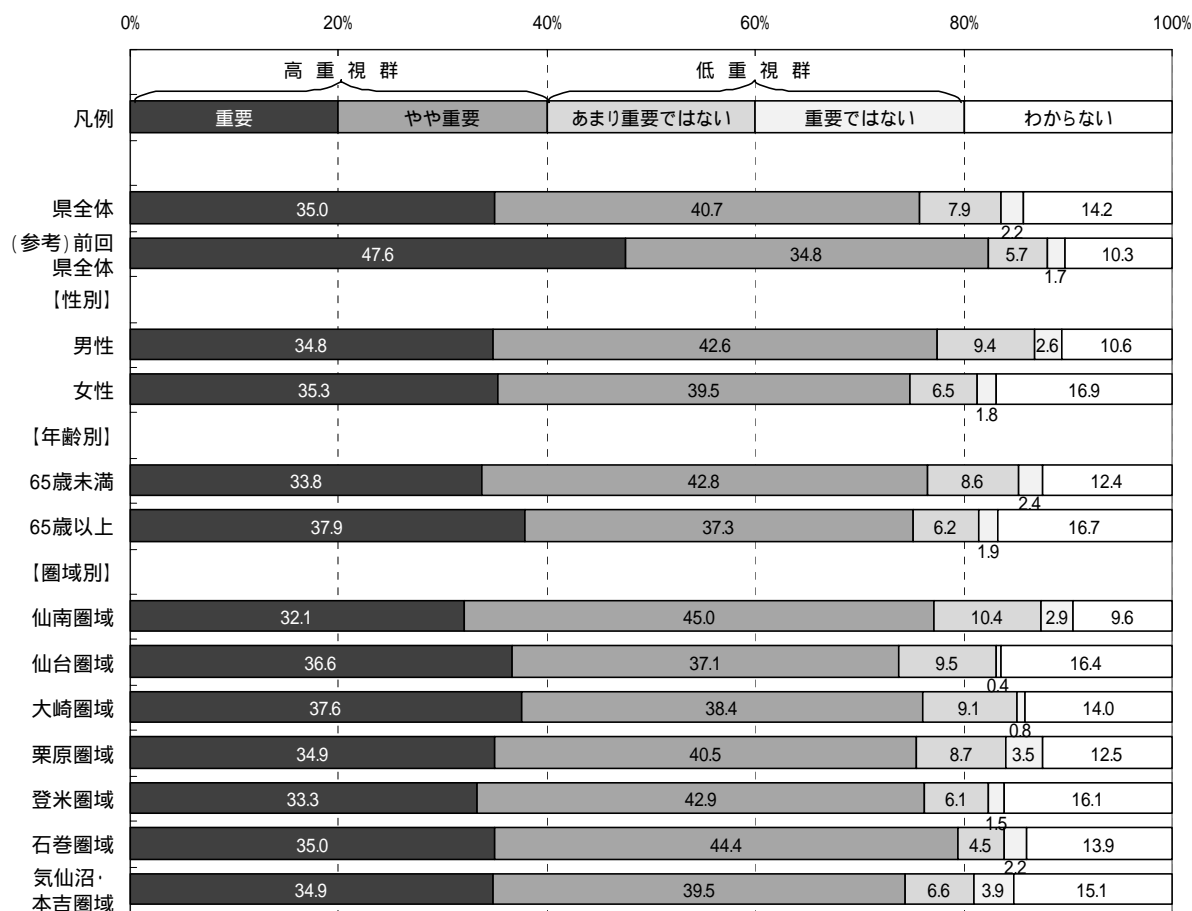
65歳未満の『高重視群』は76.6%で、県全体より0.9ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は75.2%で、県全体より0.5ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-7-3 取組7 重視度割合(属性別)



取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

表2-2-7-3 取組7 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	640	746	144	41	260	1,831	113	1,944
	パーセント	35.0	40.7	7.9	2.2	14.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	40.7	47.5	9.2	2.6		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	832	608	99	30	180	1,749	93	1,842
	パーセント	47.6	34.8	5.7	1.7	10.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	296	362	80	22	90	850	44	894
	パーセント	34.8	42.6	9.4	2.6	10.6	100.0		
女性	度数	330	370	61	17	158	936	55	991
	パーセント	35.3	39.5	6.5	1.8	16.9	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	400	507	102	28	147	1,184	30	1,214
	パーセント	33.8	42.8	8.6	2.4	12.4	100.0		
65歳以上	度数	225	221	37	11	99	593	71	664
	パーセント	37.9	37.3	6.2	1.9	16.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	77	108	25	7	23	240	8	248
	パーセント	32.1	45.0	10.4	2.9	9.6	100.0		
仙台圏域	度数	85	86	22	1	38	232	17	249
	パーセント	36.6	37.1	9.5	0.4	16.4	100.0		
大崎圏域	度数	91	93	22	2	34	242	12	254
	パーセント	37.6	38.4	9.1	0.8	14.0	100.0		
栗原圏域	度数	101	117	25	10	36	289	16	305
	パーセント	34.9	40.5	8.7	3.5	12.5	100.0		
登米圏域	度数	87	112	16	4	42	261	18	279
	パーセント	33.3	42.9	6.1	1.5	16.1	100.0		
石巻圏域	度数	78	99	10	5	31	223	6	229
	パーセント	35.0	44.4	4.5	2.2	13.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	90	102	17	10	39	258	16	274
	パーセント	34.9	39.5	6.6	3.9	15.1	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は45.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は28.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が61.8%、『不満群』は38.1%となる。

また、前回の『満足群』は49.9%で、今回は前回より4.5ポイント低い。

性別

男性の『満足群』は43.5%で、県全体より1.9ポイント低い。

女性の『満足群』は47.2%で、県全体より1.8ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は42.8%で、県全体より2.6ポイント低い。

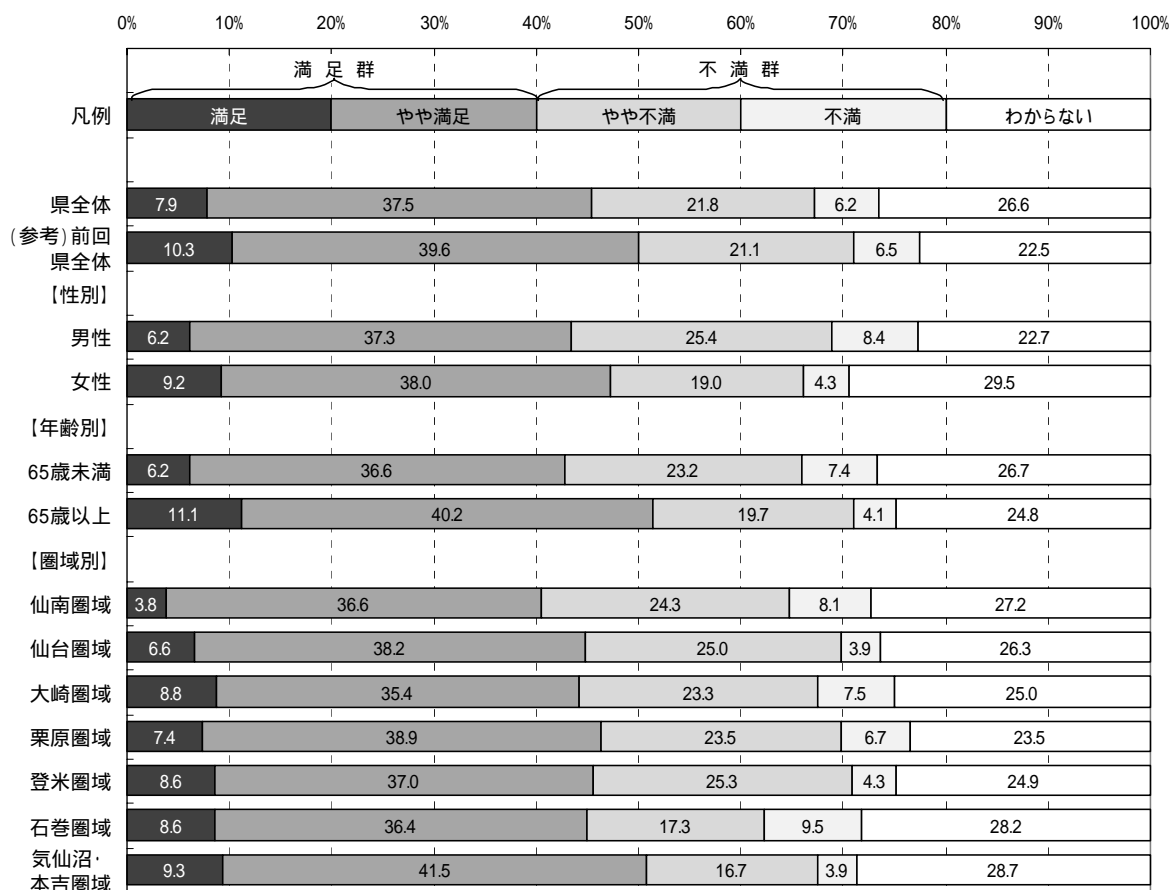
65歳以上の『満足群』は51.3%で、県全体より5.9ポイント高い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『満足群』は50.8%で、県全体より5.4ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-7-4 取組7 満足度割合(属性別)



取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

表2-2-7-4 取組7 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	142	678	394	112	480	1,806	138	1,944
	パーセント	7.9	37.5	21.8	6.2	26.6	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	10.7	51.1	29.7	8.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	177	679	361	111	385	1,713	129	1,842
	パーセント	10.3	39.6	21.1	6.5	22.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	52	314	214	71	191	842	52	894
	パーセント	6.2	37.3	25.4	8.4	22.7	100.0		
女性	度数	85	350	175	40	272	922	69	991
	パーセント	9.2	38.0	19.0	4.3	29.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	72	428	272	86	312	1,170	44	1,214
	パーセント	6.2	36.6	23.2	7.4	26.7	100.0		
65歳以上	度数	65	235	115	24	145	584	80	664
	パーセント	11.1	40.2	19.7	4.1	24.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	9	86	57	19	64	235	13	248
	パーセント	3.8	36.6	24.3	8.1	27.2	100.0		
仙台圏域	度数	15	87	57	9	60	228	21	249
	パーセント	6.6	38.2	25.0	3.9	26.3	100.0		
大崎圏域	度数	21	85	56	18	60	240	14	254
	パーセント	8.8	35.4	23.3	7.5	25.0	100.0		
栗原圏域	度数	21	111	67	19	67	285	20	305
	パーセント	7.4	38.9	23.5	6.7	23.5	100.0		
登米圏域	度数	22	95	65	11	64	257	22	279
	パーセント	8.6	37.0	25.3	4.3	24.9	100.0		
石巻圏域	度数	19	80	38	21	62	220	9	229
	パーセント	8.6	36.4	17.3	9.5	28.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	24	107	43	10	74	258	16	274
	パーセント	9.3	41.5	16.7	3.9	28.7	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組7に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 安全安心な食品の安定供給のための、環境保全型農業を実施する農業者の育成や食品の衛生管理体制の確立
- イ 生産者・事業者と消費者の間での食材や食品についての情報共有による相互理解など、安全安心についての信頼関係づくり
- ウ 行政、生産者、事業者、消費者などが連携して行う食の安全安心を支える体制づくり
- エ 地産地消につながる県産食材の学校給食への利用促進
- オ 地元食材を県内で消費できる各地域での仕組みづくりや直売施設の活用・支援
- カ 宮城の豊かな「食」を生かした食育の推進
- キ 県産食材の再認識・再発見を促す情報や機会の提供と県内供給力の向上
- ク 県産木材を積極的に使うことが森を育てることにつながる「みやぎの木づくり運動」の推進や、県産木材の利用技術の開発支援、「優良みやぎ材」の利用促進

(参考:目標とする宮城の姿)

安全安心な食材や食品が提供されるとともに、生産から消費までの情報の共有により、相互理解が進んでいます。
学校給食などで利用されることにより、地域で生産される食材への理解が深まっています。
地産地消の取組や食育を通じて、健全な食生活や食べ物を大切にする意識が県民に広がっています。また、安全面で信頼できる県産食品の需要が高まっています。
県産木材を活用する運動を進めることで県民の意識も高まり、地元の木材を利用して多くの住宅や施設が造られています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア
第2位:	エ(ウ)	ウ	エ	エ	ウ
第3位:	ウ(エ)	エ	カ	ウ	エ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	エ	エ	エ	ウ	ウ	ウ	ウ
第3位:	カ	ウ	カ	オ	イ	エ	エ

(カ同率)

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

()内は、前回の優先順位

取組7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

図2-2-7-5 取組7 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

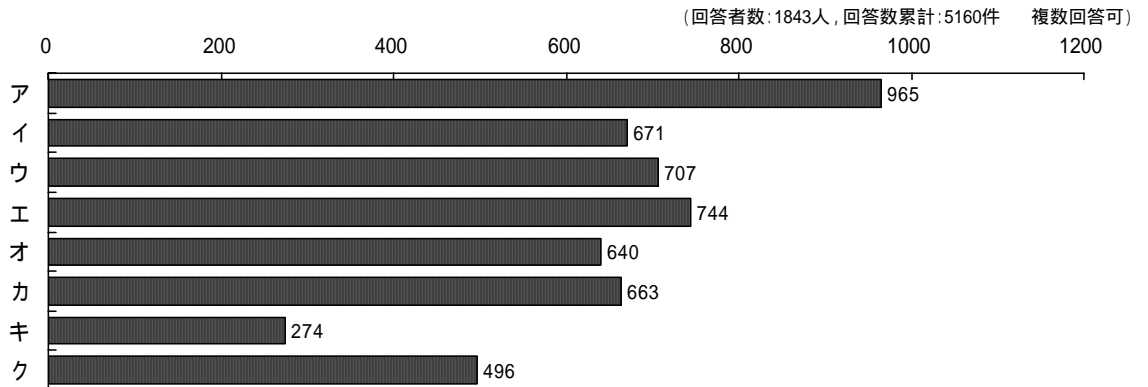
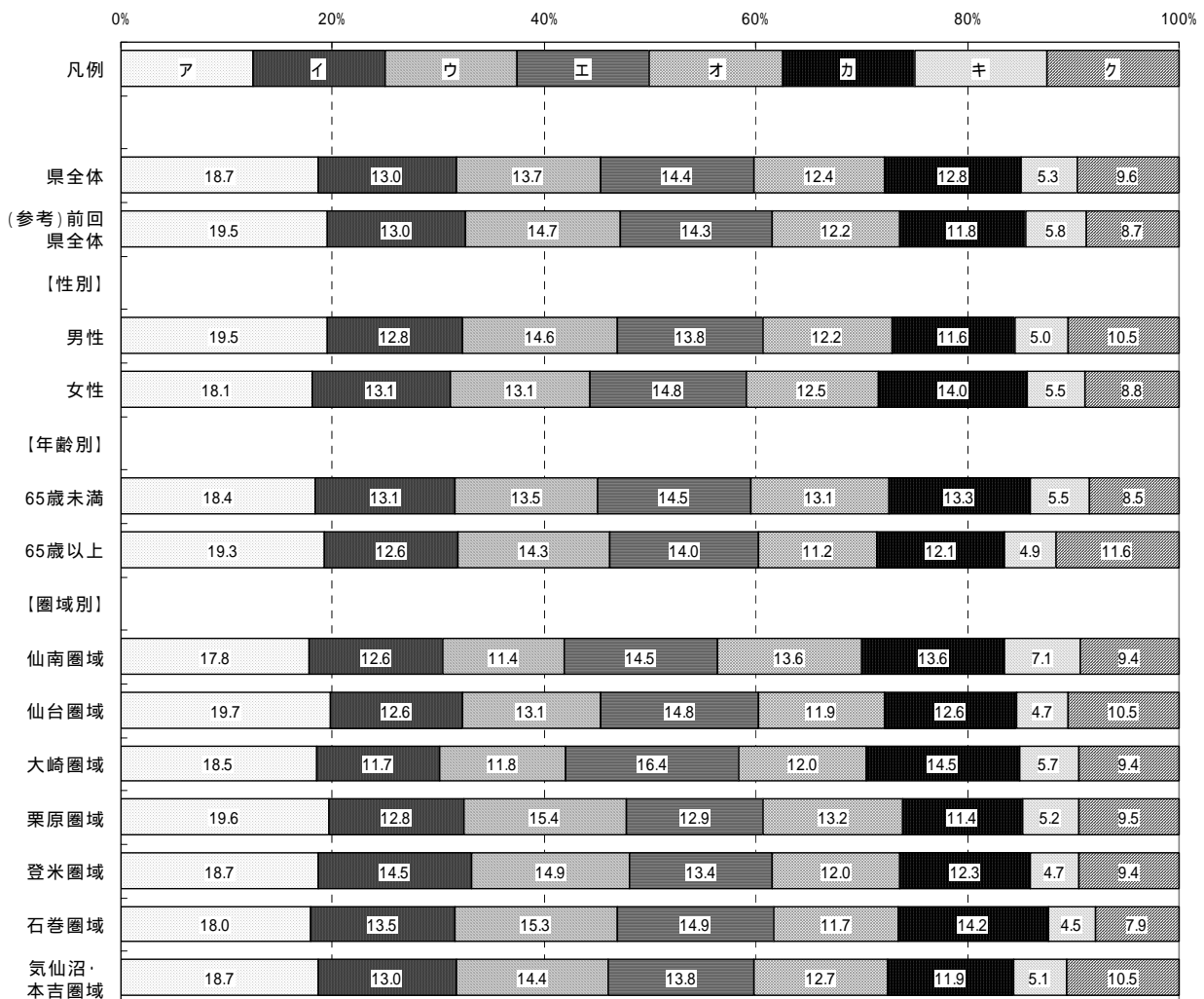


図2-2-7-6 取組7 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 7 「地産地消や食育を通じた需要の創出と
食の安全安心の確保」

取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進



取組概要

中国をはじめ成長を続ける東アジアやロシアなどを中心に、県内企業の海外販路開拓を積極的に支援するとともに、県内産業の競争力の強化に向け、欧米やアジアの外資系企業の工場や研究所などの誘致を目指します。

平成 20 年度の主な取組

県内企業の海外展開を支援するため、専門アドバイザーによる個別相談や海外経済情報を提供する実践講座を実施しています。

東アジア地域との経済交流を促進するため、中国上海市・大連市、香港及び台湾でビジネスフェア等を開催し、県内企業と現地企業との商談機会を通じ、県産品の販路開拓・拡大を支援しています。

県内企業のロシアへの販路拡大支援の一環として、官民学の共同事業体「みやぎロシア貿易促進コンソーシアム」を設立し、ロシアビジネスのノウハウについての勉強会や現地商談会などを行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は17.9%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は82.1%である。

性別

男性の『高認知群』は24.2%で、県全体より6.3ポイント高い。

女性の『高認知群』は12.5%で、県全体より5.4ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は14.2%で、県全体より3.7ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は25.5%で、県全体より7.6ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-8-1 取組8 認知度割合(属性別)

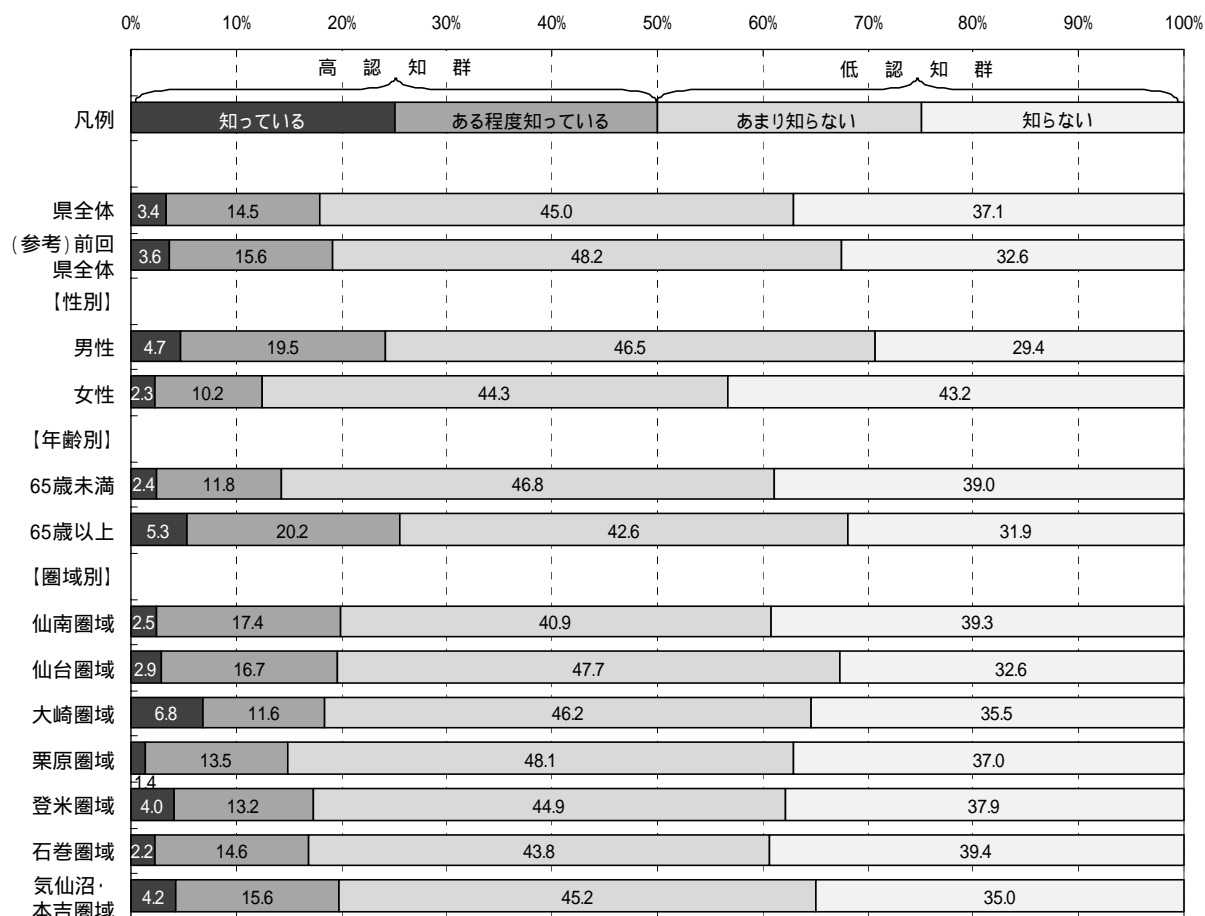


表 2 - 2 - 8 - 1 取組 8 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	63	273	844	697	1,877	67	1,944
	パーセント	3.4	14.5	45.0	37.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	64	277	855	578	1,774	68	1,842
	パーセント	3.6	15.6	48.2	32.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	41	170	406	257	874	20	894
	パーセント	4.7	19.5	46.5	29.4	100.0		
女性	度数	22	97	423	413	955	36	991
	パーセント	2.3	10.2	44.3	43.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	29	141	560	466	1,196	18	1,214
	パーセント	2.4	11.8	46.8	39.0	100.0		
65歳以上	度数	33	126	266	199	624	40	664
	パーセント	5.3	20.2	42.6	31.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	6	42	99	95	242	6	248
	パーセント	2.5	17.4	40.9	39.3	100.0		
仙台圏域	度数	7	40	114	78	239	10	249
	パーセント	2.9	16.7	47.7	32.6	100.0		
大崎圏域	度数	17	29	116	89	251	3	254
	パーセント	6.8	11.6	46.2	35.5	100.0		
栗原圏域	度数	4	39	139	107	289	16	305
	パーセント	1.4	13.5	48.1	37.0	100.0		
登米圏域	度数	11	36	122	103	272	7	279
	パーセント	4.0	13.2	44.9	37.9	100.0		
石巻圏域	度数	5	33	99	89	226	3	229
	パーセント	2.2	14.6	43.8	39.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	11	41	119	92	263	11	274
	パーセント	4.2	15.6	45.2	35.0	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は35.7%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は64.3%である。

性別

男性の『高関心群』は44.5%で、県全体より8.8ポイント高い。

女性の『高関心群』は27.6%で、県全体より8.1ポイント低い。

年齢別

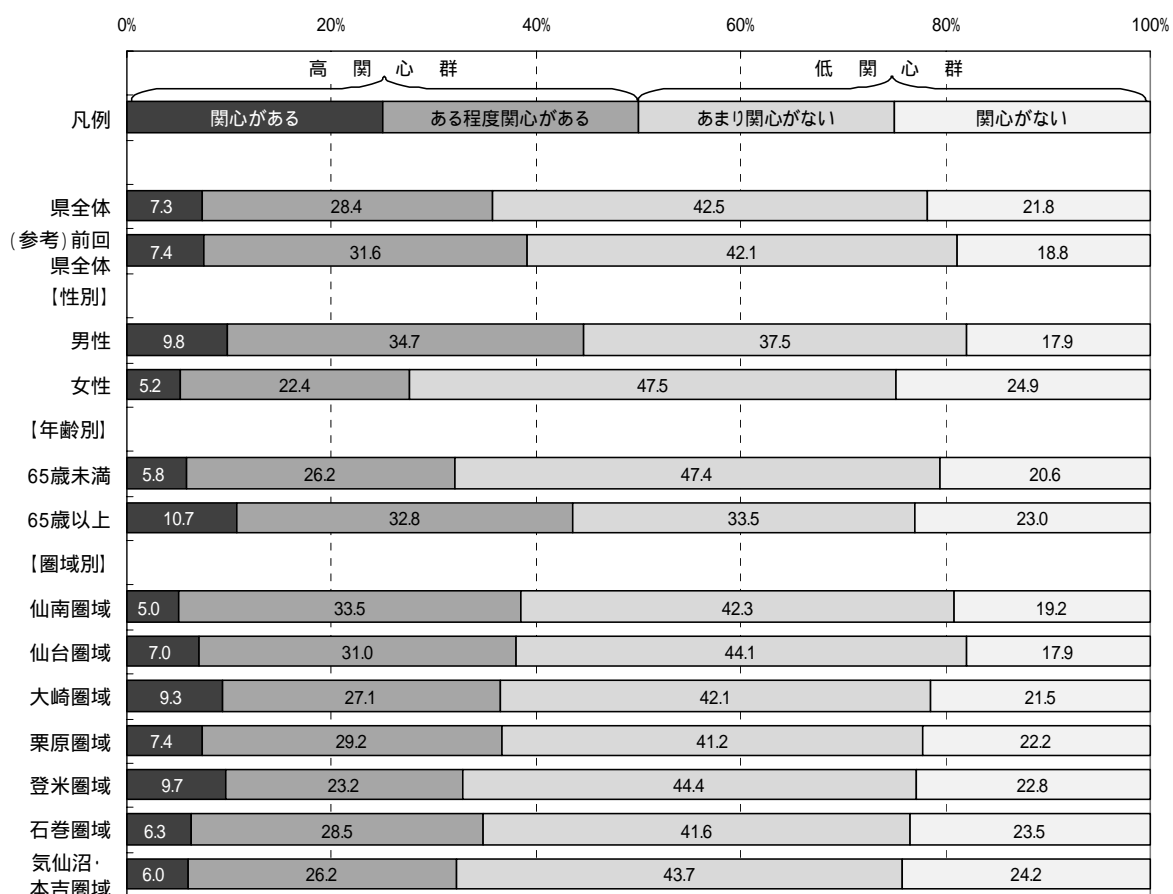
65歳未満の『高関心群』は32.0%で、県全体より3.7ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は43.5%で、県全体より7.8ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-8-2 取組8 関心度割合(属性別)



取組 8 「県内企業のグローバルビジネスの推進と
外資系企業の立地促進」

表 2 - 2 - 8 - 2 取組 8 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	133	515	772	396	1,816	128	1,944
	パーセント	7.3	28.4	42.5	21.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	128	544	724	323	1,719	123	1,842
	パーセント	7.4	31.6	42.1	18.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	84	297	321	153	855	39	894
	パーセント	9.8	34.7	37.5	17.9	100.0		
女性	度数	48	206	437	229	920	71	991
	パーセント	5.2	22.4	47.5	24.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	68	308	556	242	1,174	40	1,214
	パーセント	5.8	26.2	47.4	20.6	100.0		
65歳以上	度数	63	194	198	136	591	73	664
	パーセント	10.7	32.8	33.5	23.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	12	80	101	46	239	9	248
	パーセント	5.0	33.5	42.3	19.2	100.0		
仙台圏域	度数	16	71	101	41	229	20	249
	パーセント	7.0	31.0	44.1	17.9	100.0		
大崎圏域	度数	23	67	104	53	247	7	254
	パーセント	9.3	27.1	42.1	21.5	100.0		
栗原圏域	度数	21	83	117	63	284	21	305
	パーセント	7.4	29.2	41.2	22.2	100.0		
登米圏域	度数	25	60	115	59	259	20	279
	パーセント	9.7	23.2	44.4	22.8	100.0		
石巻圏域	度数	14	63	92	52	221	8	229
	パーセント	6.3	28.5	41.6	23.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	15	66	110	61	252	22	274
	パーセント	6.0	26.2	43.7	24.2	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は38.8%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は29.6%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が56.7%、『低重視群』は43.3%となる。

性別

男性の『高重視群』は46.4%で、県全体より7.6ポイント高い。

女性の『高重視群』は32.3%で、県全体より6.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は35.7%で、県全体より3.1ポイント低い。

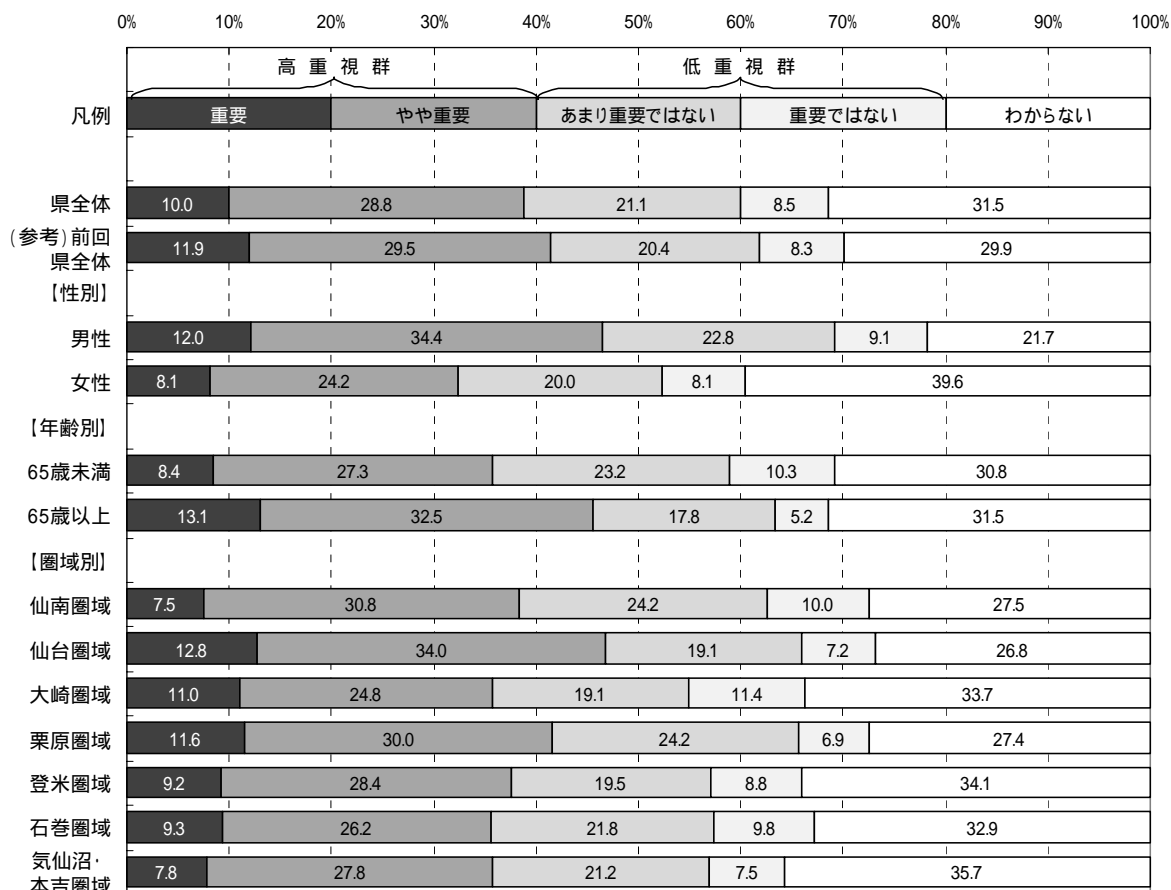
65歳以上の『高重視群』は45.6%で、県全体より6.8ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『高重視群』は46.8%で、県全体より8.0ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-8-3 取組8 重視度割合(属性別)



取組 8 「県内企業のグローバルビジネスの推進と
外資系企業の立地促進」

表 2 - 2 - 8 - 3 取組 8 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	183	527	386	156	576	1,828	116	1,944
	パーセント	10.0	28.8	21.1	8.5	31.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	14.6	42.1	30.8	12.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	206	509	353	144	516	1,728	114	1,842
	パーセント	11.9	29.5	20.4	8.3	29.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	102	291	193	77	184	847	47	894
	パーセント	12.0	34.4	22.8	9.1	21.7	100.0		
女性	度数	76	227	187	76	371	937	54	991
	パーセント	8.1	24.2	20.0	8.1	39.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	99	322	273	122	363	1,179	35	1,214
	パーセント	8.4	27.3	23.2	10.3	30.8	100.0		
65歳以上	度数	78	194	106	31	188	597	67	664
	パーセント	13.1	32.5	17.8	5.2	31.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	18	74	58	24	66	240	8	248
	パーセント	7.5	30.8	24.2	10.0	27.5	100.0		
仙台圏域	度数	30	80	45	17	63	235	14	249
	パーセント	12.8	34.0	19.1	7.2	26.8	100.0		
大崎圏域	度数	27	61	47	28	83	246	8	254
	パーセント	11.0	24.8	19.1	11.4	33.7	100.0		
栗原圏域	度数	32	83	67	19	76	277	28	305
	パーセント	11.6	30.0	24.2	6.9	27.4	100.0		
登米圏域	度数	24	74	51	23	89	261	18	279
	パーセント	9.2	28.4	19.5	8.8	34.1	100.0		
石巻圏域	度数	21	59	49	22	74	225	4	229
	パーセント	9.3	26.2	21.8	9.8	32.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	20	71	54	19	91	255	19	274
	パーセント	7.8	27.8	21.2	7.5	35.7	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は22.3%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は25.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が46.2%、『不満群』は53.8%となる。

性別

男性の『満足群』は26.2%で、県全体より3.9ポイント高い。

女性の『満足群』は18.8%で、県全体より3.5ポイント低い。

年齢別

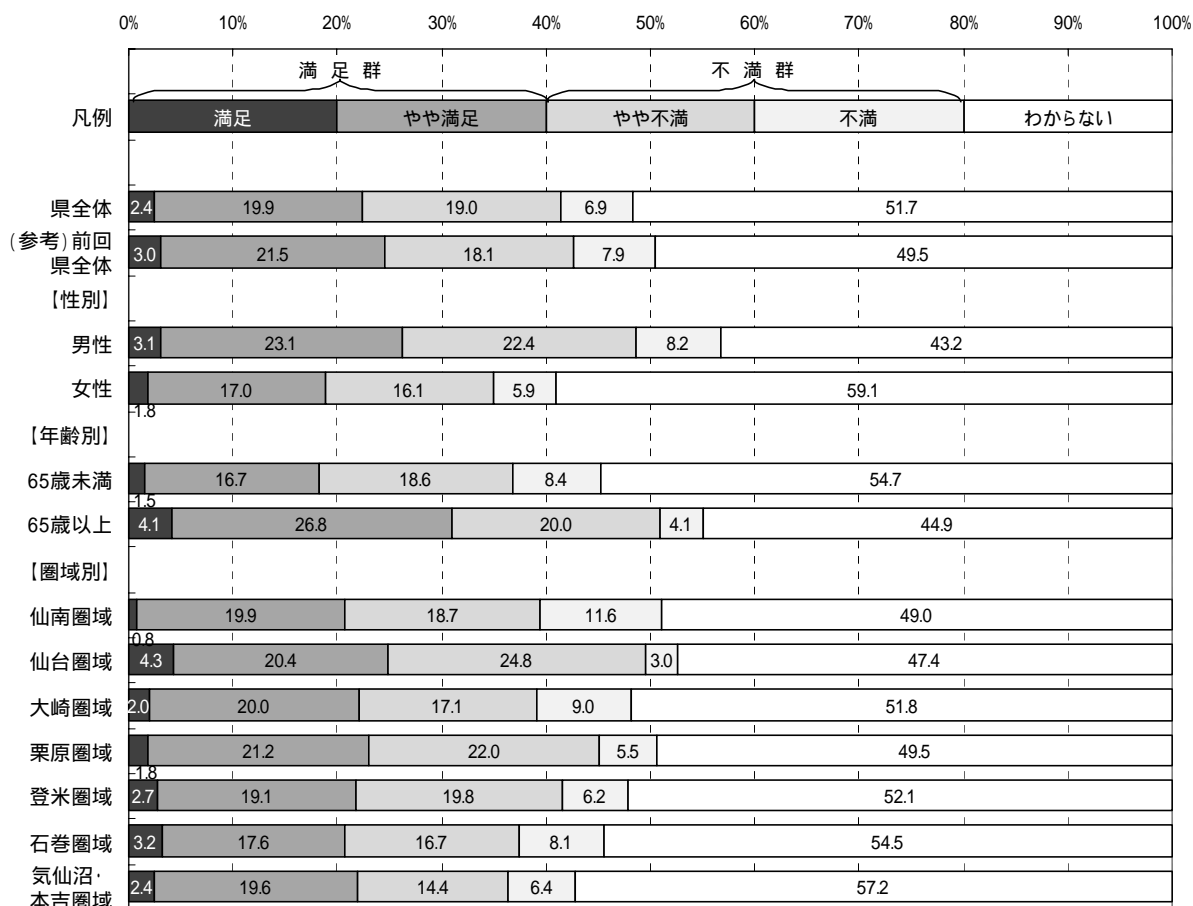
65歳未満の『満足群』は18.2%で、県全体より4.1ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は30.9%で、県全体より8.6ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-8-4 取組8 満足度割合(属性別)



取組 8 「県内企業のグローバルビジネスの推進と
外資系企業の立地促進」

表 2 - 2 - 8 - 4 取組 8 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	44	358	343	125	931	1,801	143	1,944
	パーセント	2.4	19.9	19.0	6.9	51.7	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	5.1	41.1	39.4	14.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	52	368	309	135	846	1,710	132	1,842
	パーセント	3.0	21.5	18.1	7.9	49.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	26	192	186	68	359	831	63	894
	パーセント	3.1	23.1	22.4	8.2	43.2	100.0		
女性	度数	17	158	150	55	549	929	62	991
	パーセント	1.8	17.0	16.1	5.9	59.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	18	196	218	99	641	1,172	42	1,214
	パーセント	1.5	16.7	18.6	8.4	54.7	100.0		
65歳以上	度数	24	155	116	24	260	579	85	664
	パーセント	4.1	26.8	20.0	4.1	44.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	2	48	45	28	118	241	7	248
	パーセント	0.8	19.9	18.7	11.6	49.0	100.0		
仙台圏域	度数	10	47	57	7	109	230	19	249
	パーセント	4.3	20.4	24.8	3.0	47.4	100.0		
大崎圏域	度数	5	49	42	22	127	245	9	254
	パーセント	2.0	20.0	17.1	9.0	51.8	100.0		
栗原圏域	度数	5	58	60	15	135	273	32	305
	パーセント	1.8	21.2	22.0	5.5	49.5	100.0		
登米圏域	度数	7	49	51	16	134	257	22	279
	パーセント	2.7	19.1	19.8	6.2	52.1	100.0		
石巻圏域	度数	7	39	37	18	121	222	7	229
	パーセント	3.2	17.6	16.7	8.1	54.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	6	49	36	16	143	250	24	274
	パーセント	2.4	19.6	14.4	6.4	57.2	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 8 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 県の海外事務所や関係機関が連携し、海外展開を目指す県内企業の国際的経済活動への総合的な支援体制づくり
- イ 海外との取引拡大に向けた市場調査、海外取引事務や知的財産保護対策等の専門知識の提供、アドバイスや取引仲介機能など支援体制の強化
- ウ 県産品の販売先開拓や原材料調達のための商談会開催など、海外との取引機会の拡大支援
- エ 産学共同を推し進めている東北大学と協力するなど、みやぎの優位性を生かした外資系企業・研究機関の立地促進
- オ 東アジア諸国や今後の成長が期待されるロシア極東地域をはじめとする近隣諸国との経済交流の促進

(参考:目標とする宮城の姿)

国際競争力のある製品・技術を持つ企業が増えたり、多くの県内企業が海外に展開したりすることで、海外との経済交流が進んでいます。

県産農林水産物やその加工品の海外市場での取引が拡大しています。

外資系の高度な技術を持った企業などが県内に立地し、共同研究やさまざまな取引が進展しています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ(ア)	オ	ア	ア	ウ
第2位:	ア(ウ)	ウ	ウ	ウ	ア
第3位:	オ(エ)	ア	エ	オ	エ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	オ	ウ	ア	ア	ア	ア	ウ
第2位:	エ	オ	オ	ウ	ウ	ウ	オ
第3位:	イ	ア	ウ	オ	オ	オ	ア

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

()内は、前回の優先順位

取組8 「県内企業のグローバルビジネスの推進と
外資系企業の立地促進」

図2-2-8-5 取組8 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

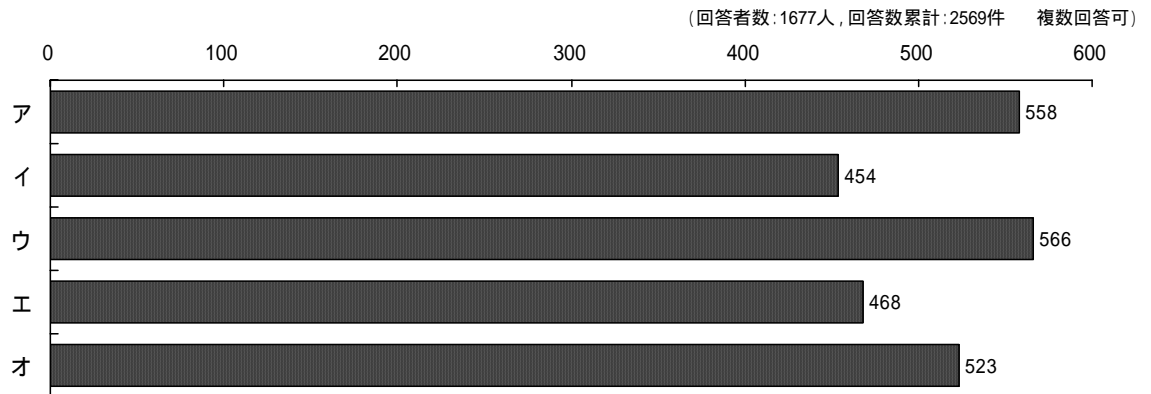
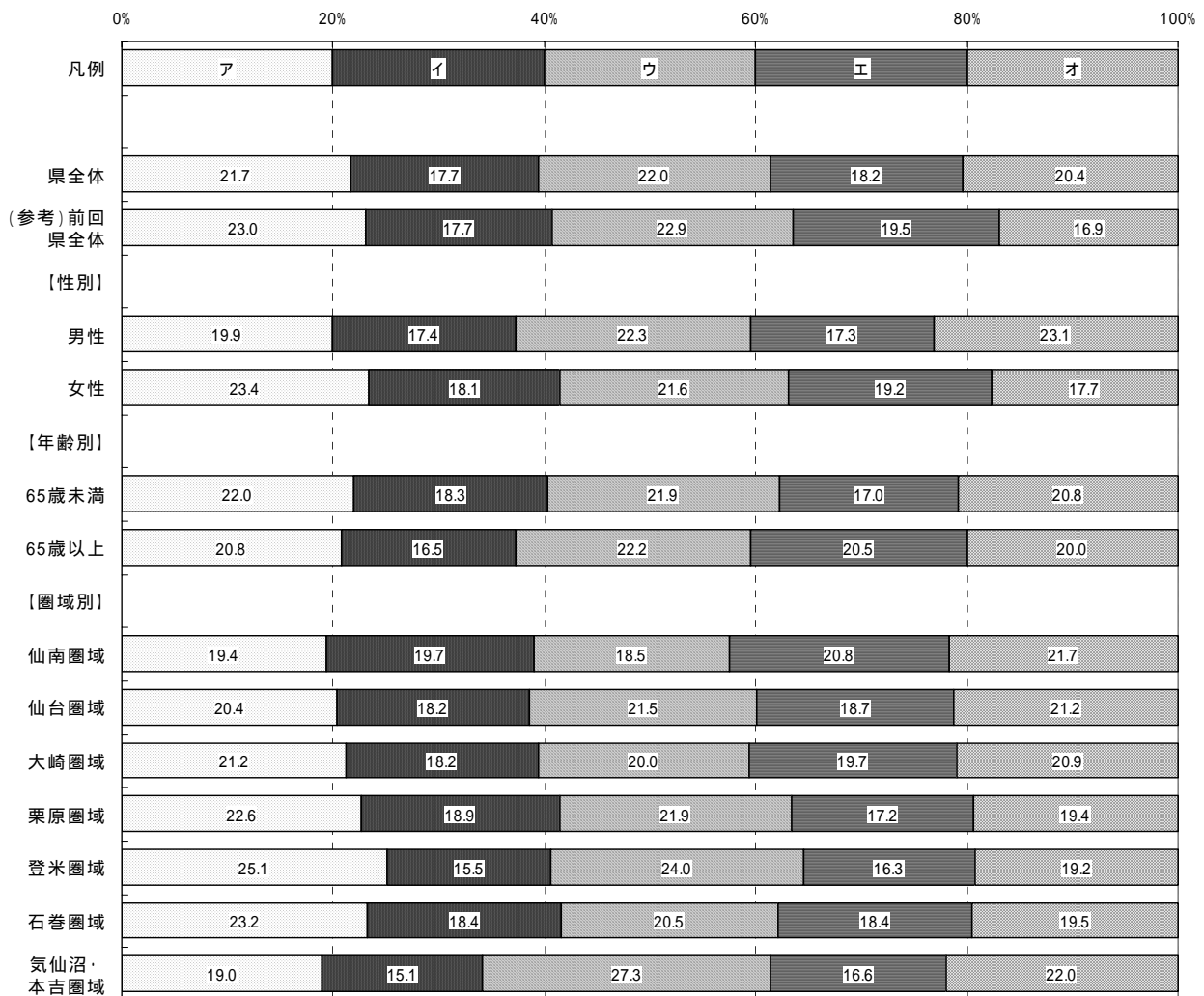


図2-2-8-6 取組8 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 8 「県内企業のグローバルビジネスの推進と
外資系企業の立地促進」

取組 9 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成



取組概要

東北各県が保有する資源や特性を生かした機能分担や協力体制の構築などの連携を進め、自動車関連産業分野をはじめとする各種産業政策を展開し、自律的に発展できる広域経済圏の形成を目指します。

平成 20 年度の主な取組

東北 6 県が連携して自動車関連産業の振興を図るため、自動車メーカーや部品メーカー向けに共同で展示商談会を開催するなど、歩調を合わせた取組を進めています。

山形県などの隣接県との連携強化に向けた体制の整備や連携施策に関する検討・調整を行っています。

県内企業の海外現地支援や外国人観光客の誘致を効果的に行うため、山形県と共同でソウル事務所を、岩手県と共同で(中国)大連事務所を設置しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は31.9%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は68.2%である。
また前回の『高認知群』は20.7%で、今回は前回より11.2ポイント高い。

性別

男性の『高認知群』は41.8%で、県全体より9.9ポイント高い。

女性の『高認知群』は23.0%で、県全体より8.9ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は30.8%で、県全体より1.1ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は34.8%で、県全体より2.9ポイント高い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は25.7%で、6.2ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-9-1 取組9 認知度割合(属性別)

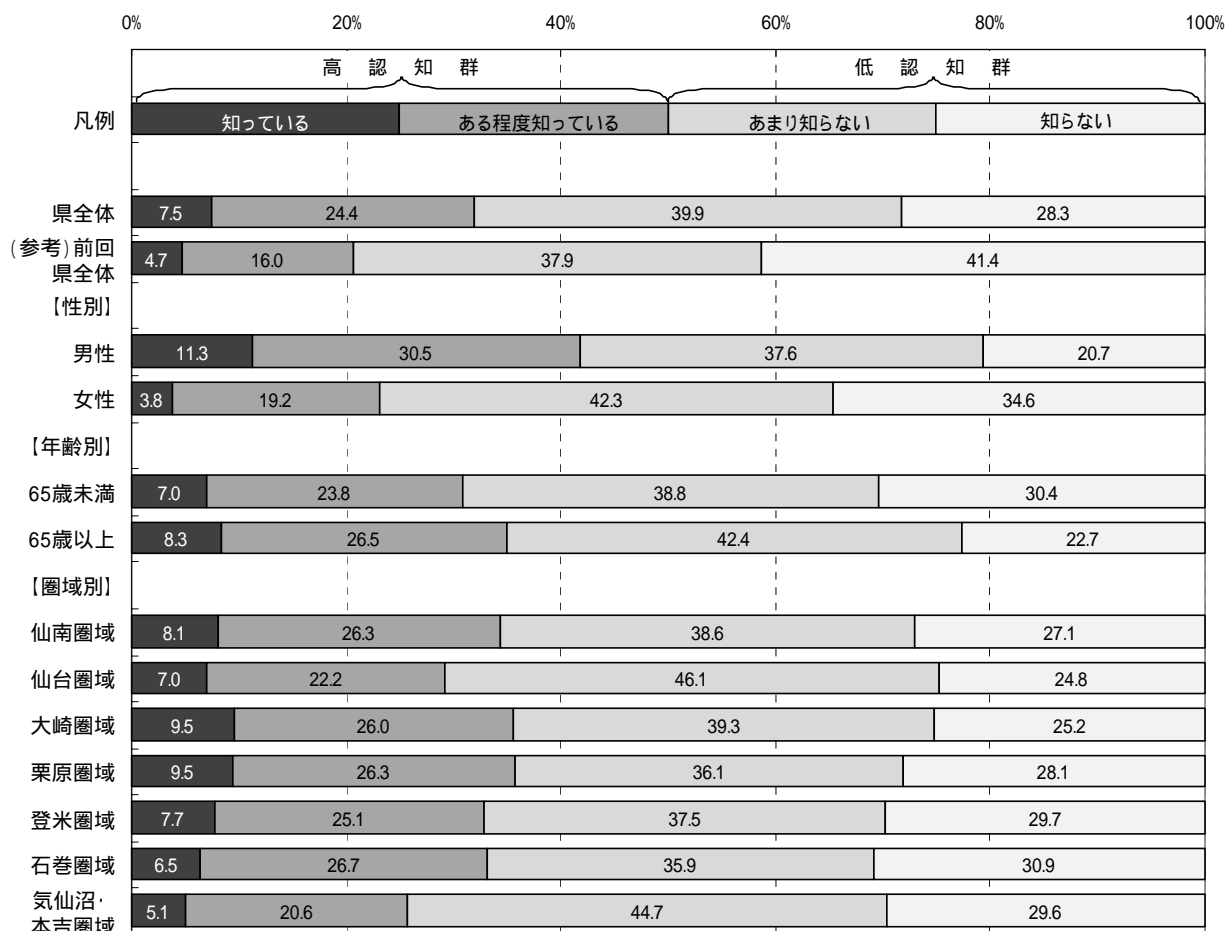


表2-2-9-1 取組9 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	136	443	725	514	1,818	126	1,944
	パーセント	7.5	24.4	39.9	28.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	83	284	673	735	1,775	67	1,842
	パーセント	4.7	16.0	37.9	41.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	97	261	322	177	857	37	894
	パーセント	11.3	30.5	37.6	20.7	100.0		
女性	度数	35	176	387	317	915	76	991
	パーセント	3.8	19.2	42.3	34.6	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	82	277	452	354	1,165	49	1,214
	パーセント	7.0	23.8	38.8	30.4	100.0		
65歳以上	度数	50	159	254	136	599	65	664
	パーセント	8.3	26.5	42.4	22.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	19	62	91	64	236	12	248
	パーセント	8.1	26.3	38.6	27.1	100.0		
仙台圏域	度数	16	51	106	57	230	19	249
	パーセント	7.0	22.2	46.1	24.8	100.0		
大崎圏域	度数	23	63	95	61	242	12	254
	パーセント	9.5	26.0	39.3	25.2	100.0		
栗原圏域	度数	27	75	103	80	285	20	305
	パーセント	9.5	26.3	36.1	28.1	100.0		
登米圏域	度数	20	65	97	77	259	20	279
	パーセント	7.7	25.1	37.5	29.7	100.0		
石巻圏域	度数	14	58	78	67	217	12	229
	パーセント	6.5	26.7	35.9	30.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	13	53	115	76	257	17	274
	パーセント	5.1	20.6	44.7	29.6	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は49.5%，
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は50.5%である。

また前回の『高関心群』は41.4%で、今回は前回より8.1ポイント高い

性別

男性の『高関心群』は60.7%で、県全体より11.2ポイント高い。

女性の『高関心群』は39.0%で、県全体より10.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は46.8%で、県全体より2.7ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は55.2%で、県全体より5.7ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『高関心群』は54.9%で、県全体より5.4ポイント高い。

石巻圏域の『高関心群』は43.8%で、県全体より5.7ポイント低い。

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は43.2%で、県全体よりも6.3ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-9-2 取組9 関心度割合(属性別)

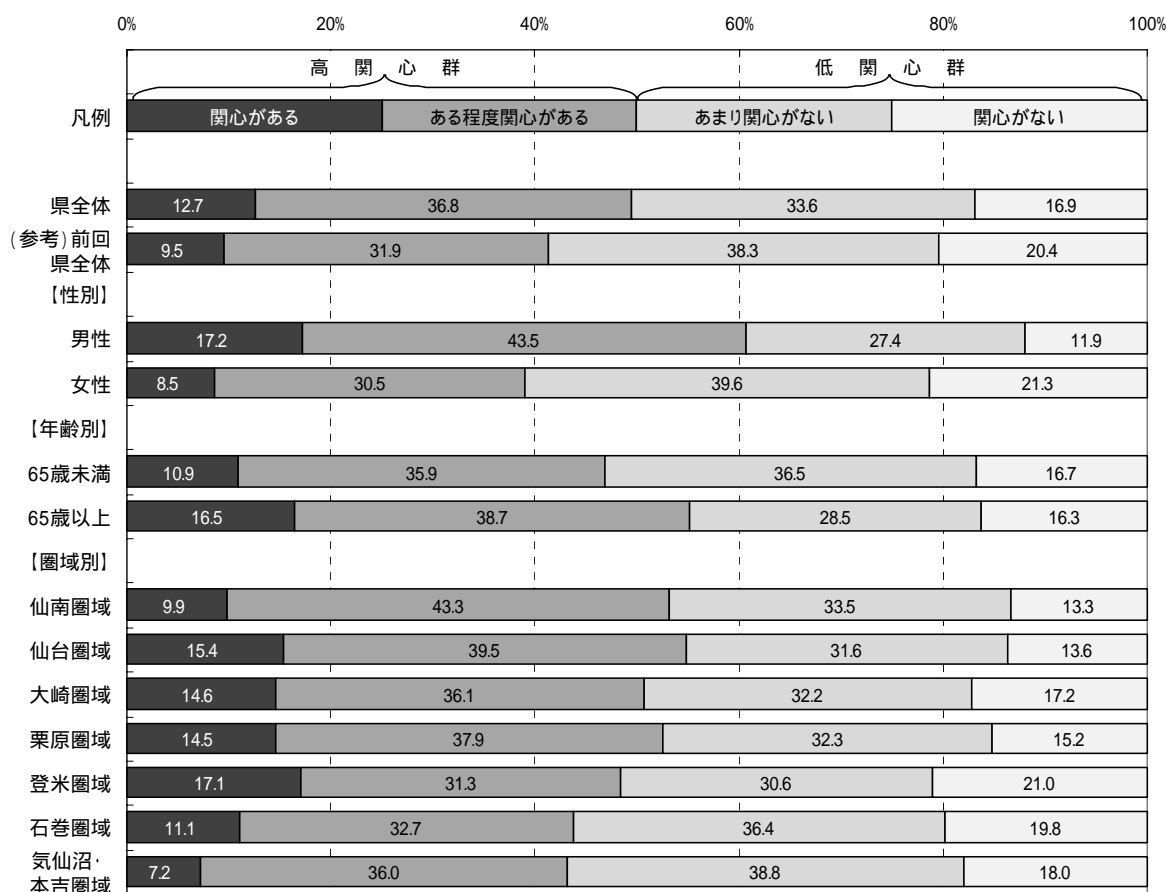


表2-2-9-2 取組9 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	225	655	597	301	1,778	166	1,944
	パーセント	12.7	36.8	33.6	16.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	164	551	661	352	1,728	114	1,842
	パーセント	9.5	31.9	38.3	20.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	144	365	230	100	839	55	894
	パーセント	17.2	43.5	27.4	11.9	100.0		
女性	度数	77	275	357	192	901	90	991
	パーセント	8.5	30.5	39.6	21.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	126	414	421	193	1,154	60	1,214
	パーセント	10.9	35.9	36.5	16.7	100.0		
65歳以上	度数	95	223	164	94	576	88	664
	パーセント	16.5	38.7	28.5	16.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	23	101	78	31	233	15	248
	パーセント	9.9	43.3	33.5	13.3	100.0		
仙台圏域	度数	35	90	72	31	228	21	249
	パーセント	15.4	39.5	31.6	13.6	100.0		
大崎圏域	度数	34	84	75	40	233	21	254
	パーセント	14.6	36.1	32.2	17.2	100.0		
栗原圏域	度数	41	107	91	43	282	23	305
	パーセント	14.5	37.9	32.3	15.2	100.0		
登米圏域	度数	43	79	77	53	252	27	279
	パーセント	17.1	31.3	30.6	21.0	100.0		
石巻圏域	度数	24	71	79	43	217	12	229
	パーセント	11.1	32.7	36.4	19.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	18	90	97	45	250	24	274
	パーセント	7.2	36.0	38.8	18.0	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は51.3%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は21.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が70.7%、『低重視群』は29.3%となる。

また前回の『高重視群』は42.5%で、今回は前回よりも8.8ポイント高い。

性別

男性の『高重視群』は61.6%で、県全体より10.3ポイント高い。

女性の『高重視群』は42.2%で、県全体より9.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は48.9%で、県全体より2.4ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は57.2%で、県全体より5.9ポイント高い。

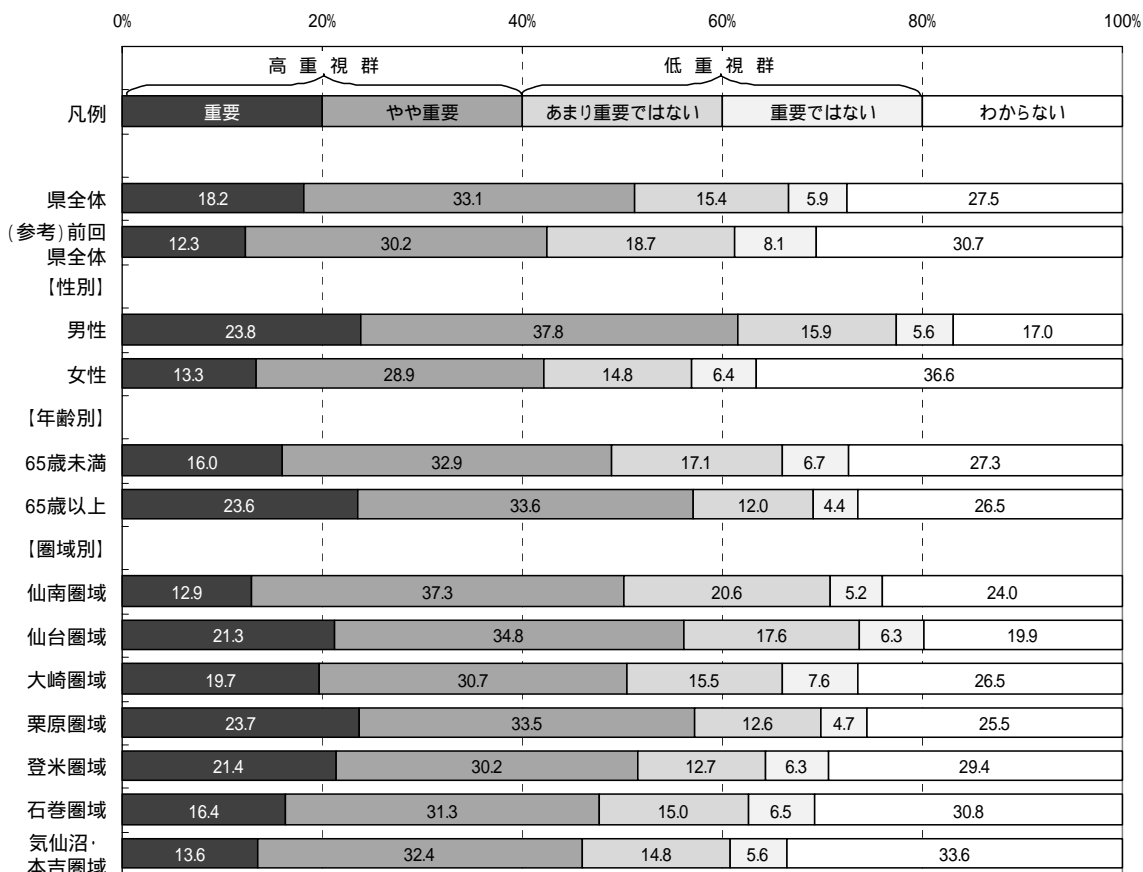
圏域別

栗原圏域の『高重視群』は57.2%で、県全体より5.9ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は46.0%で、県全体より5.3ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-9-3 取組9 重視度割合(属性別)



取組9 「自律的に発展できる経済システム
構築に向けた広域経済圏の形成」

表2-2-9-3 取組9 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	323	586	273	104	487	1,773	171	1,944
	パーセント	18.2	33.1	15.4	5.9	27.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	25.1	45.6	21.2	8.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	212	521	322	140	529	1,724	118	1,842
	パーセント	12.3	30.2	18.7	8.1	30.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	199	316	133	47	142	837	57	894
	パーセント	23.8	37.8	15.9	5.6	17.0	100.0		
女性	度数	119	258	132	57	327	893	98	991
	パーセント	13.3	28.9	14.8	6.4	36.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	184	379	197	77	315	1,152	62	1,214
	パーセント	16.0	32.9	17.1	6.7	27.3	100.0		
65歳以上	度数	134	191	68	25	151	569	95	664
	パーセント	23.6	33.6	12.0	4.4	26.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	30	87	48	12	56	233	15	248
	パーセント	12.9	37.3	20.6	5.2	24.0	100.0		
仙台圏域	度数	47	77	39	14	44	221	28	249
	パーセント	21.3	34.8	17.6	6.3	19.9	100.0		
大崎圏域	度数	47	73	37	18	63	238	16	254
	パーセント	19.7	30.7	15.5	7.6	26.5	100.0		
栗原圏域	度数	66	93	35	13	71	278	27	305
	パーセント	23.7	33.5	12.6	4.7	25.5	100.0		
登米圏域	度数	54	76	32	16	74	252	27	279
	パーセント	21.4	30.2	12.7	6.3	29.4	100.0		
石巻圏域	度数	35	67	32	14	66	214	15	229
	パーセント	16.4	31.3	15.0	6.5	30.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	34	81	37	14	84	250	24	274
	パーセント	13.6	32.4	14.8	5.6	33.6	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は31.7%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は24.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が56.6%、『不満群』は43.4%となる。

性別

男性の『満足群』は39.0%で、県全体より7.3ポイント高い。

女性の『満足群』は25.3%で、県全体より6.4ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は27.5%で、県全体より4.2ポイント低い。

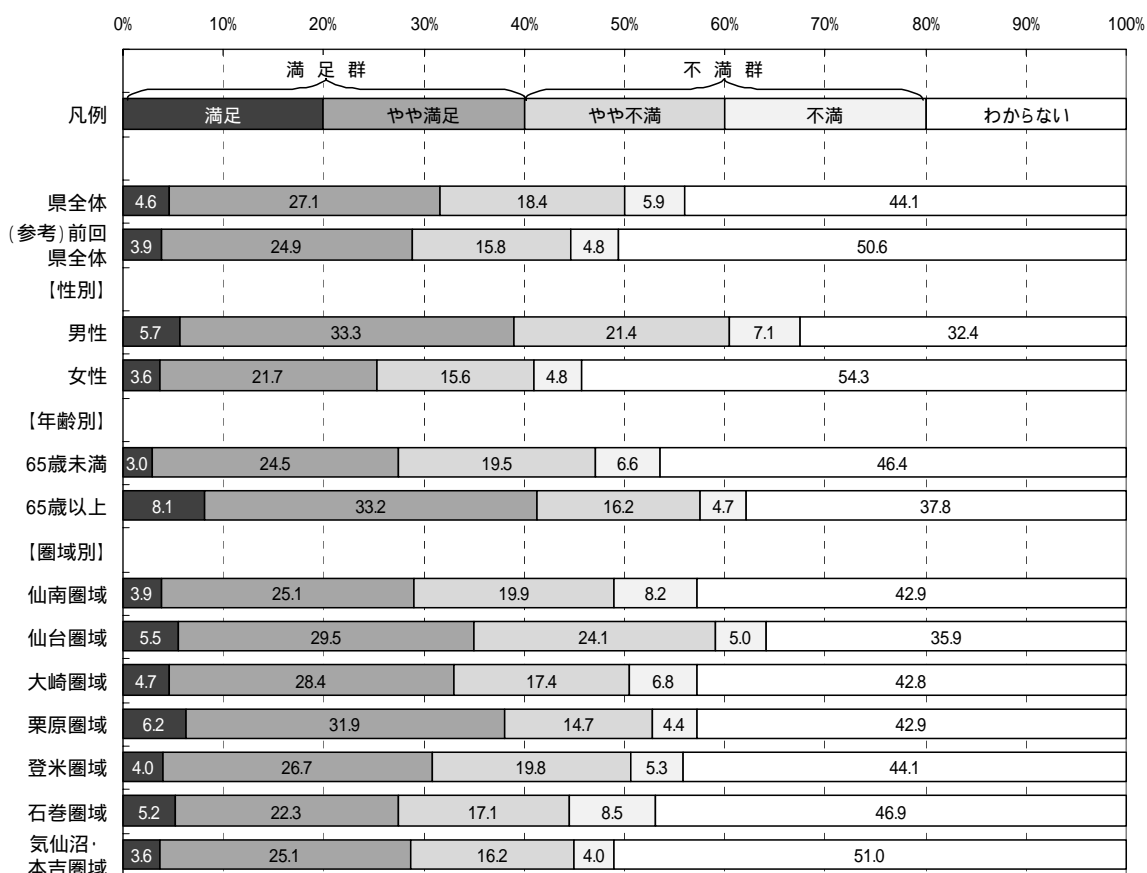
65歳以上の『満足群』は41.3%で、県全体より9.6ポイント高い。

圏域別

栗原圏域の『満足群』は38.1%で、県全体より6.4ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-9-4 取組9 満足度割合(属性別)



取組9 「自律的に発展できる経済システム
構築に向けた広域経済圏の形成」

表2-2-9-4 取組9 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	80	473	321	104	770	1,748	196	1,944
	パーセント	4.6	27.1	18.4	5.9	44.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	8.2	48.4	32.8	10.6		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	66	425	270	82	862	1,705	137	1,842
	パーセント	3.9	24.9	15.8	4.8	50.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	47	275	177	59	268	826	68	894
	パーセント	5.7	33.3	21.4	7.1	32.4	100.0		
女性	度数	32	191	137	42	478	880	111	991
	パーセント	3.6	21.7	15.6	4.8	54.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	34	280	223	75	530	1,142	72	1,214
	パーセント	3.0	24.5	19.5	6.6	46.4	100.0		
65歳以上	度数	45	184	90	26	210	555	109	664
	パーセント	8.1	33.2	16.2	4.7	37.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	9	58	46	19	99	231	17	248
	パーセント	3.9	25.1	19.9	8.2	42.9	100.0		
仙台圏域	度数	12	65	53	11	79	220	29	249
	パーセント	5.5	29.5	24.1	5.0	35.9	100.0		
大崎圏域	度数	11	67	41	16	101	236	18	254
	パーセント	4.7	28.4	17.4	6.8	42.8	100.0		
栗原圏域	度数	17	87	40	12	117	273	32	305
	パーセント	6.2	31.9	14.7	4.4	42.9	100.0		
登米圏域	度数	10	66	49	13	109	247	32	279
	パーセント	4.0	26.7	19.8	5.3	44.1	100.0		
石巻圏域	度数	11	47	36	18	99	211	18	229
	パーセント	5.2	22.3	17.1	8.5	46.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	9	62	40	10	126	247	27	274
	パーセント	3.6	25.1	16.2	4.0	51.0	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組9に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 山形県との連携に関する基本構想の具体化と連携促進
- イ 自動車関連産業や情報関連産業分野での、岩手・山形両県をはじめとする東北各県との連携促進
- ウ 県境を越えた企業、研究機関の間での役割分担や協力体制づくりによる、東北地方への産業集積の支援
- エ 三陸縦貫自動車道をはじめとする、広域的な経済活動を支える交通・情報などのネットワークづくり
- オ 東北各県との連携による広域観光ルートの設定など、観光推進組織づくり
- カ 隣接県と連携した国内外拠点事務所の共同運営や、企業の海外進出を支援する体制づくり

(参考:目標とする宮城の姿)

東北地方各県との間で、それぞれの資源や特性を生かした協力体制がつけられ、自動車関連分野などさまざまな産業政策が行われています。

特に山形県との連携が進み、仙台市・山形市を中心に両県が東北の中核圏域として地域の発展をリードしています。また、岩手県や福島県ともさまざまな分野で連携が進んでいます。

観光や文化的活動では、東北各県と連携することでそれぞれの地域の魅力が更に高まり、国内外からの交流人口が増えています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	エ(エ)	エ	オ	エ	イ
第2位:	イ(イ)	イ	エ	イ、オ	エ
第3位:	オ(オ)	ウ	イ	-	オ

(イ、オ同率)

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	オ	イ	イ	イ	エ	エ	エ
第2位:	ウ	オ	ウ	オ	イ	イ	オ
第3位:	イ	ウ	オ	ウ	ウ	オ	イ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
()内は、前回の優先順位

図2-2-9-5 取組9 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

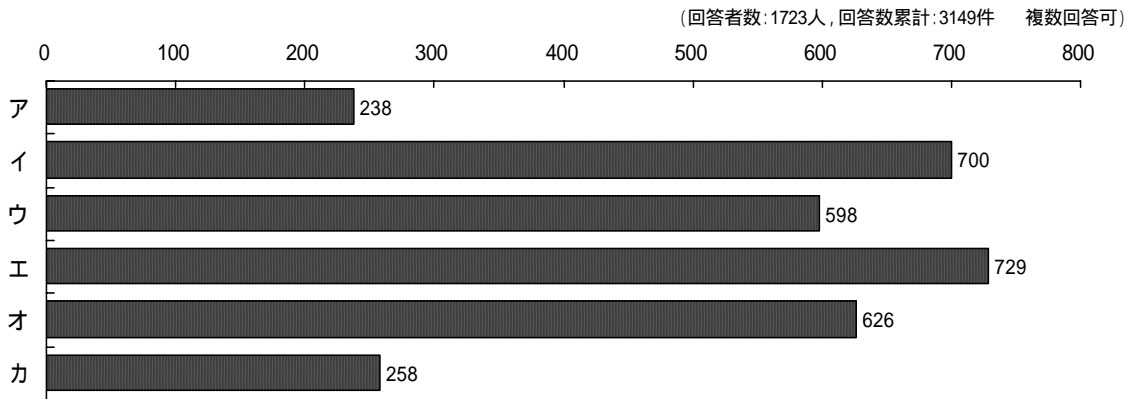
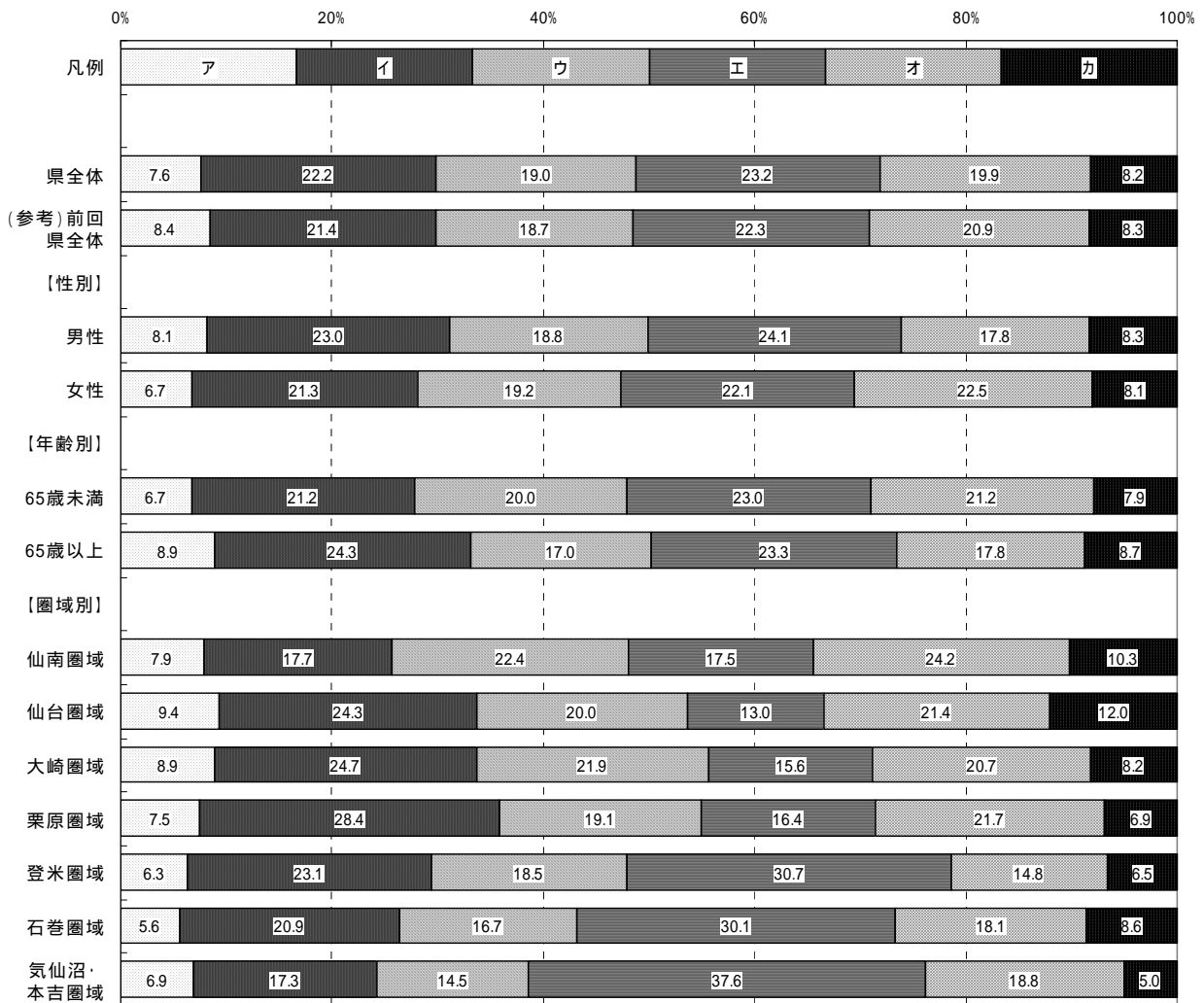


図2-2-9-6 取組9 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 9 「自律的に発展できる経済システム
構築に向けた広域経済圏の形成」

取組 1 0 産業活動の基礎となる人材の育成・確保



取組概要

地域の産業を担う人材の育成と確保に向けて取り組むとともに、社会情勢の変化やグローバル化に対応できる人材の育成を進めるほか、学校と地域が一体となった人材の育成を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

地域の産業を担う人材の体系的な育成体制をつくるため、産学官の連携組織として「みやぎ産業人材育成プラットフォーム」を設置し、企業実習や企業技術者の学校派遣など学校と企業が連携した人材育成を進めています。

農業の担い手を確保し育成するため、実践的な農業教育研修の場を提供するとともに、農業技術や経営方法等の習得に要する経費の負担軽減などを支援しています。

林業の担い手を確保・育成するため、新規就業者の知識・技術習得に向けた研修会を開催するとともに、林業後継者団体の活動を支援しています。

地球温暖化防止に寄与する森林整備の推進や県産木材の安定供給を図るため、情勢の変化に対応しながら、効率的な木材生産や森林整備を企画・調整できる次世代のリーダーを育成しています。

沿岸漁業の担い手を確保・育成するため、漁業士等中核的漁業者や意欲ある青年・女性漁業者に対し、研修会の開催や経営の合理化、起業化等の指導を行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は27.5%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は72.5%である。

性別

男性の『高認知群』は33.2%で、県全体より5.7ポイント高い。

女性の『高認知群』は22.4%で、県全体より5.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は23.5%で、県全体より4.0ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は36.0%で、県全体より8.5ポイント高い。

圏域別

栗原圏域の『高認知群』は33.9%で、県全体より6.4ポイント高い。

石巻圏域の『高認知群』は20.4%で、県全体より7.1ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-10-1 取組10 認知度割合(属性別)

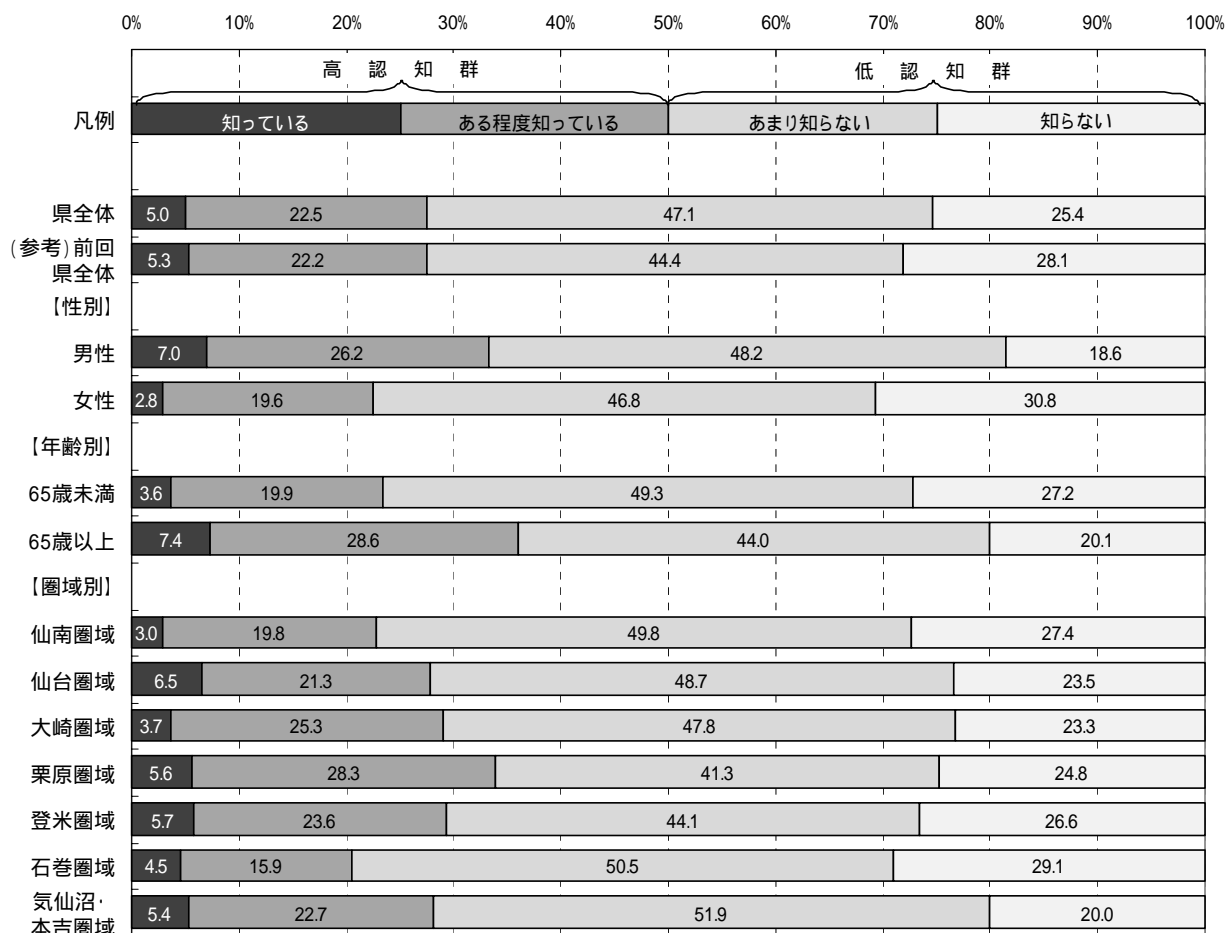


表2-2-10-1 取組10 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	91	413	863	466	1,833	111	1,944
	パーセント	5.0	22.5	47.1	25.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	94	393	786	498	1,771	71	1,842
	パーセント	5.3	22.2	44.4	28.1	100.0		
【性別】								
男性	度数	61	227	417	161	866	28	894
	パーセント	7.0	26.2	48.2	18.6	100.0		
女性	度数	26	181	432	284	923	68	991
	パーセント	2.8	19.6	46.8	30.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	42	232	575	318	1,167	47	1,214
	パーセント	3.6	19.9	49.3	27.2	100.0		
65歳以上	度数	45	175	269	123	612	52	664
	パーセント	7.4	28.6	44.0	20.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	7	47	118	65	237	11	248
	パーセント	3.0	19.8	49.8	27.4	100.0		
仙台圏域	度数	15	49	112	54	230	19	249
	パーセント	6.5	21.3	48.7	23.5	100.0		
大崎圏域	度数	9	62	117	57	245	9	254
	パーセント	3.7	25.3	47.8	23.3	100.0		
栗原圏域	度数	16	81	118	71	286	19	305
	パーセント	5.6	28.3	41.3	24.8	100.0		
登米圏域	度数	15	62	116	70	263	16	279
	パーセント	5.7	23.6	44.1	26.6	100.0		
石巻圏域	度数	10	35	111	64	220	9	229
	パーセント	4.5	15.9	50.5	29.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	14	59	135	52	260	14	274
	パーセント	5.4	22.7	51.9	20.0	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は60.5%，
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は39.6%である。

性別

男性の『高関心群』は67.5%で、県全体より7.0ポイント高い。

女性の『高関心群』は54.2%で、県全体より6.3ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は59.0%で、県全体より1.5ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は64.0%で、県全体より3.5ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-10-2 取組10 関心度割合(属性別)

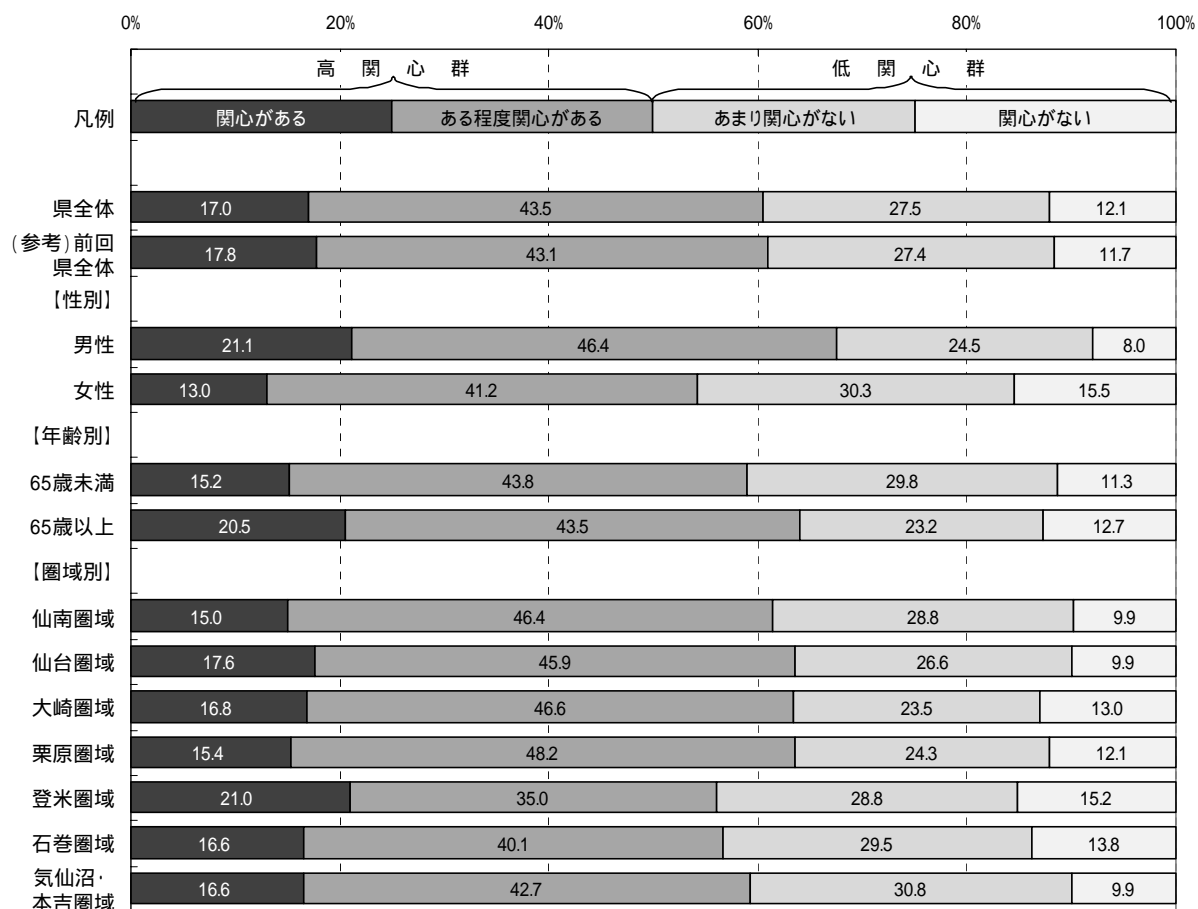


表2-2-10-2 取組10 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	302	774	489	216	1,781	163	1,944
	パーセント	17.0	43.5	27.5	12.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	307	746	474	202	1,729	113	1,842
	パーセント	17.8	43.1	27.4	11.7	100.0		
【性別】								
男性	度数	177	388	205	67	837	57	894
	パーセント	21.1	46.4	24.5	8.0	100.0		
女性	度数	117	372	273	140	902	89	991
	パーセント	13.0	41.2	30.3	15.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	175	504	343	130	1,152	62	1,214
	パーセント	15.2	43.8	29.8	11.3	100.0		
65歳以上	度数	119	253	135	74	581	83	664
	パーセント	20.5	43.5	23.2	12.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	35	108	67	23	233	15	248
	パーセント	15.0	46.4	28.8	9.9	100.0		
仙台圏域	度数	39	102	59	22	222	27	249
	パーセント	17.6	45.9	26.6	9.9	100.0		
大崎圏域	度数	40	111	56	31	238	16	254
	パーセント	16.8	46.6	23.5	13.0	100.0		
栗原圏域	度数	43	135	68	34	280	25	305
	パーセント	15.4	48.2	24.3	12.1	100.0		
登米圏域	度数	54	90	74	39	257	22	279
	パーセント	21.0	35.0	28.8	15.2	100.0		
石巻圏域	度数	36	87	64	30	217	12	229
	パーセント	16.6	40.1	29.5	13.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	42	108	78	25	253	21	274
	パーセント	16.6	42.7	30.8	9.9	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は64.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は14.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が81.9%、『低重視群』は18.0%となる。

性別

男性の『高重視群』は71.9%で、県全体より7.7ポイント高い。

女性の『高重視群』は57.6%で、県全体より6.6ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は64.5%で、県全体より0.3ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は65.2%で、県全体より1.0ポイント高い。

圏域別

栗原圏域の『高重視群』は69.4%で、県全体より5.2ポイント高い

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-10-3 取組10 重視度割合(属性別)

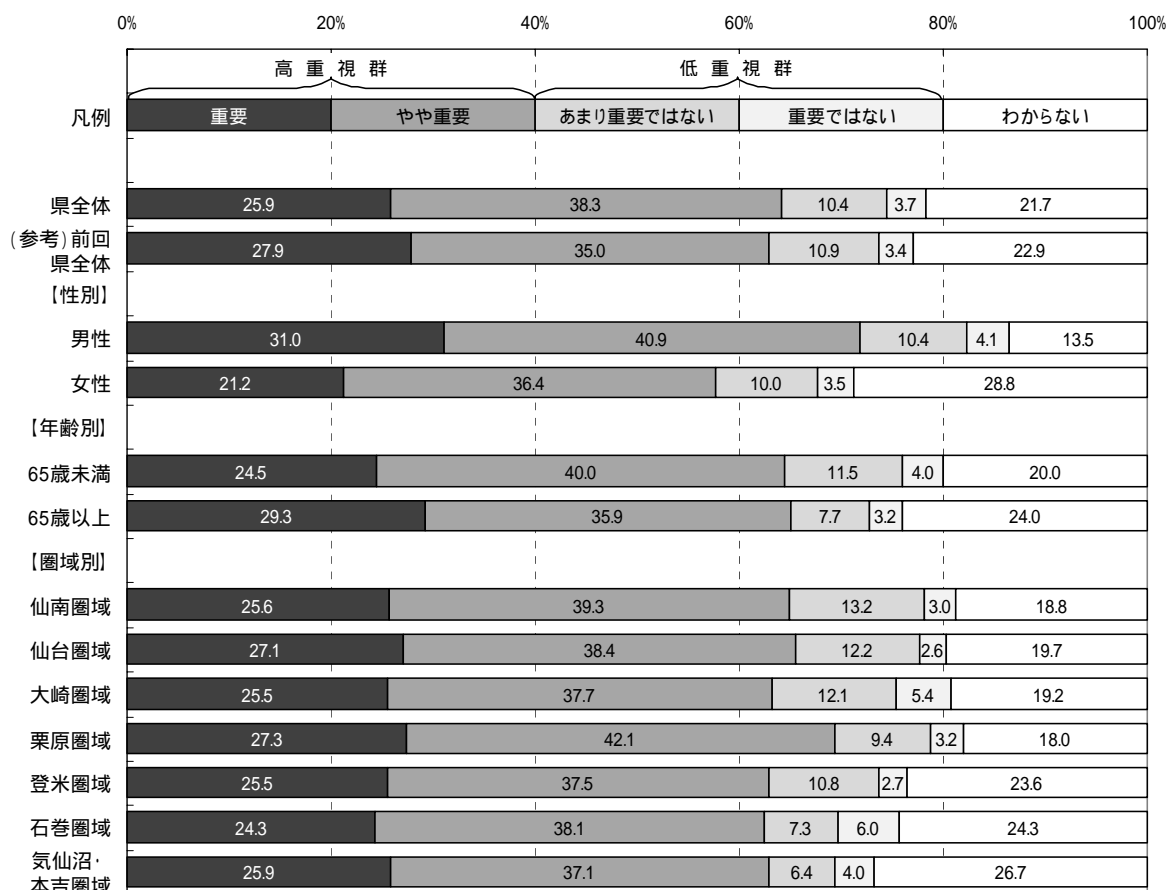


表2-2-10-3 取組10 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	464	687	186	67	390	1,794	150	1,944
	パーセント	25.9	38.3	10.4	3.7	21.7	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	33.0	48.9	13.2	4.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	487	611	190	59	400	1,747	95	1,842
	パーセント	27.9	35.0	10.9	3.4	22.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	262	345	88	35	114	844	50	894
	パーセント	31.0	40.9	10.4	4.1	13.5	100.0		
女性	度数	192	330	91	32	261	906	85	991
	パーセント	21.2	36.4	10.0	3.5	28.8	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	282	461	133	46	231	1,153	61	1,214
	パーセント	24.5	40.0	11.5	4.0	20.0	100.0		
65歳以上	度数	172	211	45	19	141	588	76	664
	パーセント	29.3	35.9	7.7	3.2	24.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	60	92	31	7	44	234	14	248
	パーセント	25.6	39.3	13.2	3.0	18.8	100.0		
仙台圏域	度数	62	88	28	6	45	229	20	249
	パーセント	27.1	38.4	12.2	2.6	19.7	100.0		
大崎圏域	度数	61	90	29	13	46	239	15	254
	パーセント	25.5	37.7	12.1	5.4	19.2	100.0		
栗原圏域	度数	76	117	26	9	50	278	27	305
	パーセント	27.3	42.1	9.4	3.2	18.0	100.0		
登米圏域	度数	66	97	28	7	61	259	20	279
	パーセント	25.5	37.5	10.8	2.7	23.6	100.0		
石巻圏域	度数	53	83	16	13	53	218	11	229
	パーセント	24.3	38.1	7.3	6.0	24.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	65	93	16	10	67	251	23	274
	パーセント	25.9	37.1	6.4	4.0	26.7	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は31.8%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は28.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が52.9%、『不満群』は47.1%となる。

性別

男性の『満足群』は34.6%で、県全体より2.8ポイント高い。

女性の『満足群』は29.3%で、県全体より2.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は28.7%で、県全体より3.1ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は38.7%で、県全体より6.9ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-10-4 取組10 満足度割合(属性別)

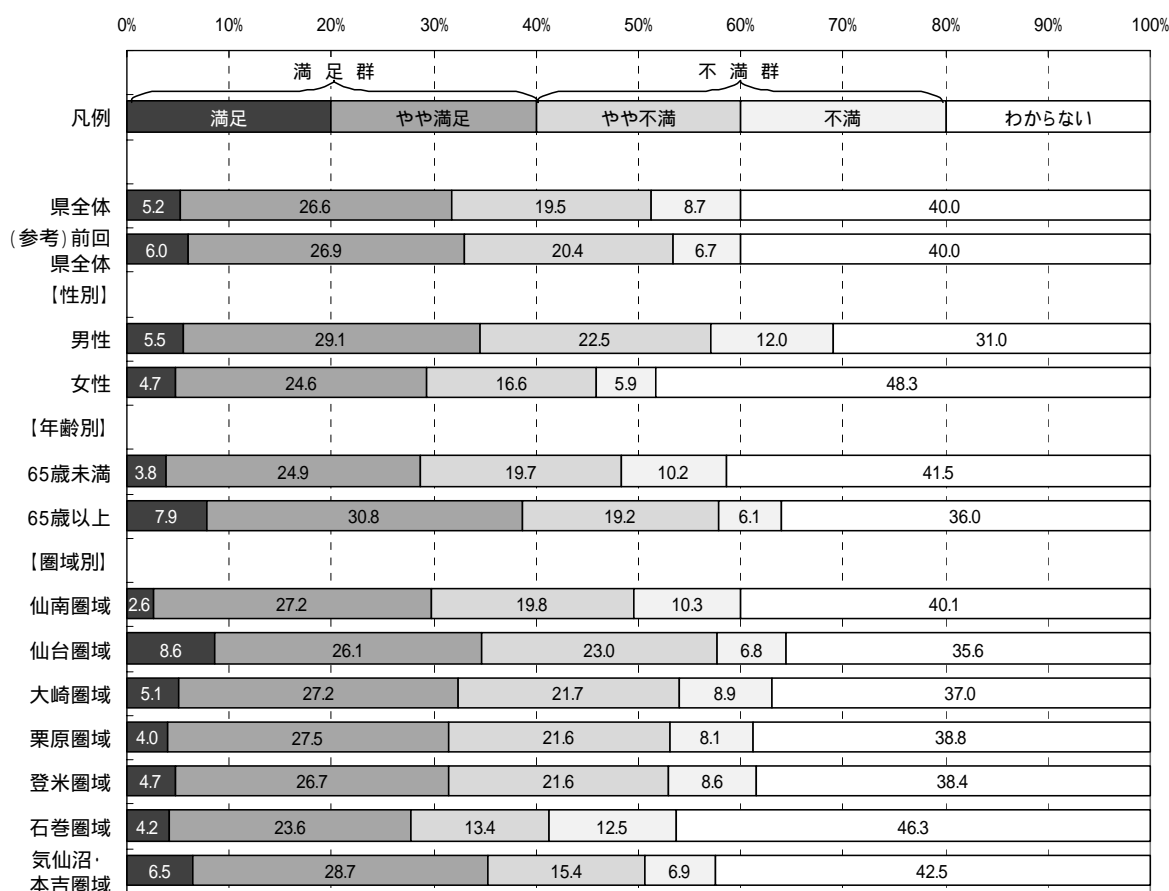


表2-2-10-4 取組10 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	91	469	344	154	706	1,764	180	1,944
	パーセント	5.2	26.6	19.5	8.7	40.0	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	8.6	44.3	32.5	14.6		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	104	464	351	115	690	1,724	118	1,842
	パーセント	6.0	26.9	20.4	6.7	40.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	46	243	188	100	259	836	58	894
	パーセント	5.5	29.1	22.5	12.0	31.0	100.0		
女性	度数	42	218	147	52	428	887	104	991
	パーセント	4.7	24.6	16.6	5.9	48.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	43	284	225	116	473	1,141	73	1,214
	パーセント	3.8	24.9	19.7	10.2	41.5	100.0		
65歳以上	度数	45	176	110	35	206	572	92	664
	パーセント	7.9	30.8	19.2	6.1	36.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	6	63	46	24	93	232	16	248
	パーセント	2.6	27.2	19.8	10.3	40.1	100.0		
仙台圏域	度数	19	58	51	15	79	222	27	249
	パーセント	8.6	26.1	23.0	6.8	35.6	100.0		
大崎圏域	度数	12	64	51	21	87	235	19	254
	パーセント	5.1	27.2	21.7	8.9	37.0	100.0		
栗原圏域	度数	11	75	59	22	106	273	32	305
	パーセント	4.0	27.5	21.6	8.1	38.8	100.0		
登米圏域	度数	12	68	55	22	98	255	24	279
	パーセント	4.7	26.7	21.6	8.6	38.4	100.0		
石巻圏域	度数	9	51	29	27	100	216	13	229
	パーセント	4.2	23.6	13.4	12.5	46.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	16	71	38	17	105	247	27	274
	パーセント	6.5	28.7	15.4	6.9	42.5	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組10に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 社会情勢の変化や国際化に対応し、事業のチャンスをとらえ、県経済をリードする次代のリーダーや起業家的人材の育成・定着
- イ 企業での実習と学校での座学を並行して行うなど、学校と地域企業が一体となった産業人材の育成
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の、個々の能力や実績に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 宮城県の基幹産業である製造業の発展を担うものづくり人材の育成体制づくり
- オ 県内大学等への留学生をはじめとした高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進
- カ まちづくりと連携した、地域の活性化につながる商店街づくりを行いつつ、安定した経営ができる人材の育成
- キ 社会情勢の変化に対応しながら、次代の農林水産業を担う人材・後継者の育成確保

(参考:目標とする宮城の姿)

新たな事業モデルを立案し、実行できる人材や、新分野に挑戦したり、技術革新を進めたりできる人材が育成されています。
 職業に関する高い意識や勤労意欲を持つ就労者や学生、起業意欲のある人材が増えています。
 県内製造業の技術革新を支える人材が確保されています。また、団塊の世代の退職後も、技術が引き継がれています。
 優秀な留学生が県内企業に就職し、活躍しています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ(ウ)	ウ(キ)	ウ	ウ	ウ
第2位:	キ(キ)	-	キ	キ	キ
第3位:	ア(イ)	ア	イ	イ	ア

ウ,キ同率

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
第3位:	ア	カ	ア	ア	ア	イ	カ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

()内は、前回の優先順位

図2-2-10-5 取組10 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

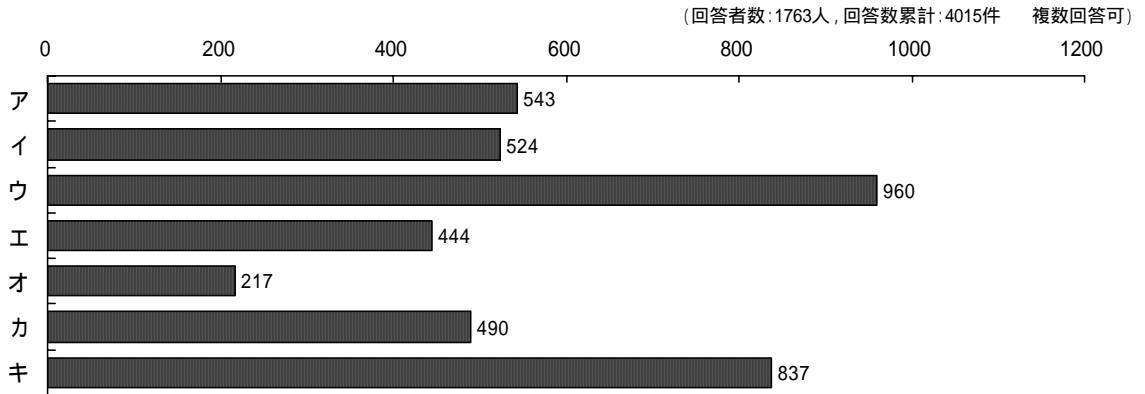
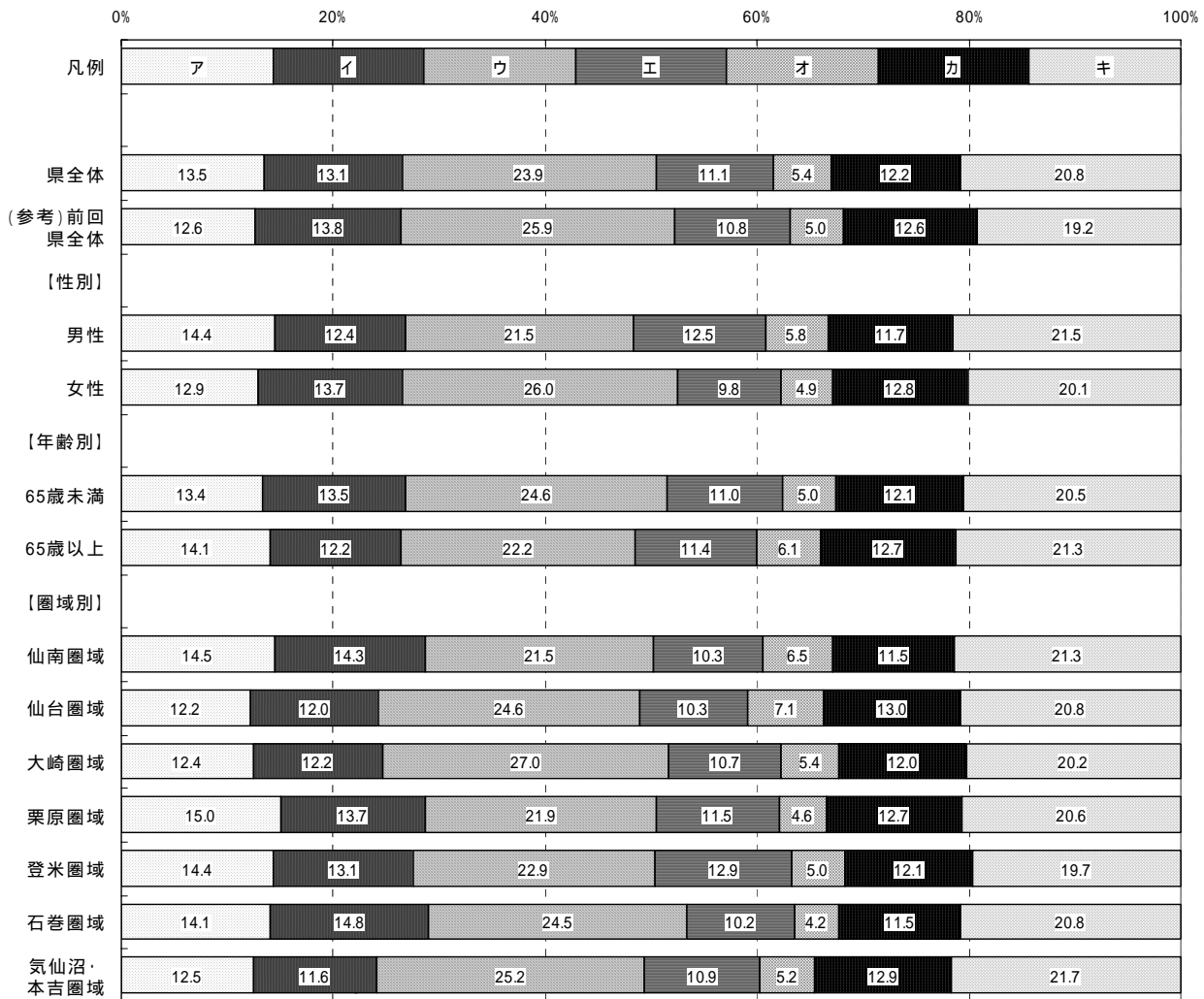


図2-2-10-6 取組10 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 10 「産業活動の基礎となる人材の育成・確保」

取組 1 1 経営力の向上と経営基盤の強化



取組概要

中小企業等の経営力向上や農林水産業の生産・販売力強化のための経営支援体制を充実していくとともに、融資制度の充実など多様な資金調達環境の整備に取り組み、社会情勢の変化に的確に対応できる経営体の育成を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

県内の中小企業をサポートする（財）みやぎ産業振興機構を通じて、起業から、ビジネスプランの作成、販路開拓までを一貫して支援しています。

経営安定一般資金、セーフティネット資金、創業育成資金など長期低利の県制度資金により、県内中小企業の円滑な資金調達を支援しています。

集落営農組織が農業の担い手として、安定的な経営が図られるよう、経営計画の作成や新たな作物の導入などを支援しています。

国営土地改良事業の農家負担金について、金融機関などから低利資金を調達し、一括して繰上償還を行い、農家負担の軽減を図っています。

積極的に経営基盤や経営体質の強化に取り組む建設業者を支援するため、各種支援講座を開催するとともに、地域密着型経営を目指すモデル的建設業者育成を行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は29.2%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は70.8%である。
また前回の『高認知群』は19.9%で、今回は前回より9.3ポイント高い。

性別

男性の『高認知群』は36.4%で、県全体より7.2ポイント高い。

女性の『高認知群』は22.5%で、県全体より6.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は27.9%で、県全体より1.3ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は32.2%で、県全体より3.0ポイント高い。

圏域別

栗原圏域の『高認知群』は34.8%で、県全体より5.6ポイント高い。

登米圏域の『高認知群』は36.3%で、県全体より7.1ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は23.2%で、県全体より6.0ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 11 - 1 取組 11 認知度割合(属性別)

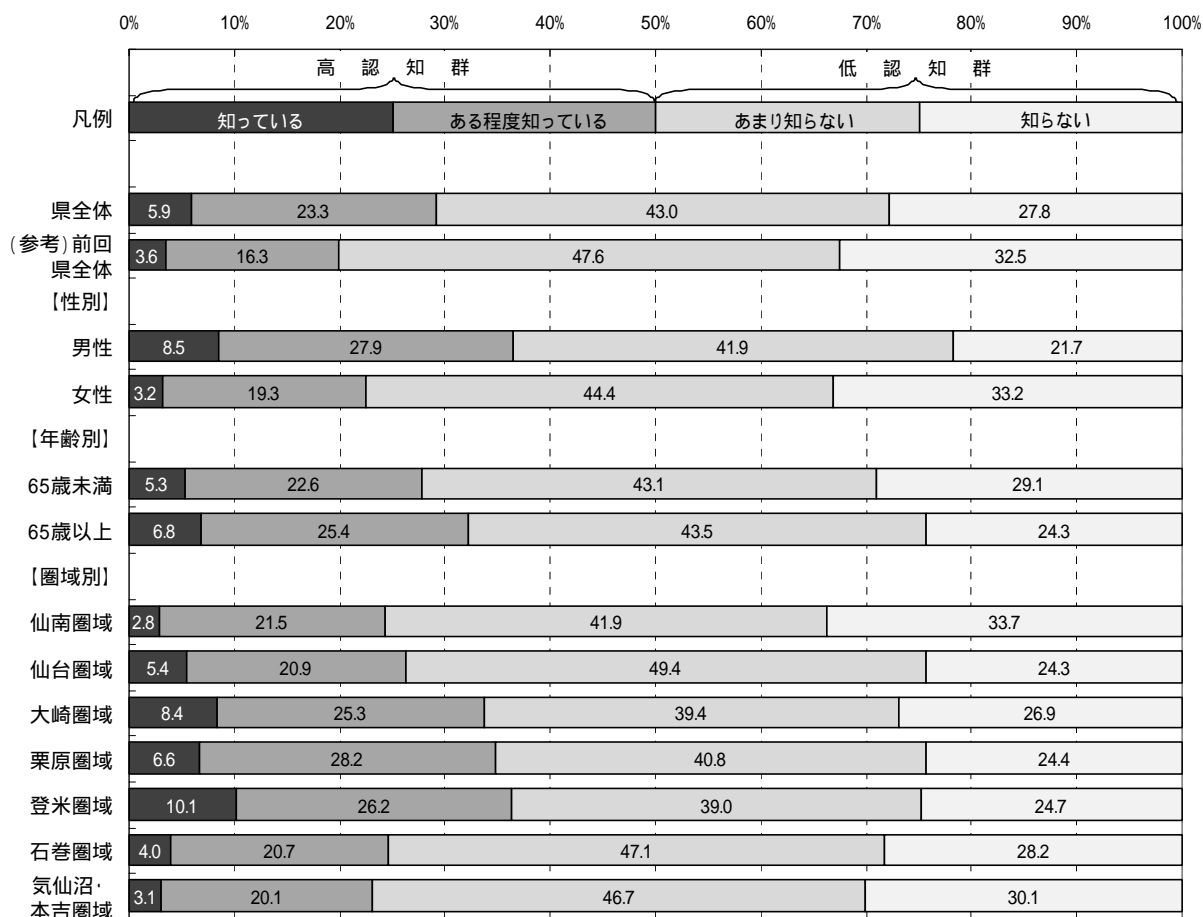


表 2 - 2 - 11 - 1 取組 11 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	110	434	801	517	1,862	82	1,944
	パーセント	5.9	23.3	43.0	27.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	63	289	842	574	1,768	74	1,842
	パーセント	3.6	16.3	47.6	32.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	75	245	368	191	879	15	894
	パーセント	8.5	27.9	41.9	21.7	100.0		
女性	度数	30	181	417	312	940	51	991
	パーセント	3.2	19.3	44.4	33.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	63	269	513	346	1,191	23	1,214
	パーセント	5.3	22.6	43.1	29.1	100.0		
65歳以上	度数	42	157	269	150	618	46	664
	パーセント	6.8	25.4	43.5	24.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	7	53	103	83	246	2	248
	パーセント	2.8	21.5	41.9	33.7	100.0		
仙台圏域	度数	13	50	118	58	239	10	249
	パーセント	5.4	20.9	49.4	24.3	100.0		
大崎圏域	度数	21	63	98	67	249	5	254
	パーセント	8.4	25.3	39.4	26.9	100.0		
栗原圏域	度数	19	81	117	70	287	18	305
	パーセント	6.6	28.2	40.8	24.4	100.0		
登米圏域	度数	27	70	104	66	267	12	279
	パーセント	10.1	26.2	39.0	24.7	100.0		
石巻圏域	度数	9	47	107	64	227	2	229
	パーセント	4.0	20.7	47.1	28.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	52	121	78	259	15	274
	パーセント	3.1	20.1	46.7	30.1	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は51.6%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は48.4%である。
また前回の『高関心群』は45.7%で、今回は前回より5.9ポイント高い。

性別

男性の『高関心群』は61.3%で、県全体より9.7ポイント高い。

女性の『高関心群』は42.4%で、県全体より9.2ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は51.4%で、県全体より0.2ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は52.2%で、県全体より0.6ポイント高い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は44.4%で、県全体より7.2ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 11 - 2 取組 11 関心度割合(属性別)

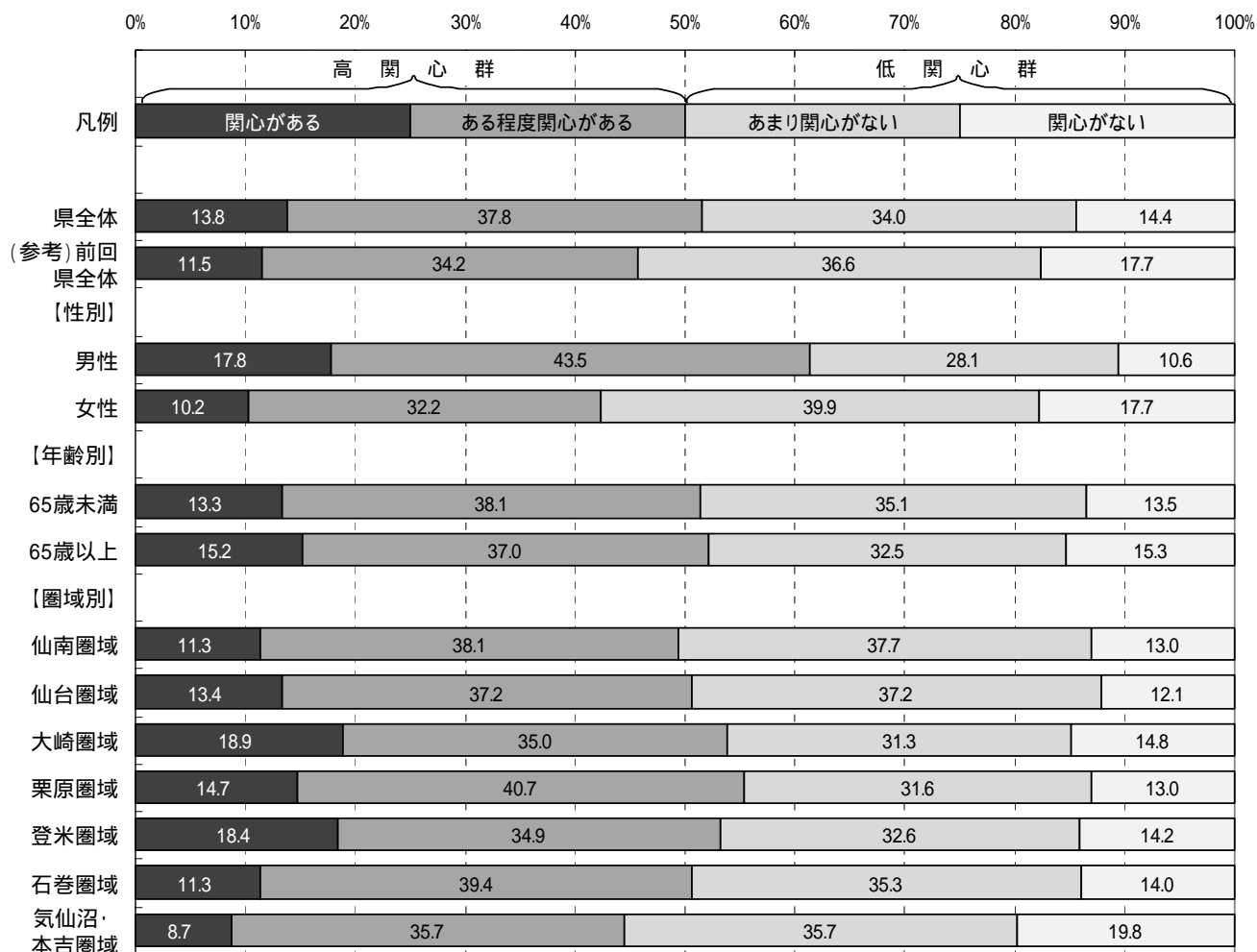


表 2 - 2 - 11 - 2 取組 11 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	251	686	617	262	1,816	128	1,944
	パーセント	13.8	37.8	34.0	14.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	197	585	625	302	1,709	133	1,842
	パーセント	11.5	34.2	36.6	17.7	100.0		
【性別】								
男性	度数	152	372	240	91	855	39	894
	パーセント	17.8	43.5	28.1	10.6	100.0		
女性	度数	94	296	367	163	920	71	991
	パーセント	10.2	32.2	39.9	17.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	156	447	411	158	1,172	42	1,214
	パーセント	13.3	38.1	35.1	13.5	100.0		
65歳以上	度数	90	220	193	91	594	70	664
	パーセント	15.2	37.0	32.5	15.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	27	91	90	31	239	9	248
	パーセント	11.3	38.1	37.7	13.0	100.0		
仙台圏域	度数	31	86	86	28	231	18	249
	パーセント	13.4	37.2	37.2	12.1	100.0		
大崎圏域	度数	46	85	76	36	243	11	254
	パーセント	18.9	35.0	31.3	14.8	100.0		
栗原圏域	度数	42	116	90	37	285	20	305
	パーセント	14.7	40.7	31.6	13.0	100.0		
登米圏域	度数	48	91	85	37	261	18	279
	パーセント	18.4	34.9	32.6	14.2	100.0		
石巻圏域	度数	25	87	78	31	221	8	229
	パーセント	11.3	39.4	35.3	14.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	22	90	90	50	252	22	274
	パーセント	8.7	35.7	35.7	19.8	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は57.1%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は16.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が77.6%、『低重視群』は22.4%となる。

また、前回の『高重視群』は52.7%で、今回は前回より4.4ポイント高い。

性別

男性の『高重視群』は65.1%で、県全体より8.0ポイント高い。

女性の『高重視群』は49.8%で、県全体より7.3ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は56.6%で、県全体より0.5ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は58.9%で、県全体より1.8ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-11-3 取組11 重視度割合(属性別)

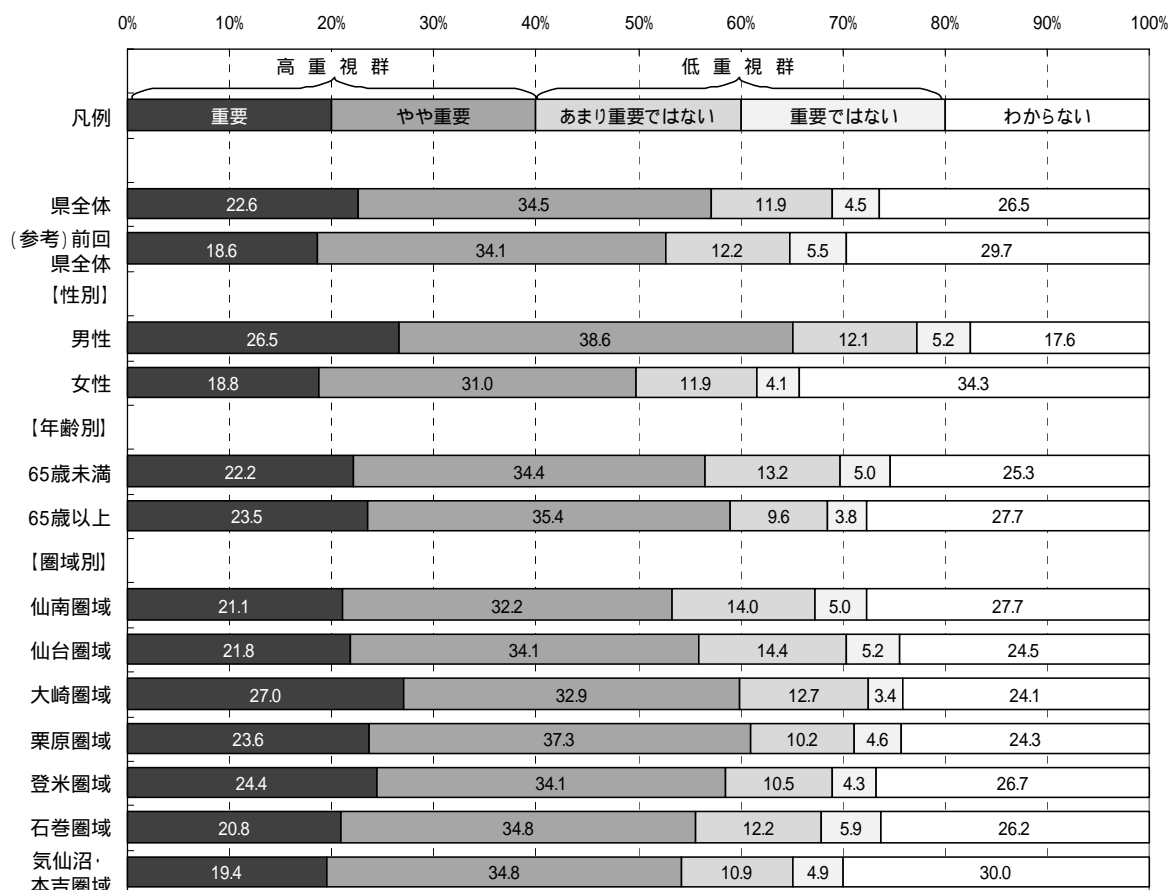


表 2 - 2 - 1 1 - 3 取組 1 1 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	407	622	215	82	477	1,803	141	1,944
	パーセント	22.6	34.5	11.9	4.5	26.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	30.7	46.9	16.2	6.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	315	579	207	93	504	1,698	144	1,842
	パーセント	18.6	34.1	12.2	5.5	29.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	225	328	103	44	149	849	45	894
	パーセント	26.5	38.6	12.1	5.2	17.6	100.0		
女性	度数	171	282	108	37	312	910	81	991
	パーセント	18.8	31.0	11.9	4.1	34.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	259	401	154	58	295	1,167	47	1,214
	パーセント	22.2	34.4	13.2	5.0	25.3	100.0		
65歳以上	度数	137	206	56	22	161	582	82	664
	パーセント	23.5	35.4	9.6	3.8	27.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	51	78	34	12	67	242	6	248
	パーセント	21.1	32.2	14.0	5.0	27.7	100.0		
仙台圏域	度数	50	78	33	12	56	229	20	249
	パーセント	21.8	34.1	14.4	5.2	24.5	100.0		
大崎圏域	度数	64	78	30	8	57	237	17	254
	パーセント	27.0	32.9	12.7	3.4	24.1	100.0		
栗原圏域	度数	67	106	29	13	69	284	21	305
	パーセント	23.6	37.3	10.2	4.6	24.3	100.0		
登米圏域	度数	63	88	27	11	69	258	21	279
	パーセント	24.4	34.1	10.5	4.3	26.7	100.0		
石巻圏域	度数	46	77	27	13	58	221	8	229
	パーセント	20.8	34.8	12.2	5.9	26.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	48	86	27	12	74	247	27	274
	パーセント	19.4	34.8	10.9	4.9	30.0	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は26.5%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は31.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が45.8%、『不満群』は54.3%となる。

性別

男性の『満足群』は29.6%で、県全体より3.1ポイント高い。

女性の『満足群』は23.8%で、県全体より2.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は23.3%で、県全体より3.2ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は33.2%で、県全体より6.7ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 11 - 4 取組11 満足度割合(属性別)

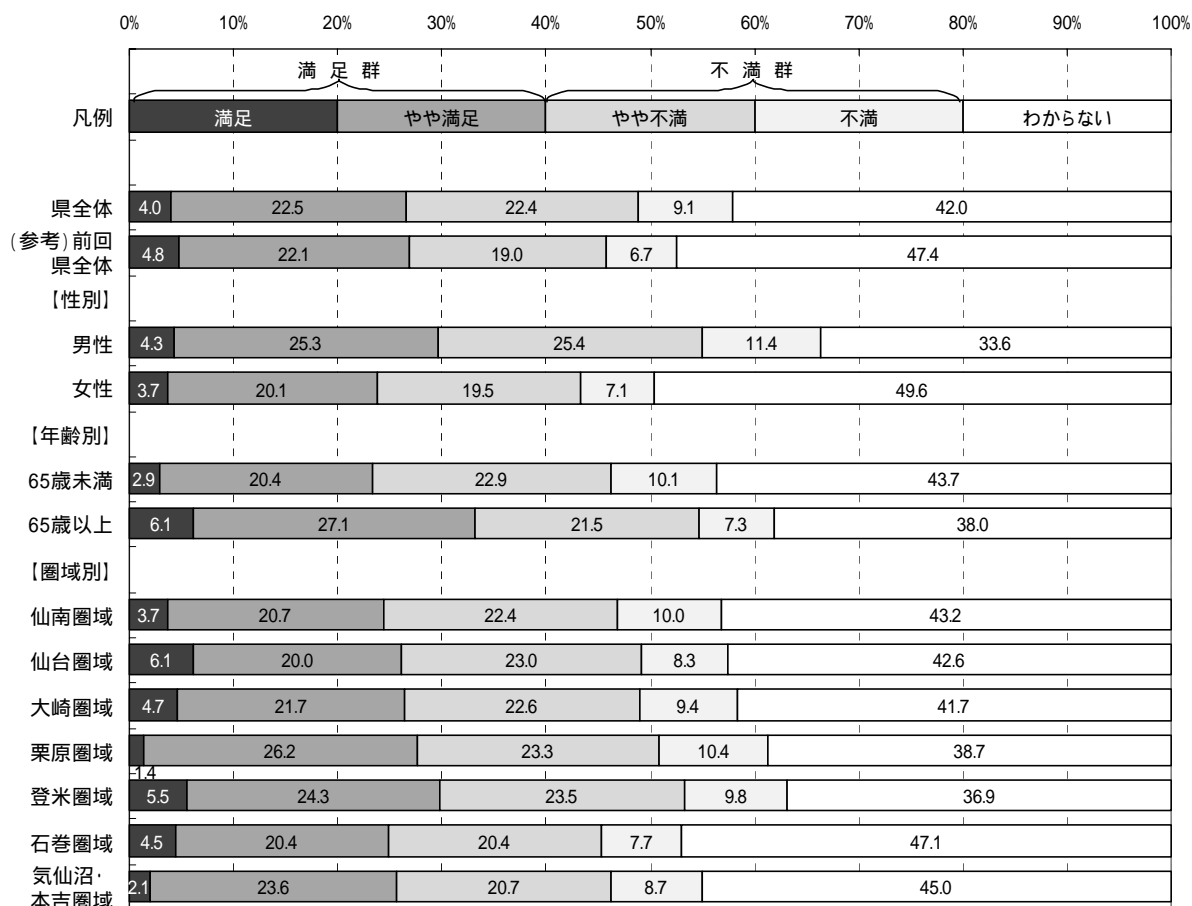


表2-2-11-4 取組11 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	72	401	399	162	750	1,784	160	1,944
	パーセント	4.0	22.5	22.4	9.1	42.0	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	7.0	38.8	38.6	15.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	80	371	320	113	798	1,682	160	1,842
	パーセント	4.8	22.1	19.0	6.7	47.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	36	213	214	96	283	842	52	894
	パーセント	4.3	25.3	25.4	11.4	33.6	100.0		
女性	度数	33	181	176	64	447	901	90	991
	パーセント	3.7	20.1	19.5	7.1	49.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	34	237	266	117	507	1,161	53	1,214
	パーセント	2.9	20.4	22.9	10.1	43.7	100.0		
65歳以上	度数	35	155	123	42	218	573	91	664
	パーセント	6.1	27.1	21.5	7.3	38.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	9	50	54	24	104	241	7	248
	パーセント	3.7	20.7	22.4	10.0	43.2	100.0		
仙台圏域	度数	14	46	53	19	98	230	19	249
	パーセント	6.1	20.0	23.0	8.3	42.6	100.0		
大崎圏域	度数	11	51	53	22	98	235	19	254
	パーセント	4.7	21.7	22.6	9.4	41.7	100.0		
栗原圏域	度数	4	73	65	29	108	279	26	305
	パーセント	1.4	26.2	23.3	10.4	38.7	100.0		
登米圏域	度数	14	62	60	25	94	255	24	279
	パーセント	5.5	24.3	23.5	9.8	36.9	100.0		
石巻圏域	度数	10	45	45	17	104	221	8	229
	パーセント	4.5	20.4	20.4	7.7	47.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	5	57	50	21	109	242	32	274
	パーセント	2.1	23.6	20.7	8.7	45.0	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 1 1 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 起業家の育成や事業計画の作成支援など、産業支援機関等と連携したさまざまな経営支援体制の充実
- イ 農林水産業の経営の基礎を固めるための支援と、社会情勢に応じた経営のできる人材育成
- ウ 社会情勢に的確に対応できる経営体の育成のため、商工会議所、農業協同組合など産業界との関連団体と連携して行う情報提供や相談機能強化
- エ 自動車関連産業や食品関連産業など、成長が見込まれ経済の中核をなす業種を、重点的に支援するための制度融資の充実
- オ ファンドや証券化の手法を活用した資金供給、企業の成長性を評価する融資制度づくりなど、中小企業にとっても利用しやすいさまざまな資金調達手段の整備

(参考:目標とする宮城の姿)

優れた経営能力を持つ経営者が増え、時代の変化を先取りすることで高い収益を上げる農業者や企業が増えています。

ベンチャー企業や新しい市場に積極的に進出する企業が増えています。

企業の成長段階に応じてさまざまな資金調達ができる環境が整い、活発な企業活動が行われています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第2位:	ウ(ウ)	ウ	ウ	ウ	ウ
第3位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第2位:	ア	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第3位:	ウ	エ	エ	ア	ア	ア	ア

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

()内は、前回の優先順位

図 2 - 2 - 11 - 5 取組 1 1 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

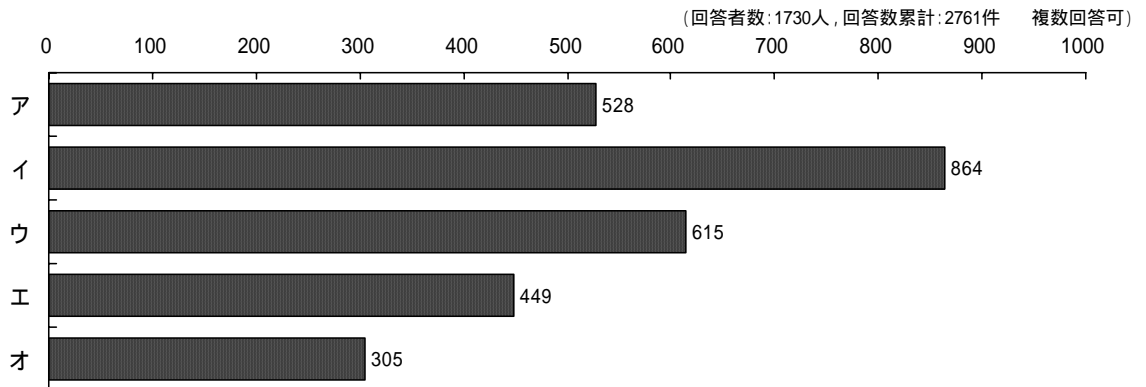
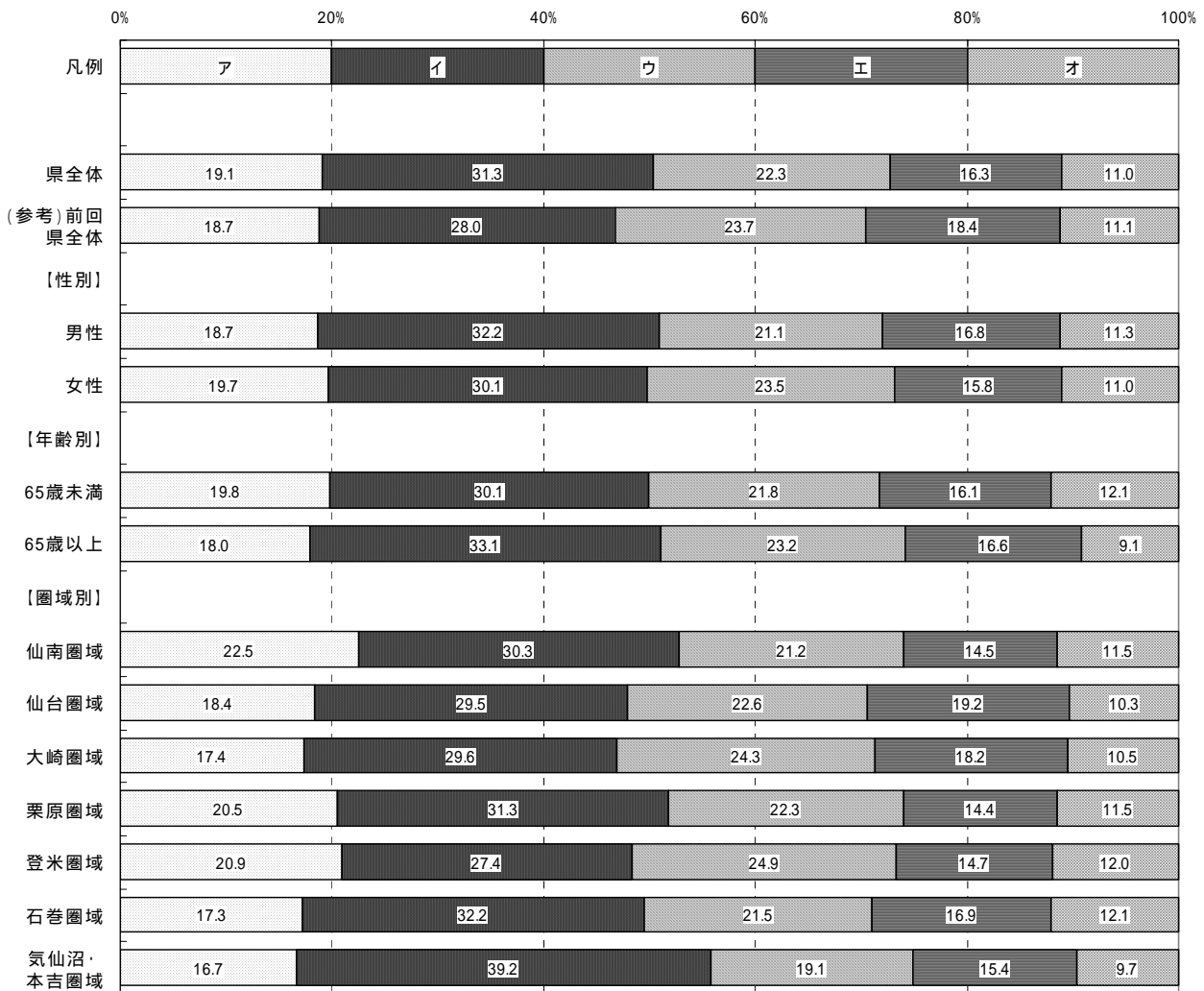


図 2 - 2 - 11 - 6 取組 1 1 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 1 2 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備



取組概要

県内産業の飛躍のためには、その基盤となる交通・物流基盤の整備が不可欠です。そのため、空港・港湾の機能強化を進めるとともに、それらの活用促進を目指します。また、県内外の連携や交流促進のため高規格幹線道路をはじめとする広域道路ネットワークの整備を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

地域間の活発な交流を支える高速交通を確保するため、三陸縦貫自動車道等の自動車専用道路ネットワークの整備を促進しています。

[参考] ・三陸縦貫自動車道 桃生津山 I.C ~ 登米 I.C 間 (平成 20 年度末開通予定)
 ・仙台北部道路と東北縦貫自動車道を接続する(仮称)富谷 JCT (平成 21 年度完成予定)

日本の輸出入貨物量の 99% 以上が港湾を通じて行われるなかで、年々増加する仙台国際貿易港のコンテナ貨物取扱量に対応するため、高砂コンテナターミナルの施設整備と、同港の利用促進活動を実施しています。

[参考] 仙台塩釜港(仙台港区) 平成 20 年上半期 入港船舶数:3,247 隻, 取扱貨物量:18 百万フレートン
 フレートン:港湾貨物取扱量の単位

石巻港雲雀野^{ひばりの}地区の船舶接岸の安全性を向上させるため、南防波堤と西防波堤の整備を進めています。

[参考] 石巻港 平成 20 年上半期 入港船舶数 2,697 隻 取扱貨物量 2 百万フレートン

仙台国際貿易港のゲートウェイ機能(東北地方と世界各国を結ぶ物流の結節点としての機能)と仙台東部道路等の交通網を生かし、東北の産業経済拠点として機能を強化するため、仙台港背後地に商業・流通業務地区等を整備しています。

[参考] アウトレットモールを中心とする商業施設(三井アウトレットパーク仙台港)開業 (平成 20 年 9 月)

仙台空港の国内路線及び国際路線の維持と増便を図るため、各種 PR 活動により仙台空港の広域的な利用を促進するとともに、新規路線の開設を目指して航空会社等に対する誘致活動を行っています。

[参考] 仙台空港定期路線 国内線 9 路線, 国際線 6 路線 (平成 20 年 12 月時点)

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は51.5%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は48.5%である。
また、前回の『高認知群』は46.5%で、今回は前回より5.0ポイント高い。

性別

男性の『高認知群』は59.1%で、県全体より7.6ポイント高い。

女性の『高認知群』は45.2%で、県全体より6.3ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は53.5%で、県全体より2.0ポイント高い。

65歳以上の『高認知群』は48.9%で、県全体より2.6ポイント低い。

圏域別

仙台圏域の『高認知群』は42.3%で、県全体より9.2ポイント低い。

大崎圏域の『高認知群』は44.8%で、県全体より6.7ポイント低い。

栗原圏域の『高認知群』は45.5%で、県全体より6.0ポイント低い。

登米圏域の『高認知群』は64.7%で、県全体より13.2ポイント高い。

石巻圏域の『高認知群』は59.2%で、県全体より7.7ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は60.4%で、県全体より8.9ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 12 - 1 取組12 認知度割合(属性別)

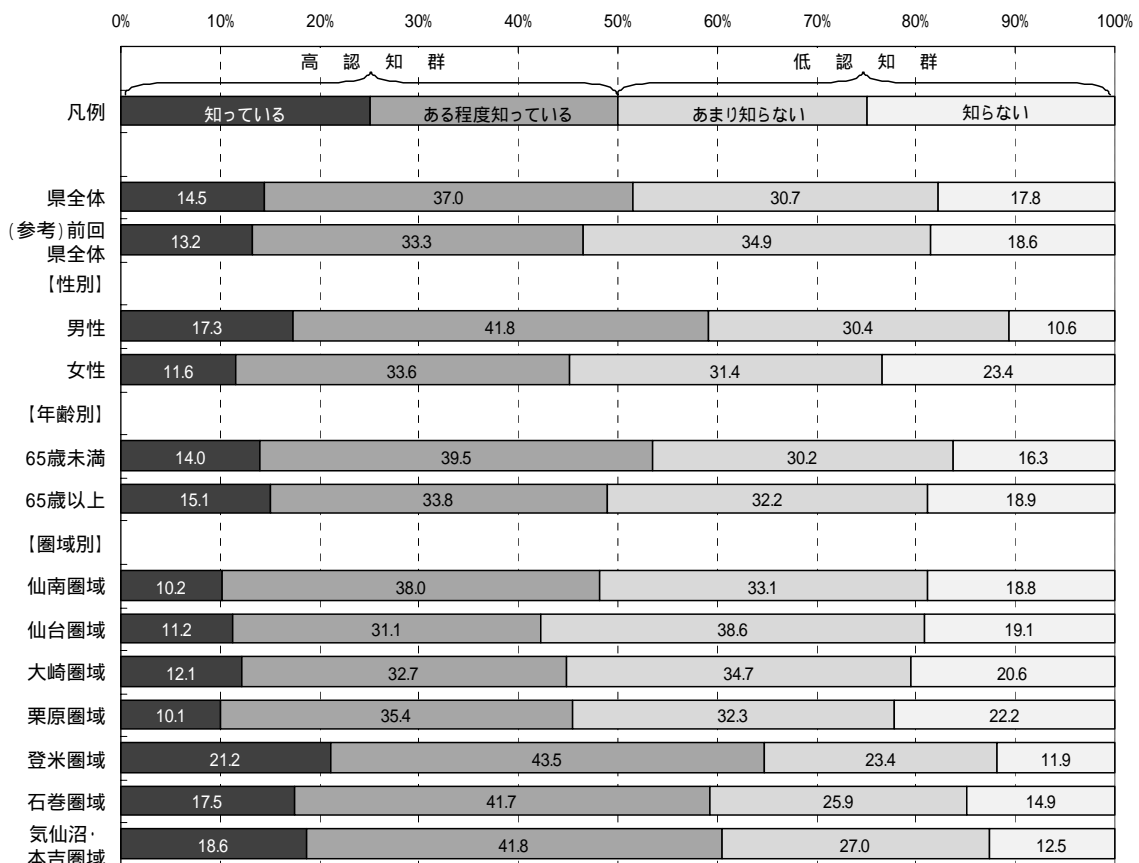


表2-2-12-1 取組12 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	272	693	576	334	1,875	69	1,944
	パーセント	14.5	37.0	30.7	17.8	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	233	588	617	328	1,766	76	1,842
	パーセント	13.2	33.3	34.9	18.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	152	367	267	93	879	15	894
	パーセント	17.3	41.8	30.4	10.6	100.0		
女性	度数	110	319	298	222	949	42	991
	パーセント	11.6	33.6	31.4	23.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	167	472	361	195	1,195	19	1,214
	パーセント	14.0	39.5	30.2	16.3	100.0		
65歳以上	度数	94	211	201	118	624	40	664
	パーセント	15.1	33.8	32.2	18.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	25	93	81	46	245	3	248
	パーセント	10.2	38.0	33.1	18.8	100.0		
仙台圏域	度数	27	75	93	46	241	8	249
	パーセント	11.2	31.1	38.6	19.1	100.0		
大崎圏域	度数	30	81	86	51	248	6	254
	パーセント	12.1	32.7	34.7	20.6	100.0		
栗原圏域	度数	29	102	93	64	288	17	305
	パーセント	10.1	35.4	32.3	22.2	100.0		
登米圏域	度数	57	117	63	32	269	10	279
	パーセント	21.2	43.5	23.4	11.9	100.0		
石巻圏域	度数	40	95	59	34	228	1	229
	パーセント	17.5	41.7	25.9	14.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	49	110	71	33	263	11	274
	パーセント	18.6	41.8	27.0	12.5	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は66.9%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は33.2%である。
また、前回の『高関心群』は61.9%で、今回は前回より5.0ポイント高い。

性別

男性の『高関心群』は73.9%で、県全体より7.0ポイント高い。

女性の『高関心群』は60.5%で、県全体より6.4ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は67.5%で、県全体より0.6ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は66.1%で、県全体より0.8ポイント低い。

圏域別

仙台圏域の『高関心群』は60.5%で、県全体より6.4ポイント低い。

大崎圏域の『高関心群』は60.1%で、県全体より6.8ポイント低い。

栗原圏域の『高関心群』は57.3%で、県全体より9.6ポイント低い。

登米圏域の『高関心群』は77.4%で、県全体より10.5ポイント高い。

石巻圏域の『高関心群』は72.4%で、県全体より5.5ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は72.3%で、県全体より5.4ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 12 - 2 取組12 関心度割合(属性別)

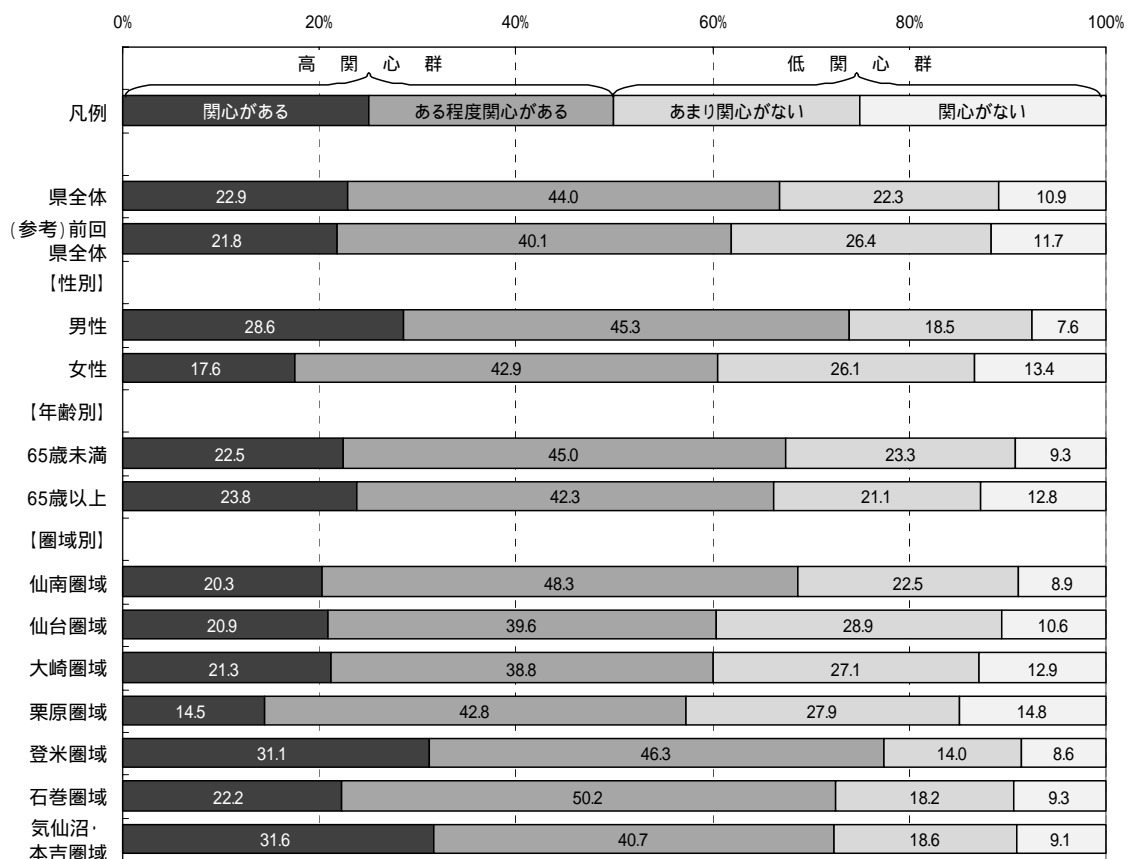


表2-2-12-2 取組12 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	415	797	404	197	1,813	131	1,944
	パーセント	22.9	44.0	22.3	10.9	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	374	688	453	201	1,716	126	1,842
	パーセント	21.8	40.1	26.4	11.7	100.0		
【性別】								
男性	度数	246	389	159	65	859	35	894
	パーセント	28.6	45.3	18.5	7.6	100.0		
女性	度数	160	391	238	122	911	80	991
	パーセント	17.6	42.9	26.1	13.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	264	528	273	109	1,174	40	1,214
	パーセント	22.5	45.0	23.3	9.3	100.0		
65歳以上	度数	140	249	124	75	588	76	664
	パーセント	23.8	42.3	21.1	12.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	48	114	53	21	236	12	248
	パーセント	20.3	48.3	22.5	8.9	100.0		
仙台圏域	度数	49	93	68	25	235	14	249
	パーセント	20.9	39.6	28.9	10.6	100.0		
大崎圏域	度数	51	93	65	31	240	14	254
	パーセント	21.3	38.8	27.1	12.9	100.0		
栗原圏域	度数	41	121	79	42	283	22	305
	パーセント	14.5	42.8	27.9	14.8	100.0		
登米圏域	度数	80	119	36	22	257	22	279
	パーセント	31.1	46.3	14.0	8.6	100.0		
石巻圏域	度数	50	113	41	21	225	4	229
	パーセント	22.2	50.2	18.2	9.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	80	103	47	23	253	21	274
	パーセント	31.6	40.7	18.6	9.1	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は66.6%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は13.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が82.8%、『低重視群』は17.2%となる。

性別

男性の『高重視群』は73.8%で、県全体より7.2ポイント高い。

女性の『高重視群』は60.5%で、県全体より6.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は66.7%で、県全体より0.1ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は67.3%で、県全体より0.7ポイント高い。

圏域別

栗原圏域の『高重視群』は57.2%で、県全体より9.4ポイント低い。

登米圏域の『高重視群』は73.9%で、県全体より7.3ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は、73.0%で、県全体より6.4ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 12 - 3 取組12 重視度割合(属性別)

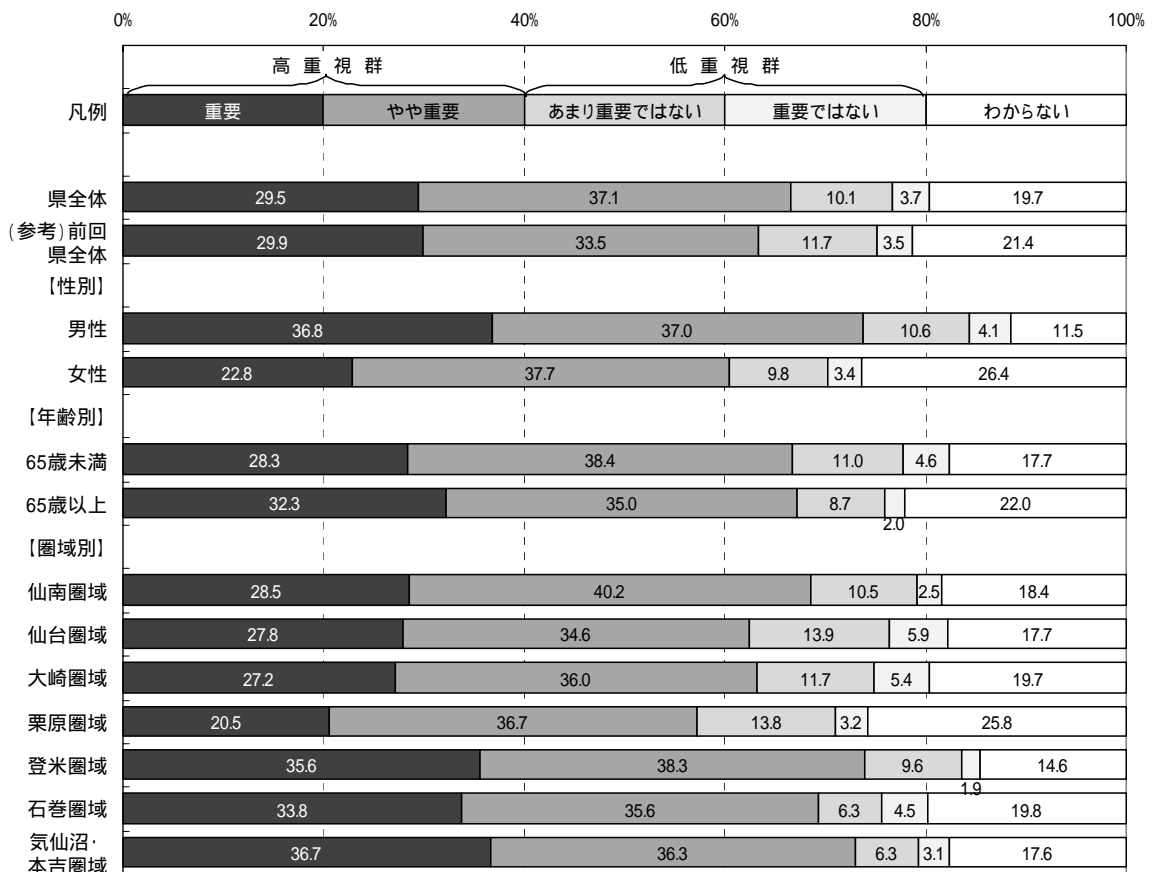


表2-2-12-3 取組12 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	538	677	185	67	359	1,826	118	1,944
	パーセント	29.5	37.1	10.1	3.7	19.7	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	36.7	46.1	12.6	4.6		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	516	579	202	61	369	1,727	115	1,842
	パーセント	29.9	33.5	11.7	3.5	21.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	316	318	91	35	99	859	35	894
	パーセント	36.8	37.0	10.6	4.1	11.5	100.0		
女性	度数	210	347	90	31	243	921	70	991
	パーセント	22.8	37.7	9.8	3.4	26.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	336	455	131	54	210	1,186	28	1,214
	パーセント	28.3	38.4	11.0	4.6	17.7	100.0		
65歳以上	度数	189	205	51	12	129	586	78	664
	パーセント	32.3	35.0	8.7	2.0	22.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	68	96	25	6	44	239	9	248
	パーセント	28.5	40.2	10.5	2.5	18.4	100.0		
仙台圏域	度数	66	82	33	14	42	237	12	249
	パーセント	27.8	34.6	13.9	5.9	17.7	100.0		
大崎圏域	度数	65	86	28	13	47	239	15	254
	パーセント	27.2	36.0	11.7	5.4	19.7	100.0		
栗原圏域	度数	58	104	39	9	73	283	22	305
	パーセント	20.5	36.7	13.8	3.2	25.8	100.0		
登米圏域	度数	93	100	25	5	38	261	18	279
	パーセント	35.6	38.3	9.6	1.9	14.6	100.0		
石巻圏域	度数	75	79	14	10	44	222	7	229
	パーセント	33.8	35.6	6.3	4.5	19.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	94	93	16	8	45	256	18	274
	パーセント	36.7	36.3	6.3	3.1	17.6	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は42.8%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は25.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が62.5%、『不満群』は37.5%となる。

また、前回の『満足群』は38.2%で、今回は前回より4.6ポイント高い。

性別

男性の『満足群』は47.6%で、県全体より4.8ポイント高い。

女性の『満足群』は38.9%で、県全体より3.9ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は41.1%で、県全体より1.7ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は47.4%で、県全体より4.6ポイント高い。

圏域別

栗原圏域の『満足群』は37.3%で、県全体より5.5ポイント低い。

登米圏域の『満足群』は53.1%で、県全体より10.3ポイント高い

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 12 - 4 取組12 満足度割合(属性別)

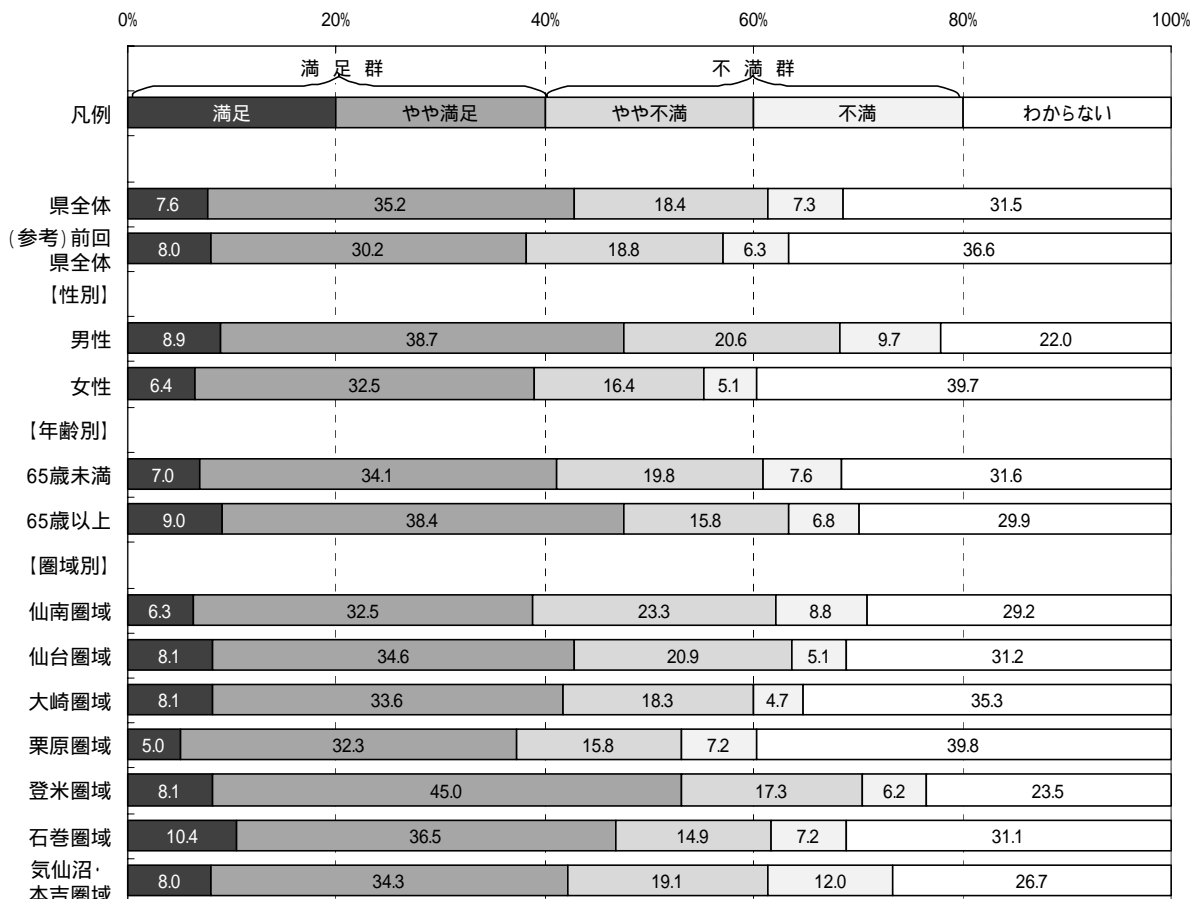


表2-2-12-4 取組12 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	138	636	333	131	568	1,806	138	1,944
	パーセント	7.6	35.2	18.4	7.3	31.5	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	11.1	51.4	26.9	10.6		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	136	514	320	108	623	1,701	141	1,842
	パーセント	8.0	30.2	18.8	6.3	36.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	76	330	176	83	188	853	41	894
	パーセント	8.9	38.7	20.6	9.7	22.0	100.0		
女性	度数	58	296	149	46	361	910	81	991
	パーセント	6.4	32.5	16.4	5.1	39.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	82	402	233	89	372	1,178	36	1,214
	パーセント	7.0	34.1	19.8	7.6	31.6	100.0		
65歳以上	度数	52	221	91	39	172	575	89	664
	パーセント	9.0	38.4	15.8	6.8	29.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	15	78	56	21	70	240	8	248
	パーセント	6.3	32.5	23.3	8.8	29.2	100.0		
仙台圏域	度数	19	81	49	12	73	234	15	249
	パーセント	8.1	34.6	20.9	5.1	31.2	100.0		
大崎圏域	度数	19	79	43	11	83	235	19	254
	パーセント	8.1	33.6	18.3	4.7	35.3	100.0		
栗原圏域	度数	14	90	44	20	111	279	26	305
	パーセント	5.0	32.3	15.8	7.2	39.8	100.0		
登米圏域	度数	21	117	45	16	61	260	19	279
	パーセント	8.1	45.0	17.3	6.2	23.5	100.0		
石巻圏域	度数	23	81	33	16	69	222	7	229
	パーセント	10.4	36.5	14.9	7.2	31.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	20	86	48	30	67	251	23	274
	パーセント	8.0	34.3	19.1	12.0	26.7	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 1 2 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

ア	貨物量の増加や船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地の造成など、港湾機能拡充のための施設整備
イ	港湾貨物の需要開拓及び新規航路開設に向けた誘致活動(ポートセールス)の強化
ウ	仙台港背後地の整備など港周辺地域の貿易関連機能や流通・工業機能の整備促進
エ	仙台空港の航空路線の維持・増便と新規路線の開設に向けた空港利用促進活動の強化
オ	仙台空港アクセス鉄道沿線の臨空都市整備など、産業経済拠点づくりに向けた流通・商業機能の整備促進
カ	三陸縦貫自動車道など高速道路網及び広域ネットワークづくりに向けた道路網の整備促進

(参考:目標とする宮城の姿)

仙台塩釜港とその周辺地域は、東北地方の経済成長や国際競争力を支える国際物流拠点に発展しています。

石巻港は、県北部地域の経済を支える拠点として重要な役割を果たしています。

仙台空港は、東北地方の空の玄関として国内外からの利用者が増加し、周辺地域には、空港に関連したサービスを行う企業などが集まっています。

物流・交流などの広域的な結び付きを強めるための道路網ができ、県内各地域間の移動に掛かる時間が短くなっています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	カ(カ)	カ	カ	カ	カ
第2位:	ア(ア)	ア	エ	エ	ア
第3位:	エ(エ)	ウ	ア	ア	エ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
第2位:	ウ	-	エ	ア	エ	ア	ア
第3位:	エ	ア,エ	ア	エ	オ	エ	エ

(オ,カ(ア,エ)同率

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

()内は、前回の優先順位

図2-2-12-5 取組12 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

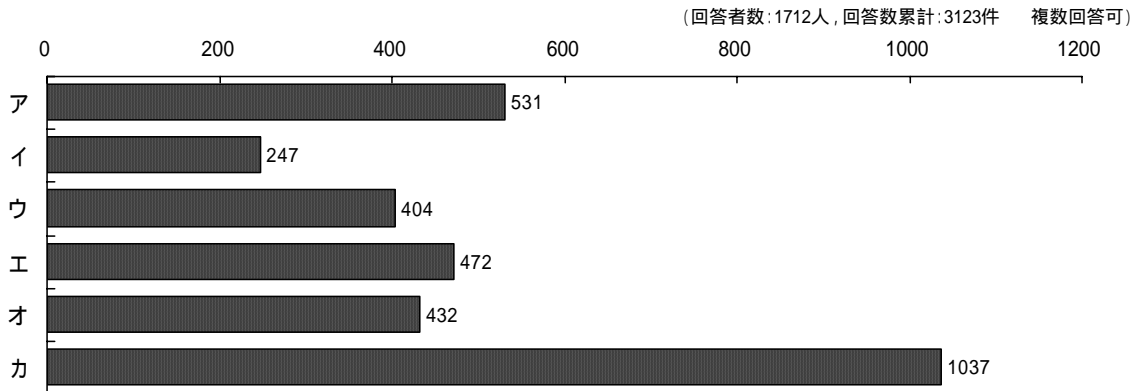
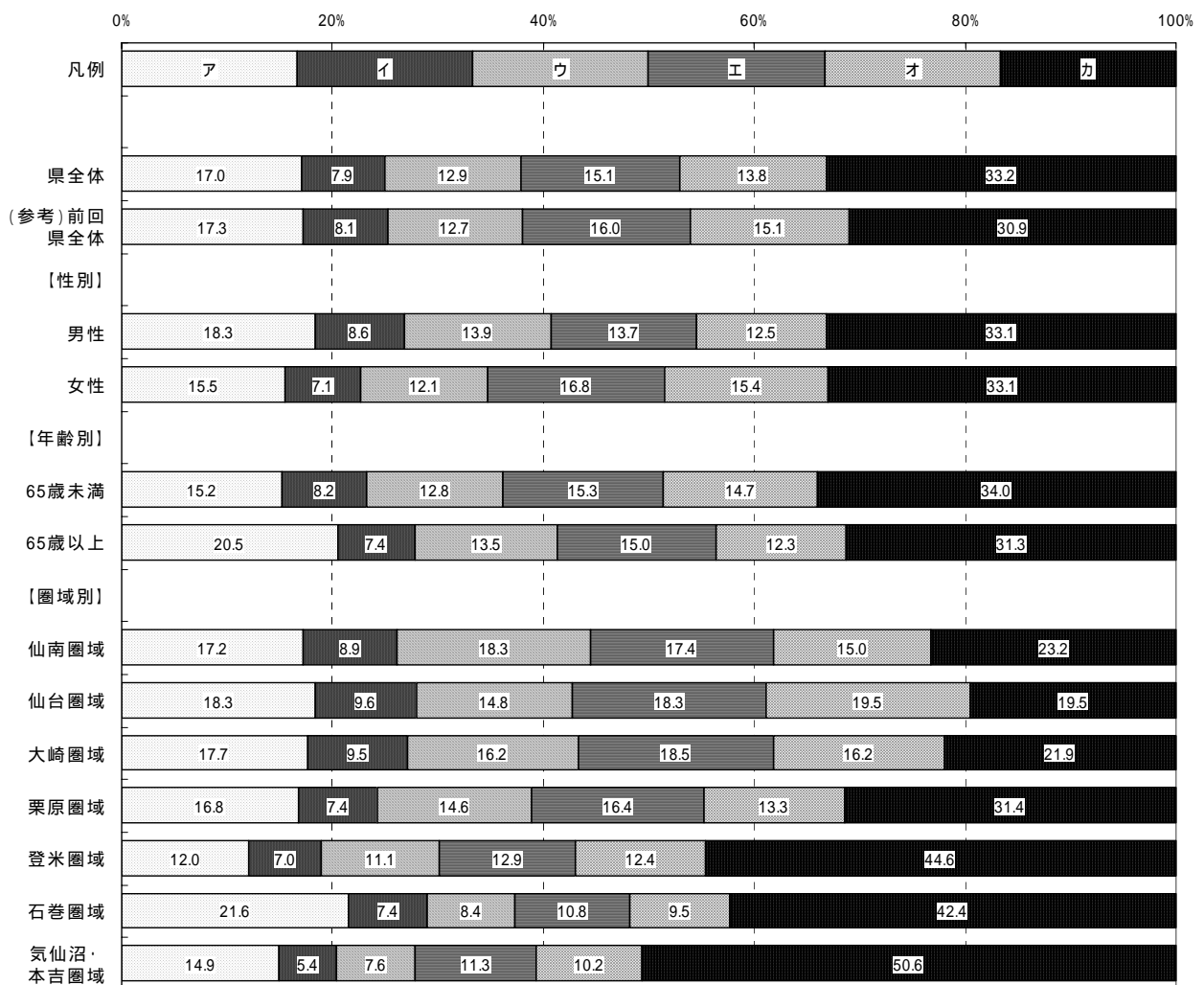


図2-2-12-6 取組12 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 1 2 「宮城の飛躍を支える産業基盤の整備」